



叙情派

摘草春菜
いのうえけい
高橋マサブ
小野カロン
まのこ魚
くるみやかおり
田山峠
秋元なおと
Rita Lee
森谷和花子
西坂潤
つばめ・ろまん
驢馬
大樹
しょうじひでまさ
関口拓志
ときたけいこ

ひと

2010

一色碧
ひすいろうかん
なかせよしみ
暁青



Ирина Сидорова - 2010

もくじ

- 3 「めぶき」 森谷和花子
- 5 「ハルノトリ」 小野カロン
- 17 「星」 摘草春菜
- 21 「命の星」 くるみやかおり
- 27 「翼をあげます」 つばめ・ろまん
- 33 「ハートのおくすり」 驢馬
- 37 「おおきなりポンの女の子」 ときたけいこ
- 39 「星に願いを」 暁青
- 43 「たつまき」 くるみやかおり
- 49 「春菜さん」 ひすいろうかん
- 55 「オンピョウ」 高橋マナブ
- 66 「はにわとふうせんガム」 まのこ魚
- 68 「サイクリング」 なかせよしみ
- 72 「火山登山」 田山峠
- 77 「星の記憶5 浄夜:上海1928年」 一色碧
- 89 「BearGirl」 Rita Lee
- 90 「小さな世界」 秋元なおと
- 95 「レザレクション」 西坂潤
- 99 「épine」 大樹
- 103 「小塚」 いのうえけい
- 111 「真っ白なページ」 しょうじひでまさ
- 117 「月が見ている」 関口拓志
- 124 「レザレクション補完」 西坂潤

- 116 カット: 水菜さん
- 126 作者さんあとがき
- 128 作品募集と大樹さん4コマ
- 129 「ひとつ2009」 感想
- 133 バックナンバー紹介
- 134 編集後記



50REPA
西坂潤

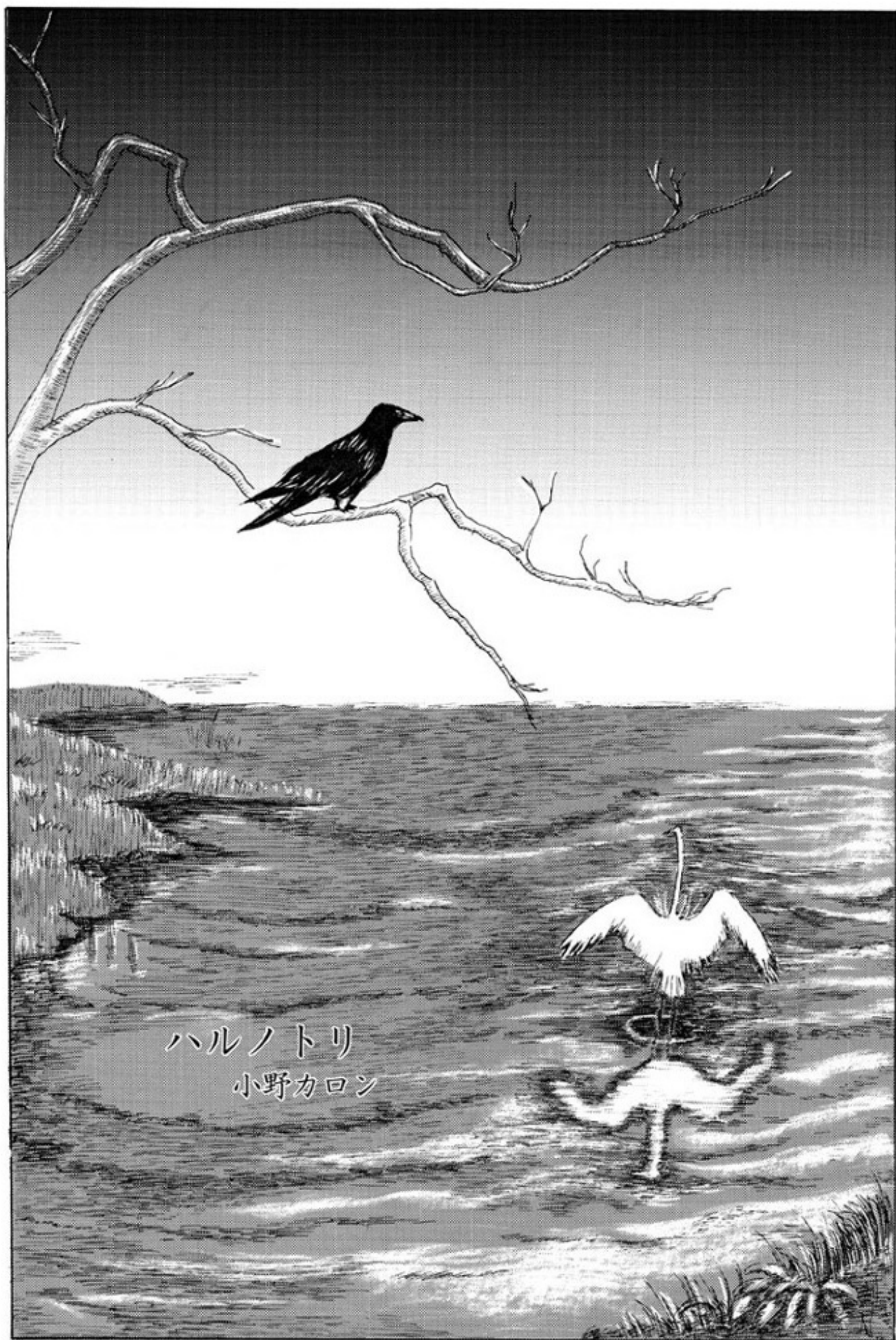
はじめに ありがとう

作品を作るには作品に集中できる余裕が必要です。生活の時間的な余裕とか体調の余裕とか。引越しの前後で落ち着かないときはマンガは描けないという話はよく聞きます。また風邪などで体調を壊した時には、気力だけではどうにも描けないときもあります。そういうようにマンガが描けるだけのちょっとした余裕があることは幸せなことです。同じようにマンガを読むのだって余裕が必要です。

余裕がないときは、好きな音楽さえ受け付けません。ただ、ひたすら眠る、とか。お医者様にたよる、とか。

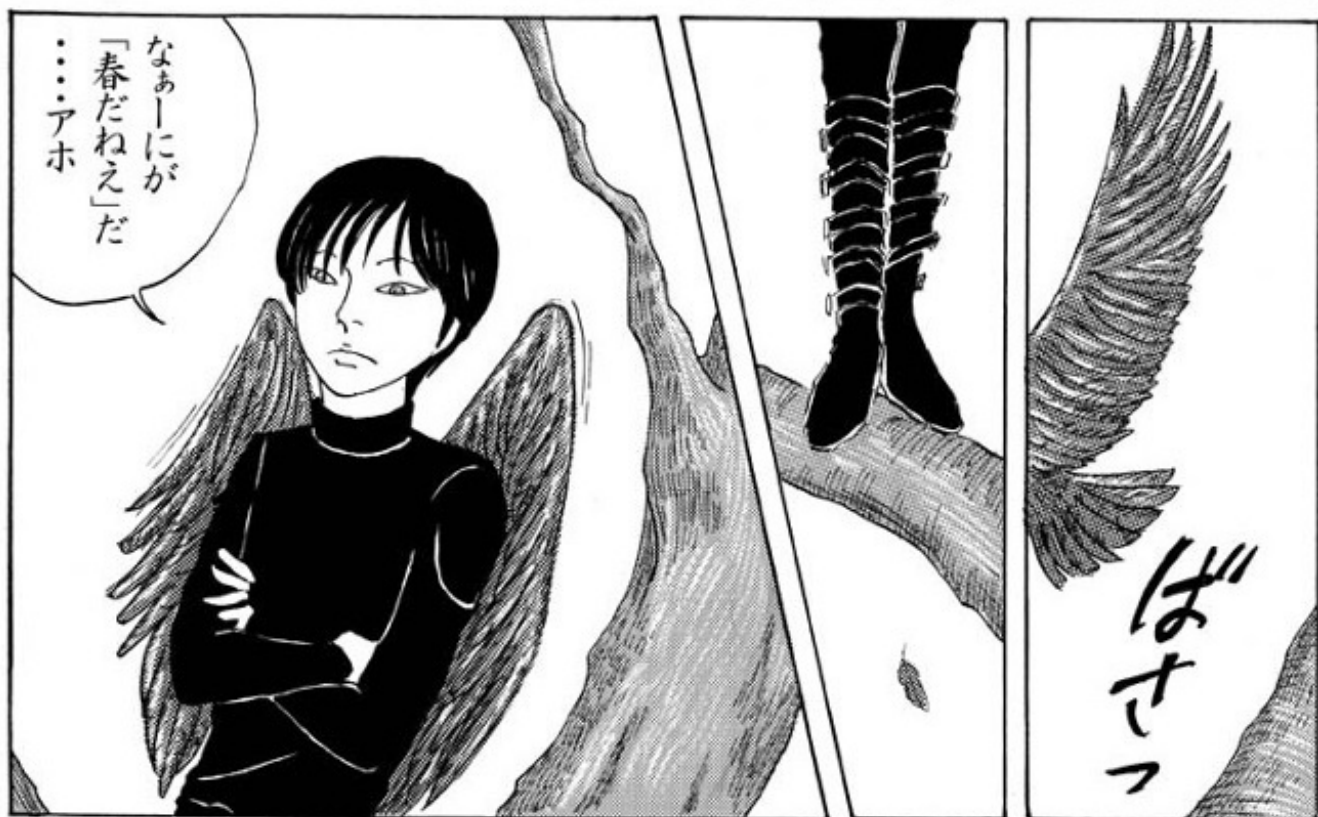
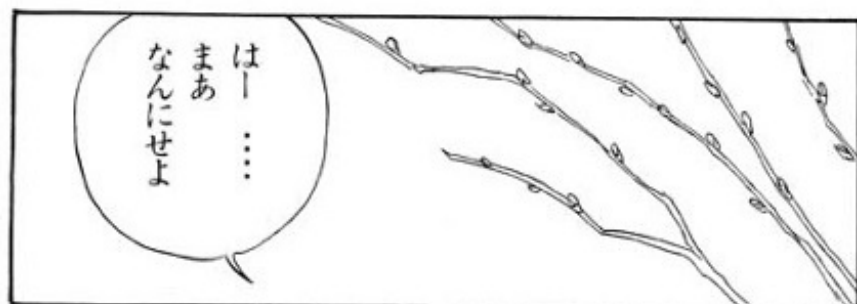
歳をとってきたせいかそういうことが余計に気になります。日常のいろんなことに追われながらもマンガを描いたりマンガを読むための時間をなんとかかんとか確保して今ここに集まる事が出来た事に感謝したいです。

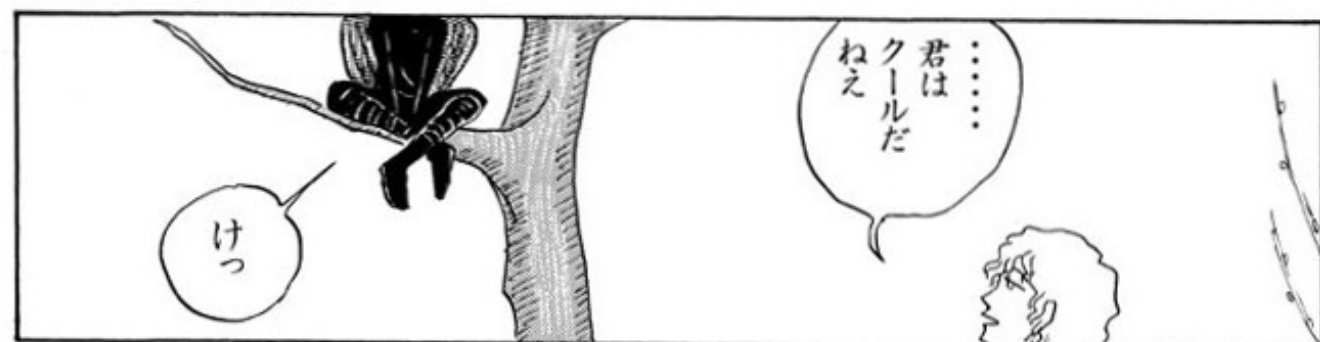
ここに偶然にも集まった私たち。
「参加してよかった」「読んでよかった」と思っただけですように。



ハルノトリ
小野カロン











君だって
いつもひとりって
わけじゃ
ないだろ？



あーあ
気の毒に……
旅してきて
疲れてるだろうに



パートナー
見つけて
家作ってさ



……まあな
オレもそれで
多忙な身
なんだけどよ

去年なんて
サイアクだったよ
独立して
すぐの頃さ



いわゆる
エコアート
……ってやつ？

……
アート……ねえ

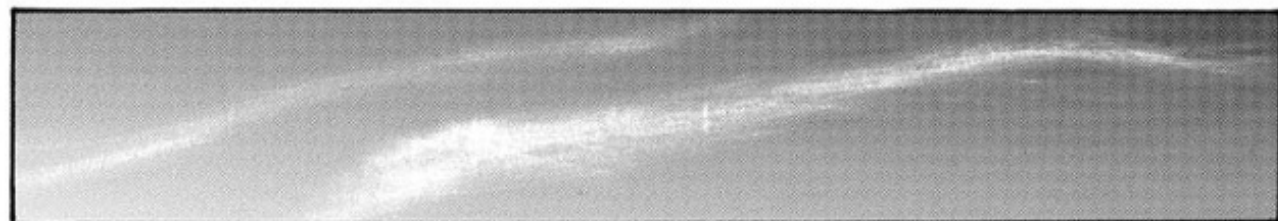


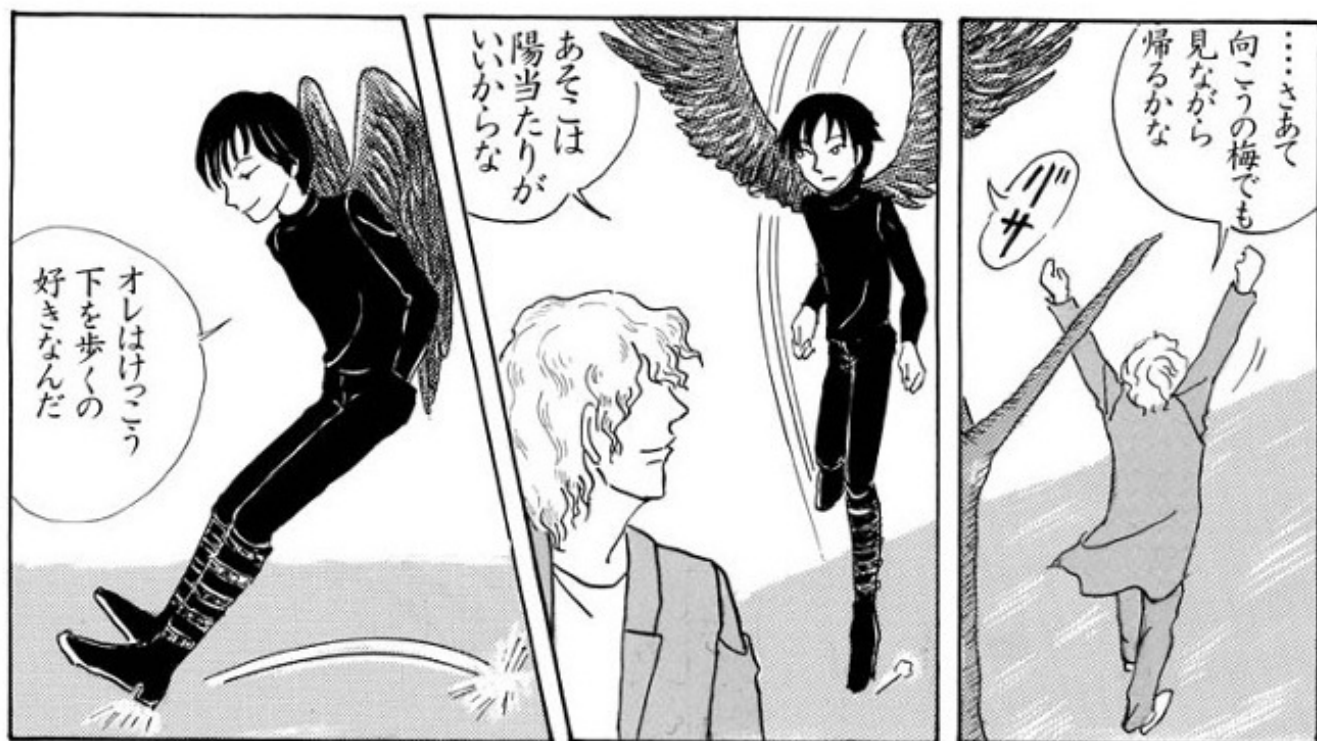
すげー大作に
なるはずだったんだ



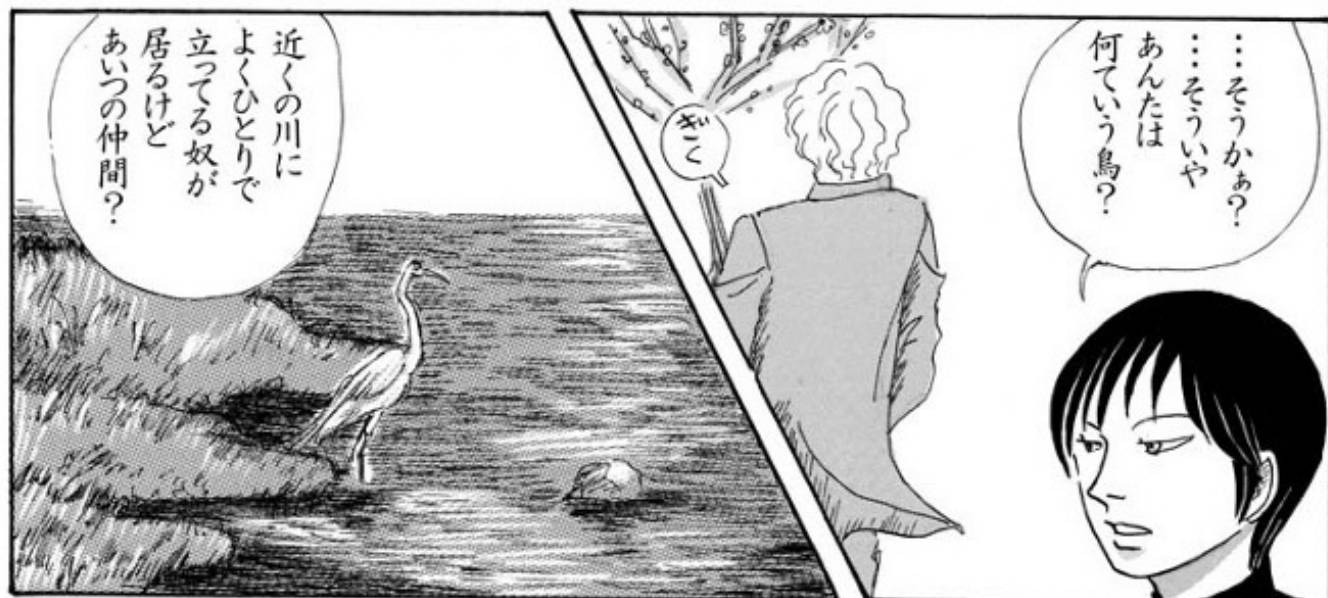
いい資材を
見つけたん
だよ

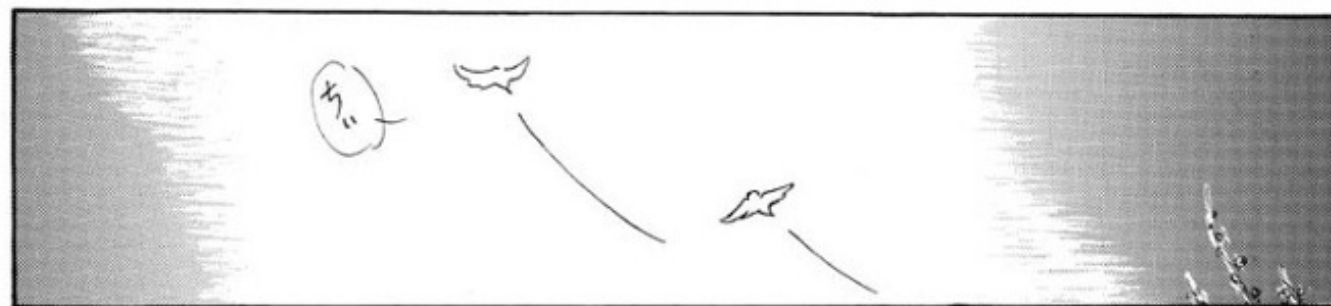
組んだら
丈夫だし
規格が
そろってるし













淡々と
受け入れて
生きていく
ものたち



生と死が
隣り合わせの
日常を



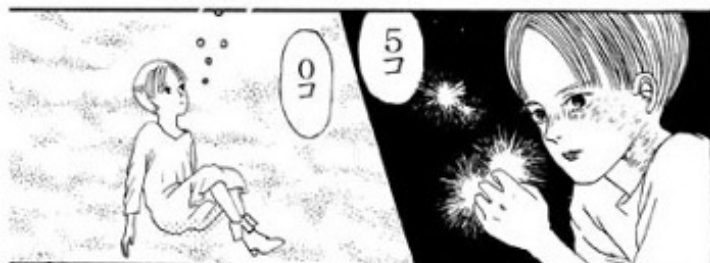
彼らが
幸福そうに
見える春



あの鴉は
鳥の天国の
夢をみるだろうか

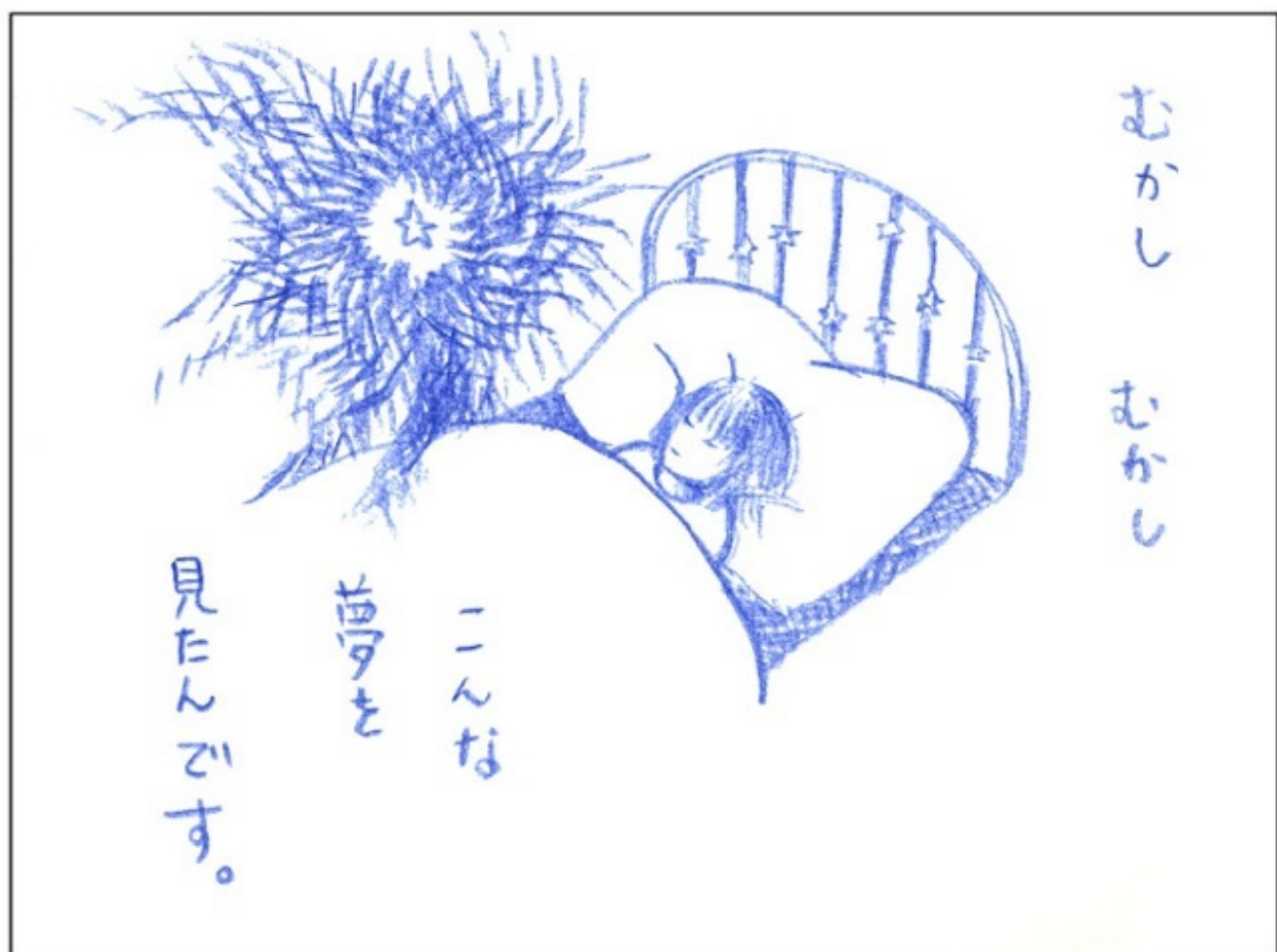








End



命の星

くるみやかおり

命の星がし舞いおりる



お花畑で

散歩する私

かわいい芽を
見つける...



あ

かわいい
かわいい

いとしい
いとしい

いとしい



すると 女が
やって来て



「それは、生きません。」



と、言うのです。



「見てごらんやさい。」

「それぞれの芽には。」

「小さいつぼみがある。」

☆

「命の星は」

☆



☆

「そこめがけておりてくる。」

「だからね、私にちょうだい。」



「花も咲かない。」 「死ぬの。」

「生きない。」



「その芽のどこにっぽみがあるの。」



「ぶち」



「あなたが殺した。」



私でした。

その女



けど...

後で知り
ました

「
ち
よ
う
だ
い
」



「
私
に
」

絶
対
無
駄
に
し
な
い
。



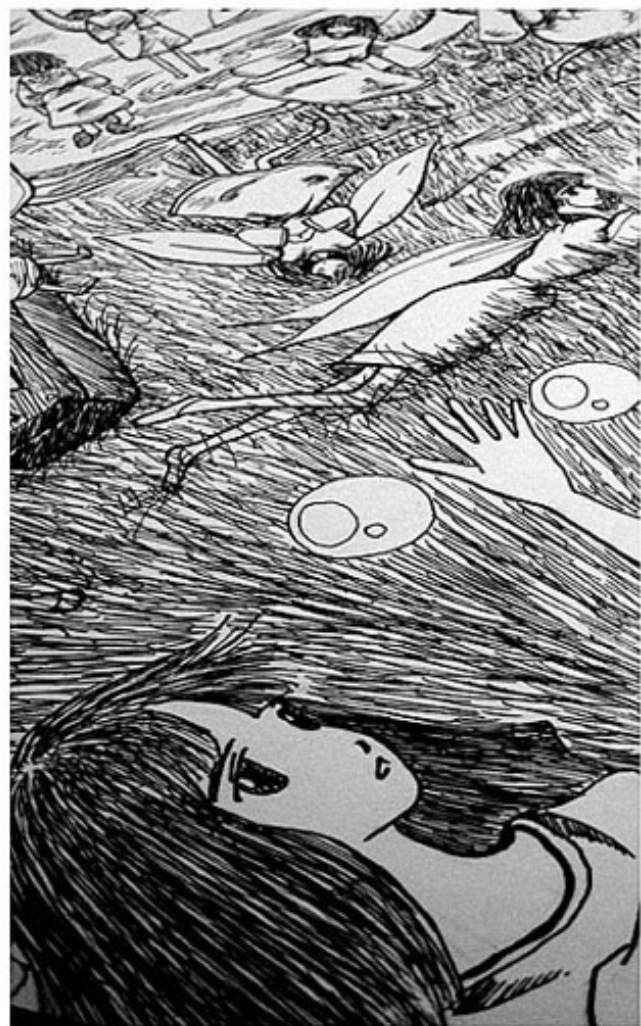


翼をあげます



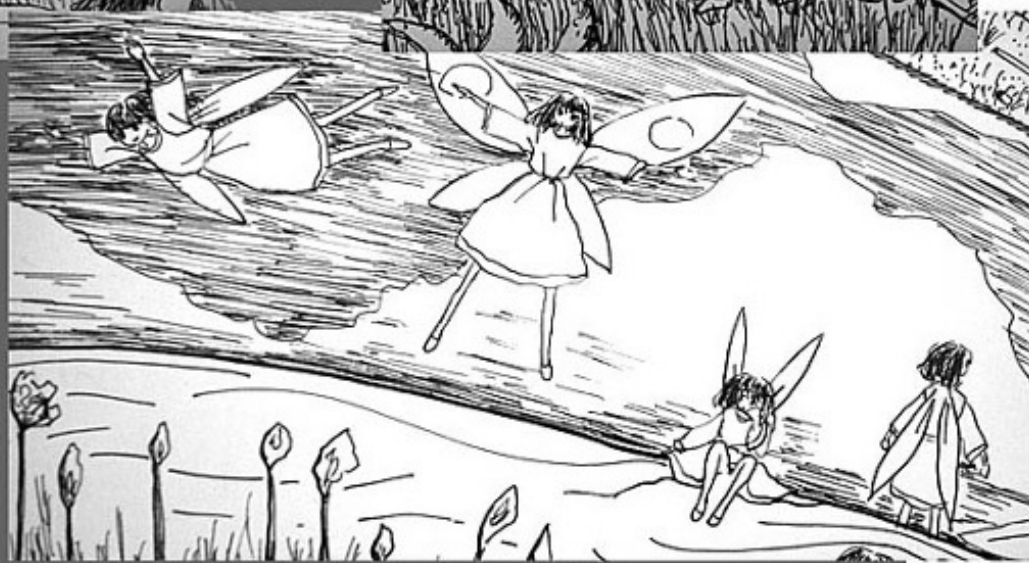
つばめ・ろまん

私と、私と、私と、
私らしいものと、
私の好きなものと、
私の好きな世界で、





私の思い描く風景の中で、
おしゃべりします。



んんんん

んん

んんんん

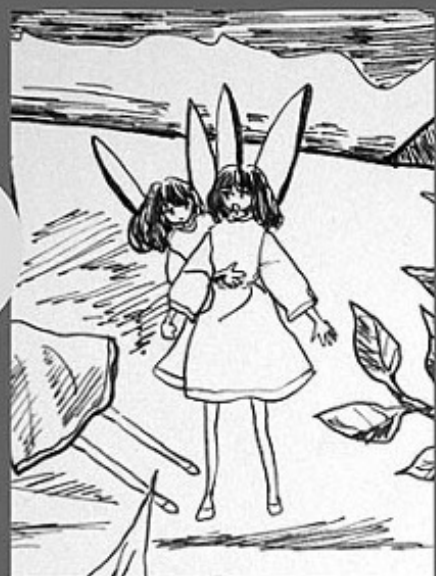
んん

ぶくぶかぶ

ぶく

きや、
きやほお
るん





ふふふ
ふむむ

呼吸を合わせて

ゆっくりと、

心をつなぎ、

黙り込み、見つめ合い、

眠り、真か嘘かなんて関係なく、

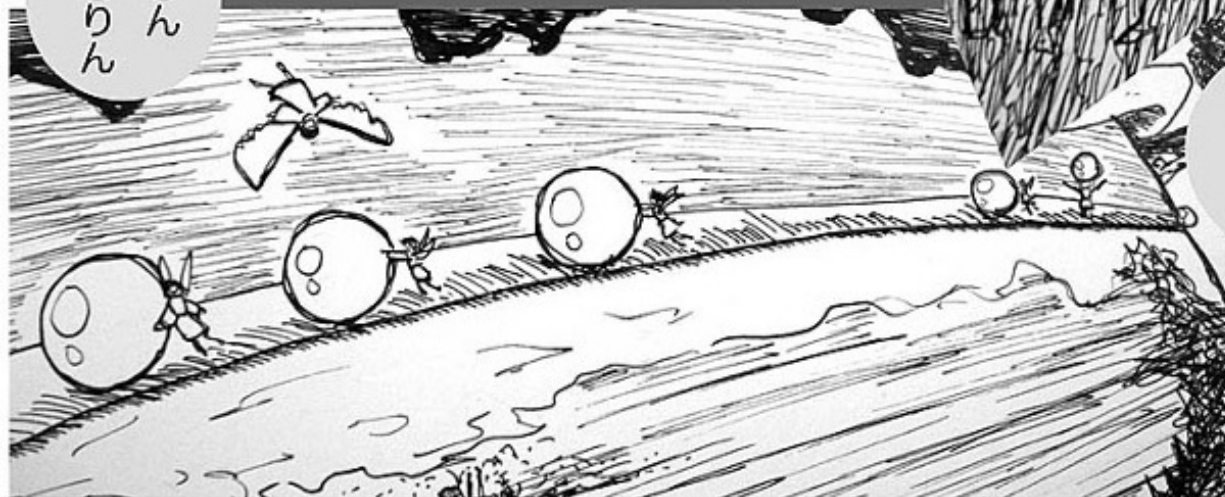
明日から昨日へと

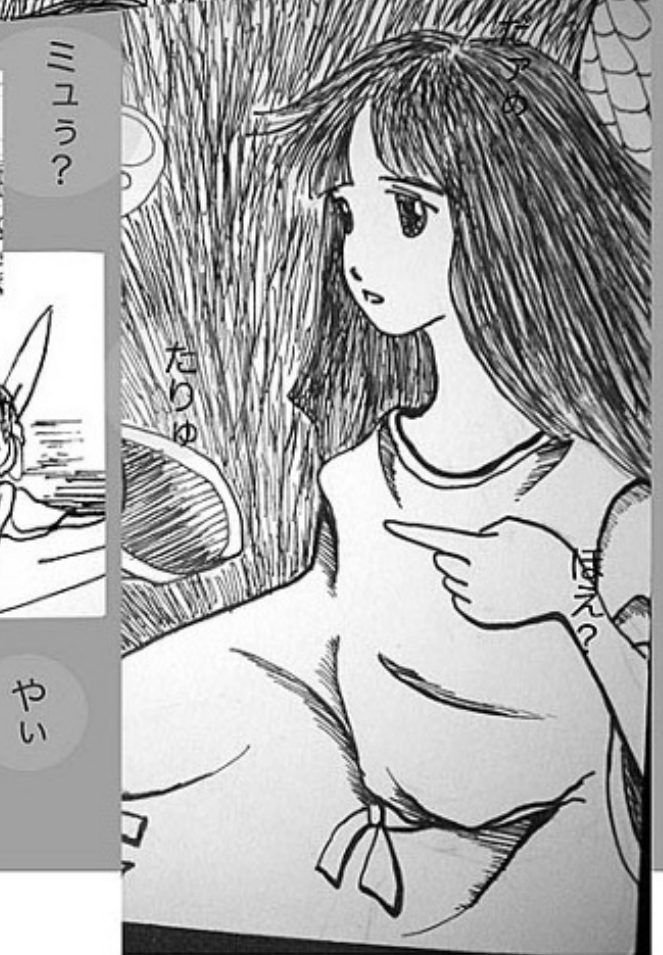
進んで行ったり、

来たり。

ころん
ころん
ころりん

さわっ
さわわ





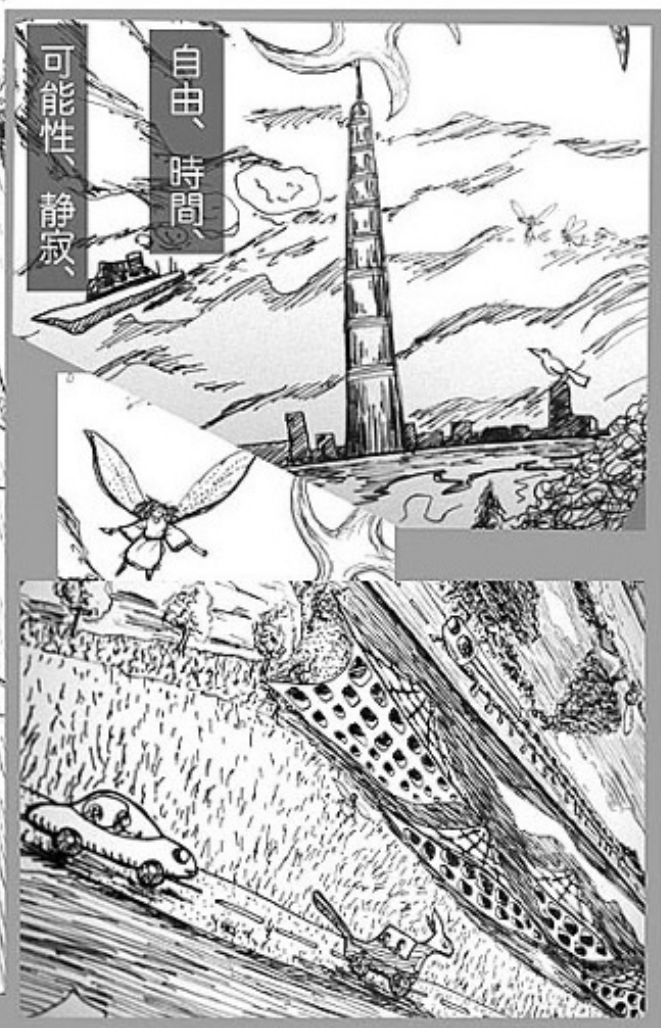


この世界を羽ばたき存続のです。

涙や怖れもちよつぷり振りかけて、

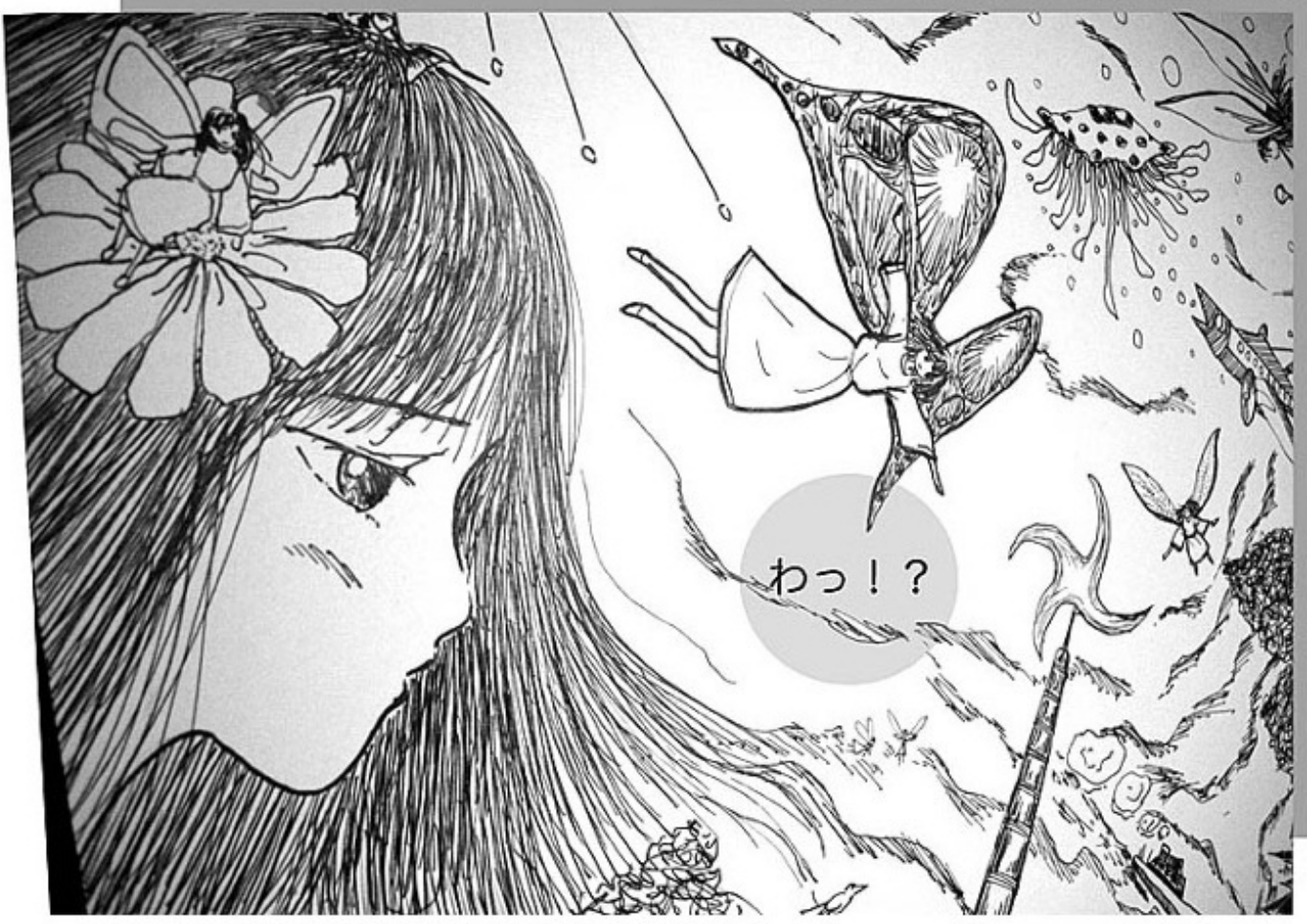
そんなものに包まれて、

光彩、空の上……



可能性、静寂、

自由、時間、



わっ!?

一枚の絵と対峙して、

永遠ともいえる

瞬間を知覚する私は、

心の奥に非実在の

記憶をしまいこんで

いくのです。



ものがたりは、

あなたの心の中に

生まれます。

視れば観るほど、

私の世界は、

あなたの宇宙に

なっていくので

しょう。



せっかく
うちの元気を分けて
やったのに！



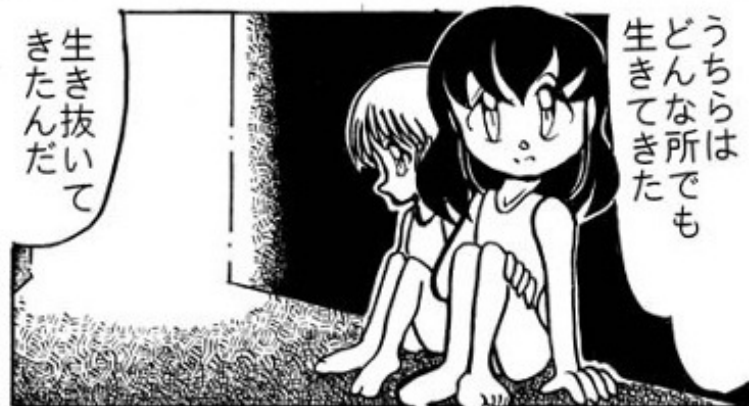
この薬は
フラボノール
の一種
クエルシトリンが
含まれていて
胃壁の消炎作用の他、
利尿・緩下作用、血圧調整
毛細血管の強化など
多くの薬効から
「十薬」とも呼ばれているのよ！



だってまずそう
だもの



うちらは
どんな所でも
生きてきた



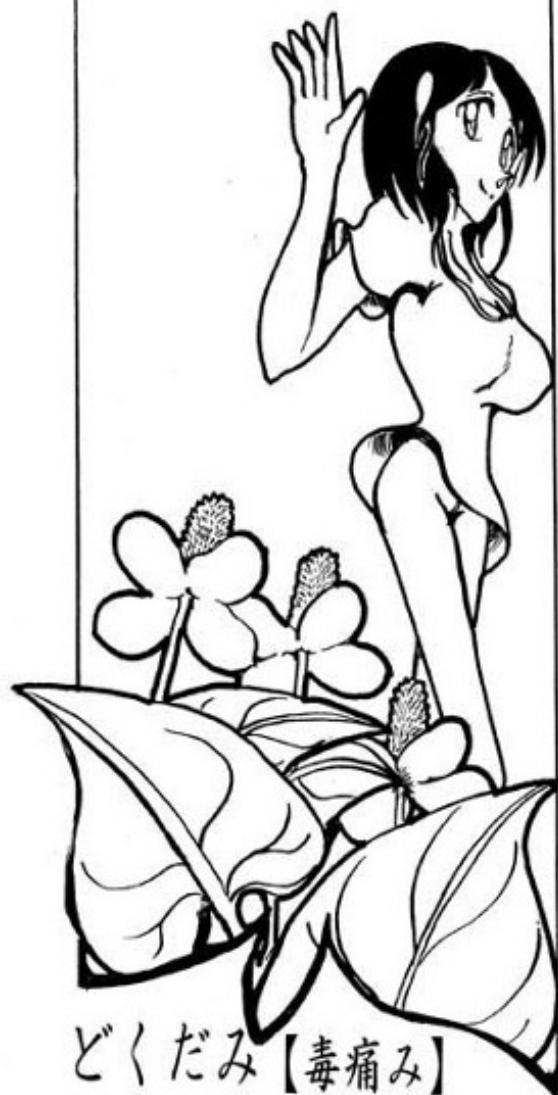
もうウチの
分けてやった
元気無くなっ
ちやったの？



そうだ、あの薬は
やっと効いてきたんだ



私の心に
強く、
しっかりと



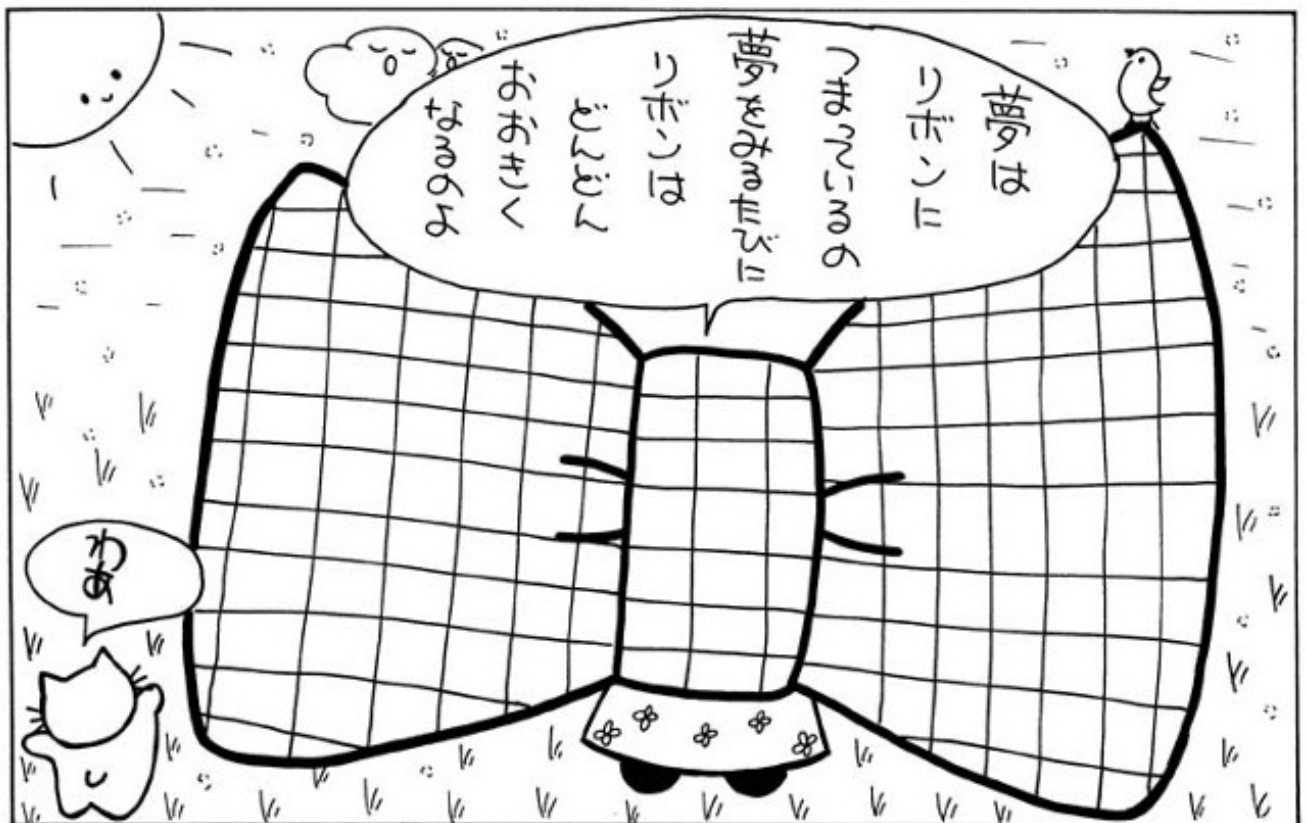
どくだみ【毒痛み】

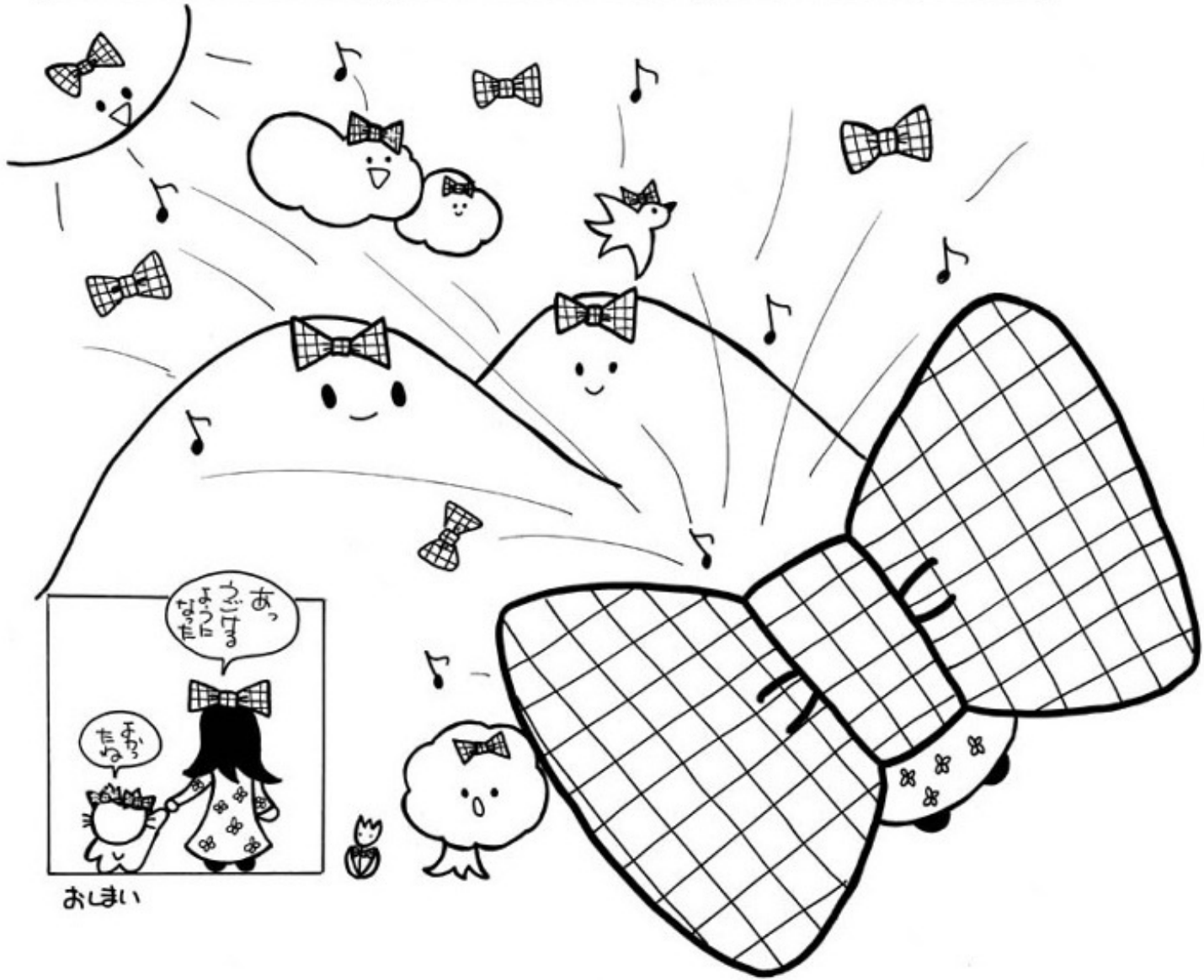
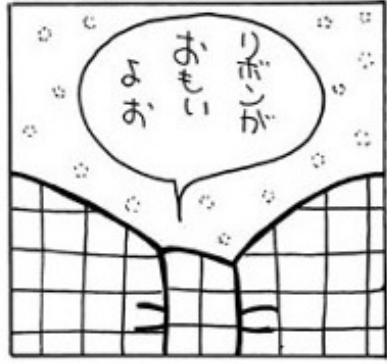
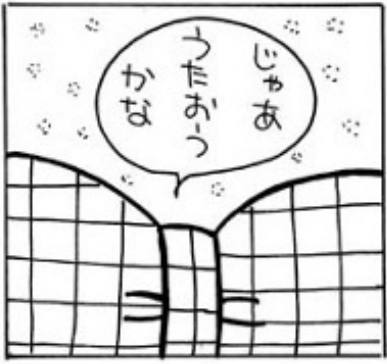
Houttuynia cordata

ハートの葉を持つありふれた野草。
多くの薬効から十薬とも呼ばれる

おおきなリボンの女の子

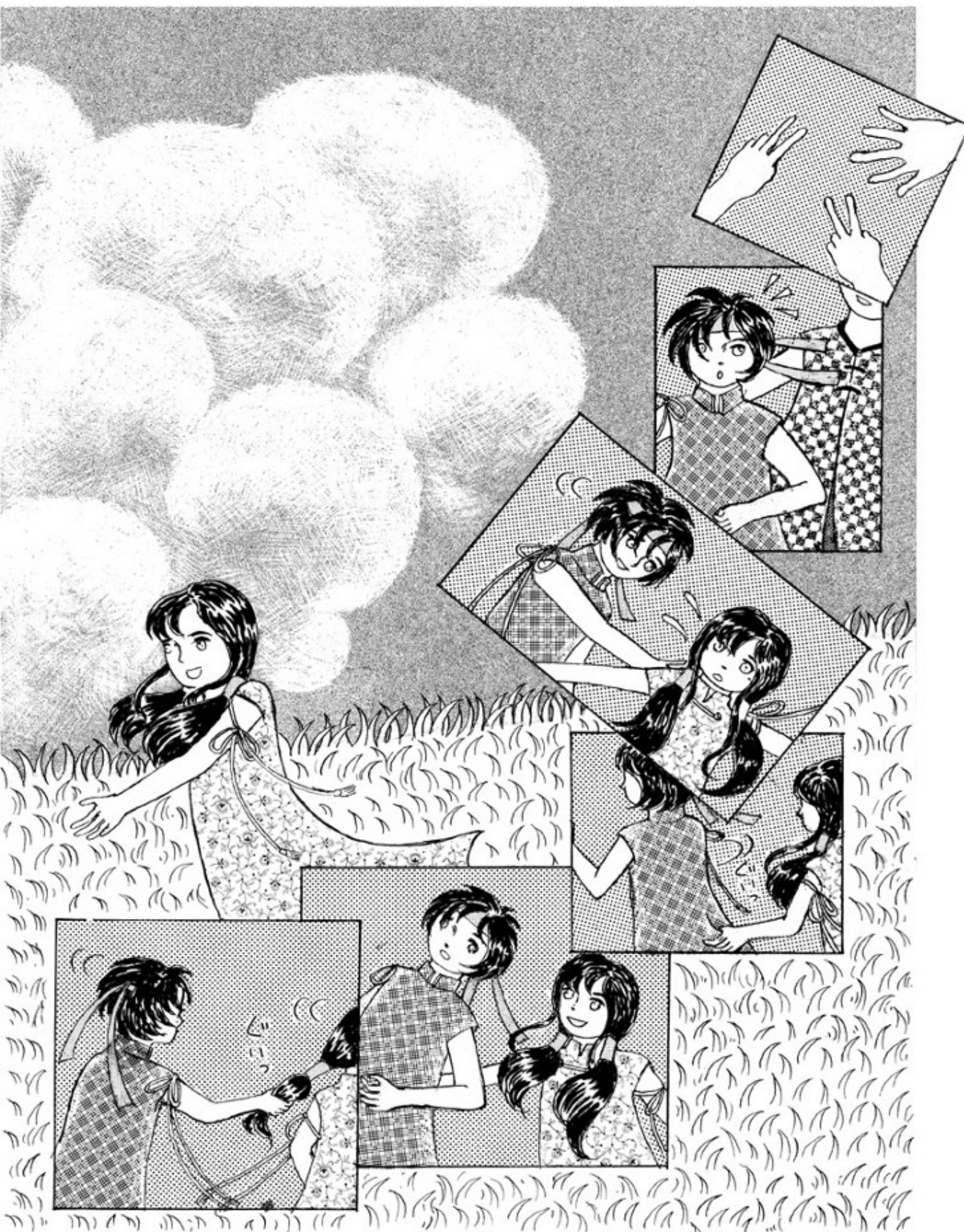
ときまけいこ

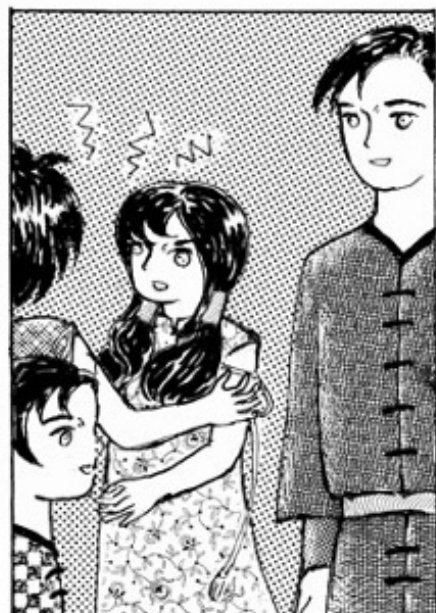




おはよう











たつまき

くるみやかおり



たしか
この辺で。
この前
小さな
竜巻きを
見たのは。

そうた
目印だって...
また見られる
ようにつけた。



小さい頃から よく見た。

こいた。

こんどこそ。

私は そう思。て毎日

かさを

持ち歩いた



あの風が
吹いたら、次は
あの風になる

かさを ひらいて

大きく

ずっと高く

上の方へ

あそこへ





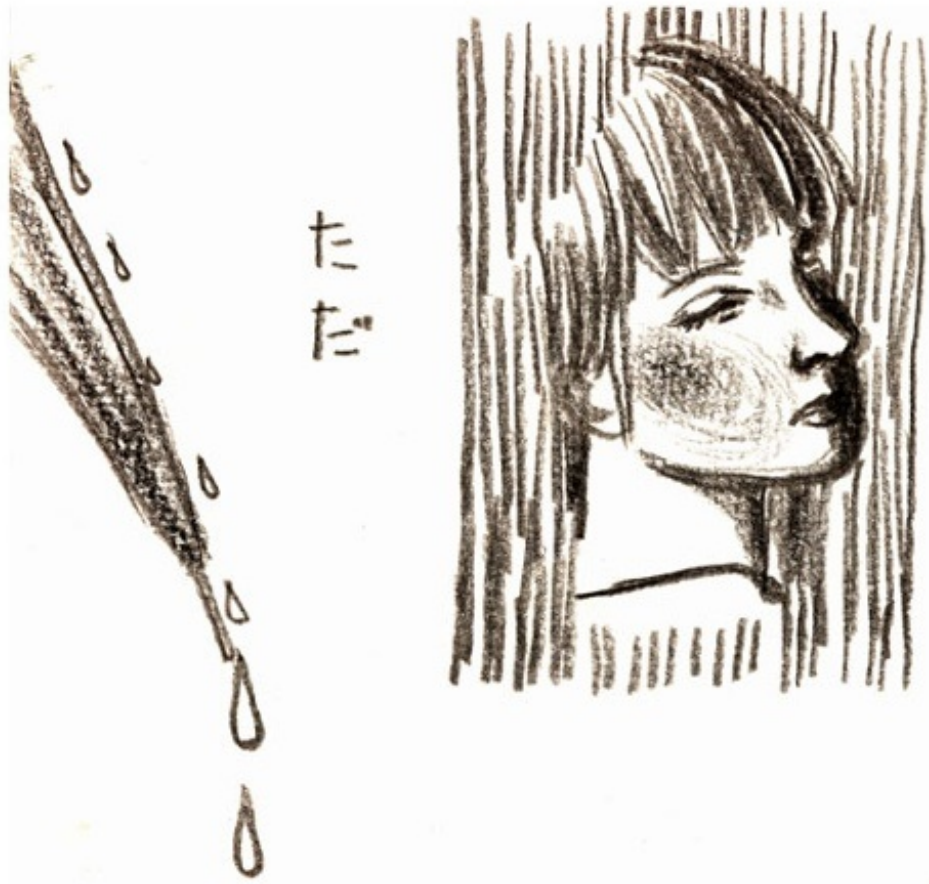
さあ
さあ
はやく



さあ
はやく



さあ
あ



.....

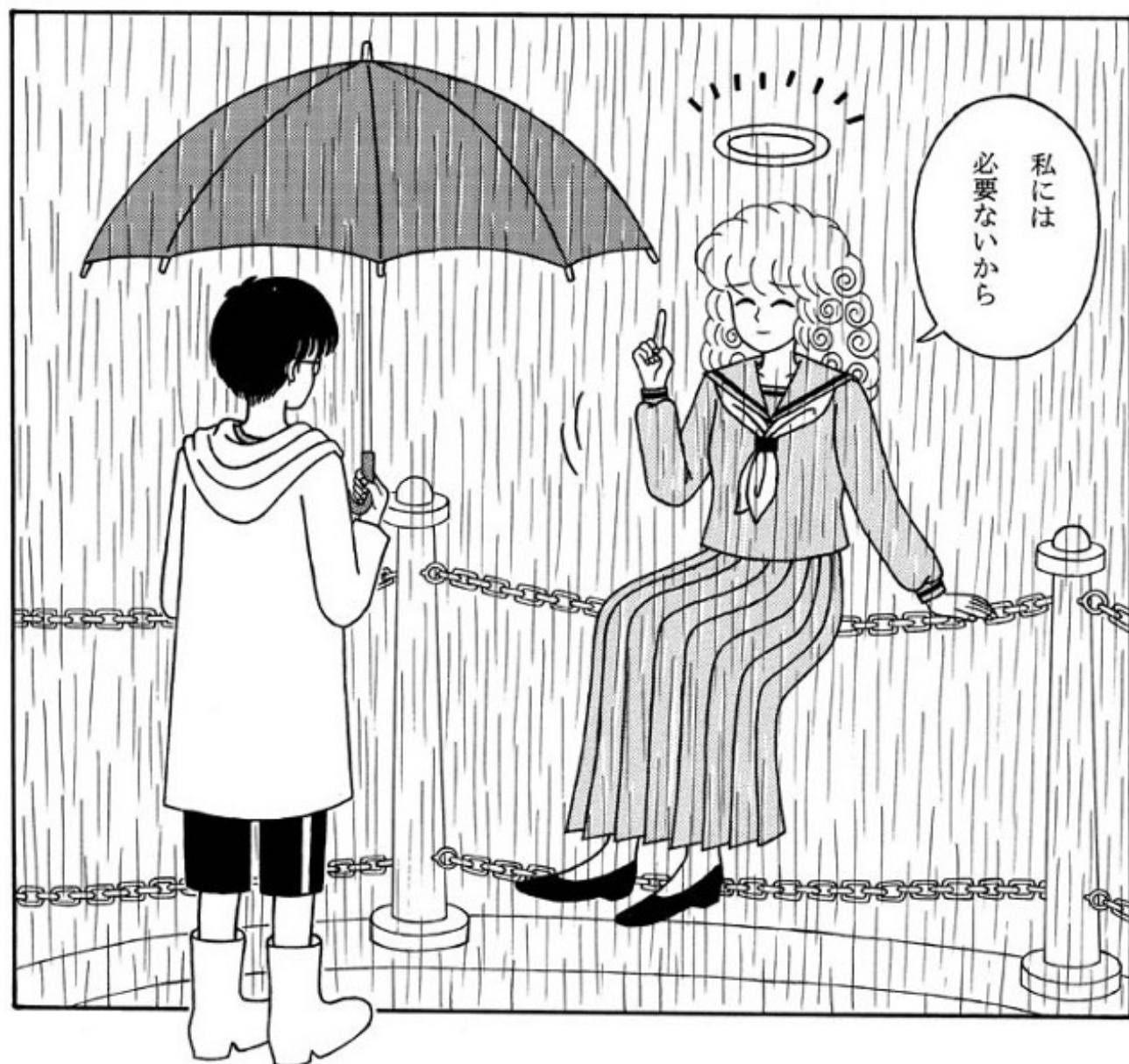


とびたかったのよ。

と
べ
る
と

お
も
っ
た
の
に、

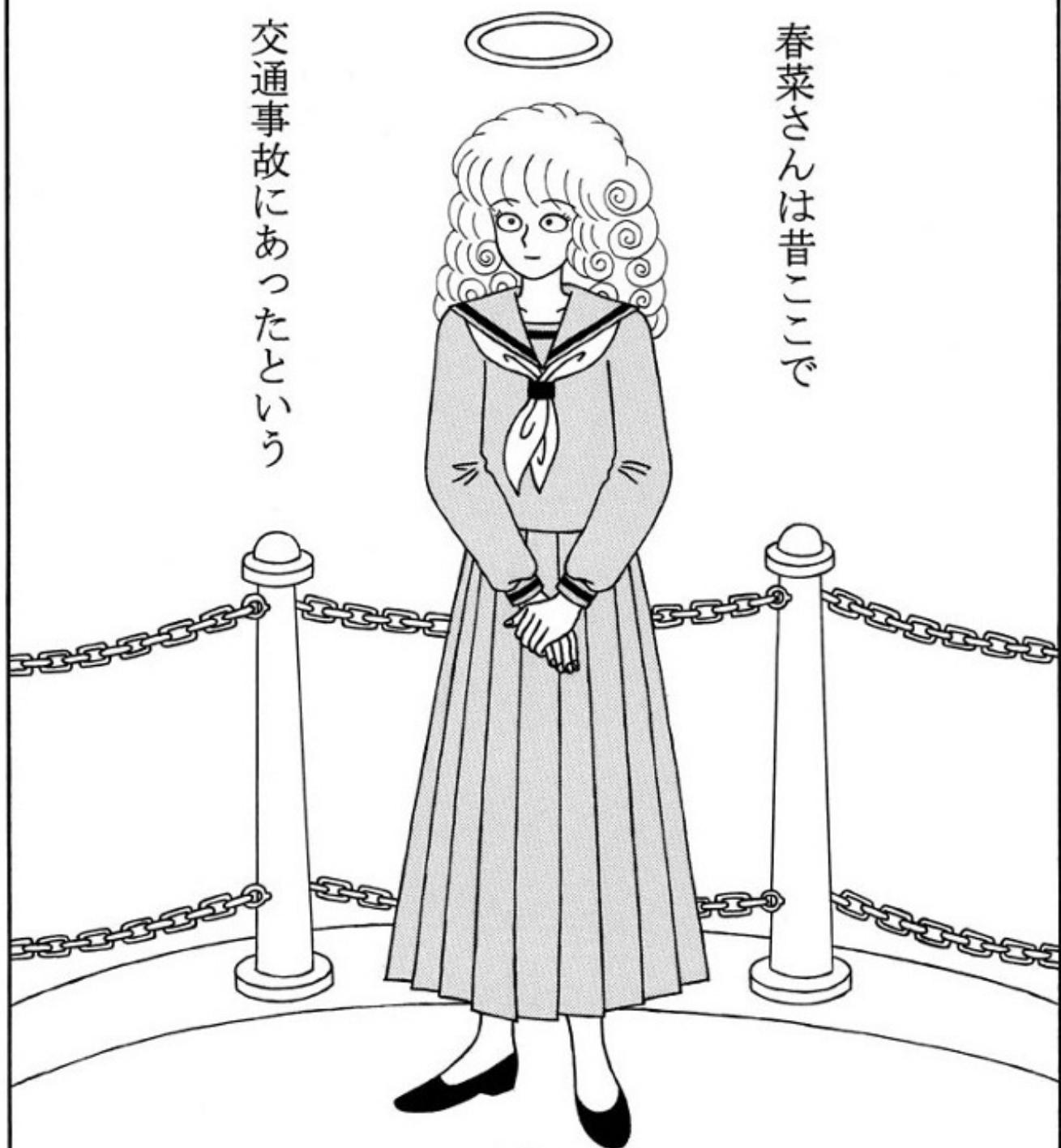




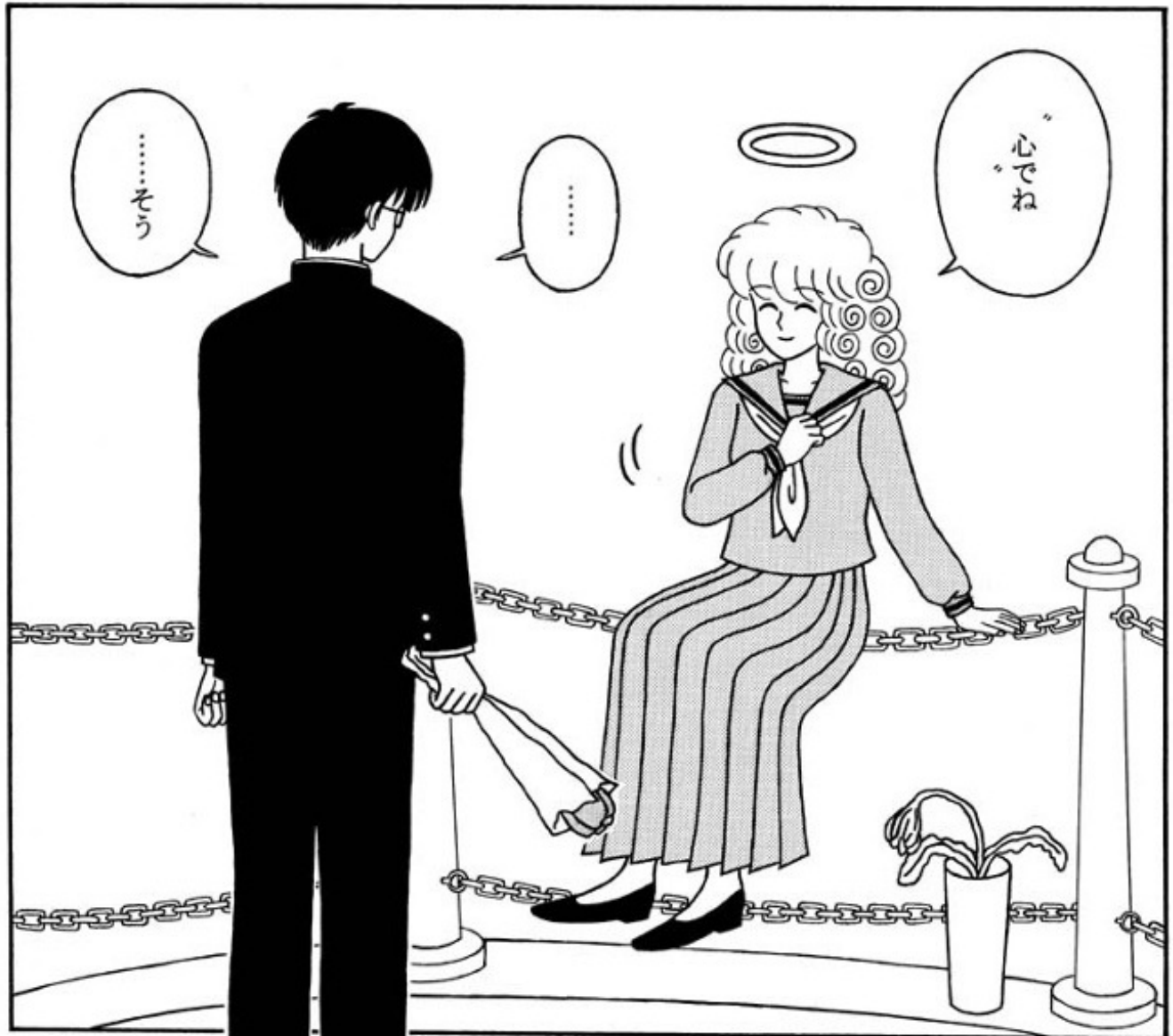
「春菜さん」

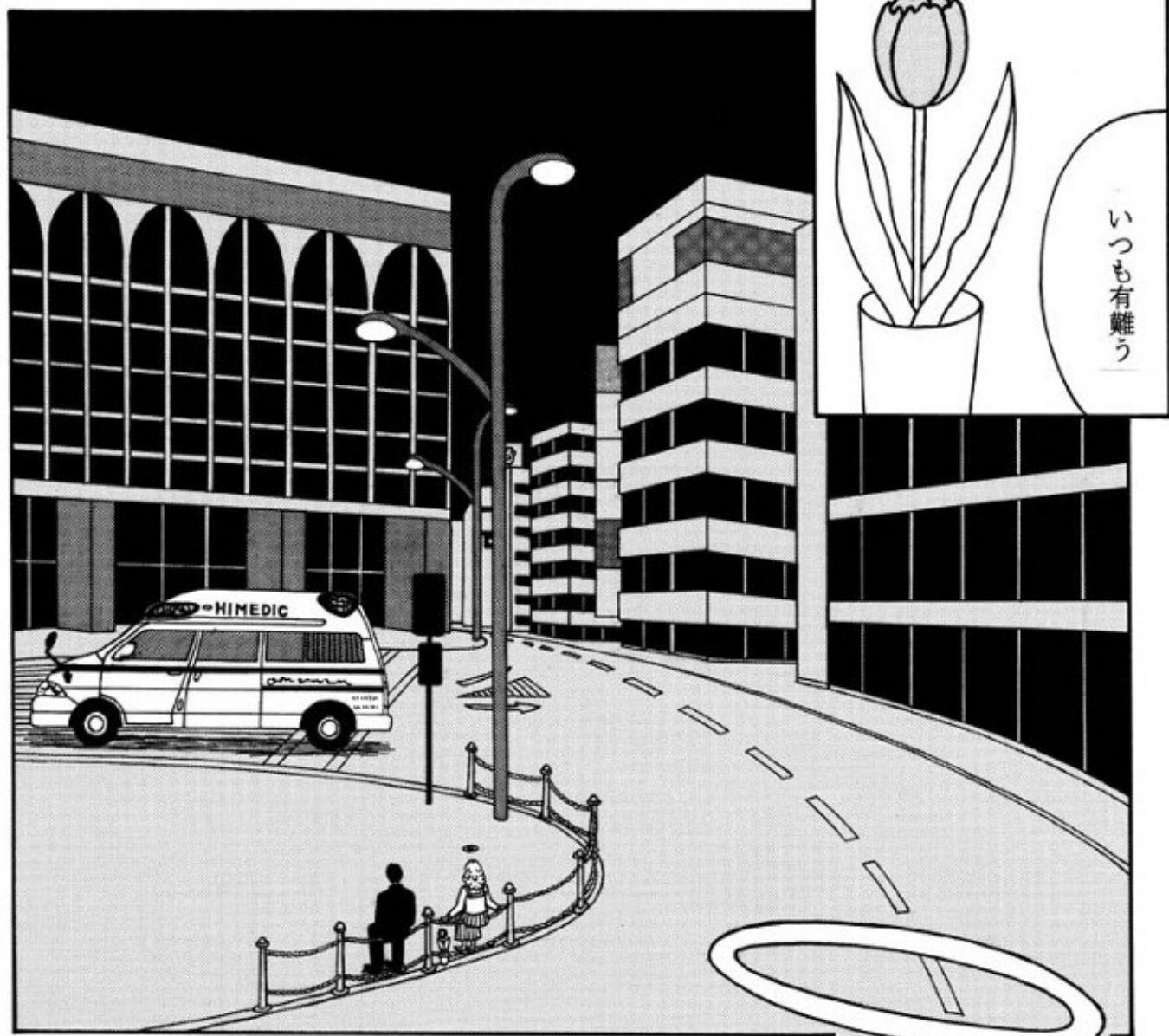
交通事故にあったという

春菜さんは昔ここで



ひすいろうかん





いつも有難う



ニュースで言ってた

3月は特に
自殺が多いって



最近多いね



タクシー代わり！

救急隊員の

〇Xさんに会いたくて

呼んじやう！！

何て困った人も

いるみたいよ？

-3

……
J



卒業 進学
就職 異動…
変化の多い
時期だよな

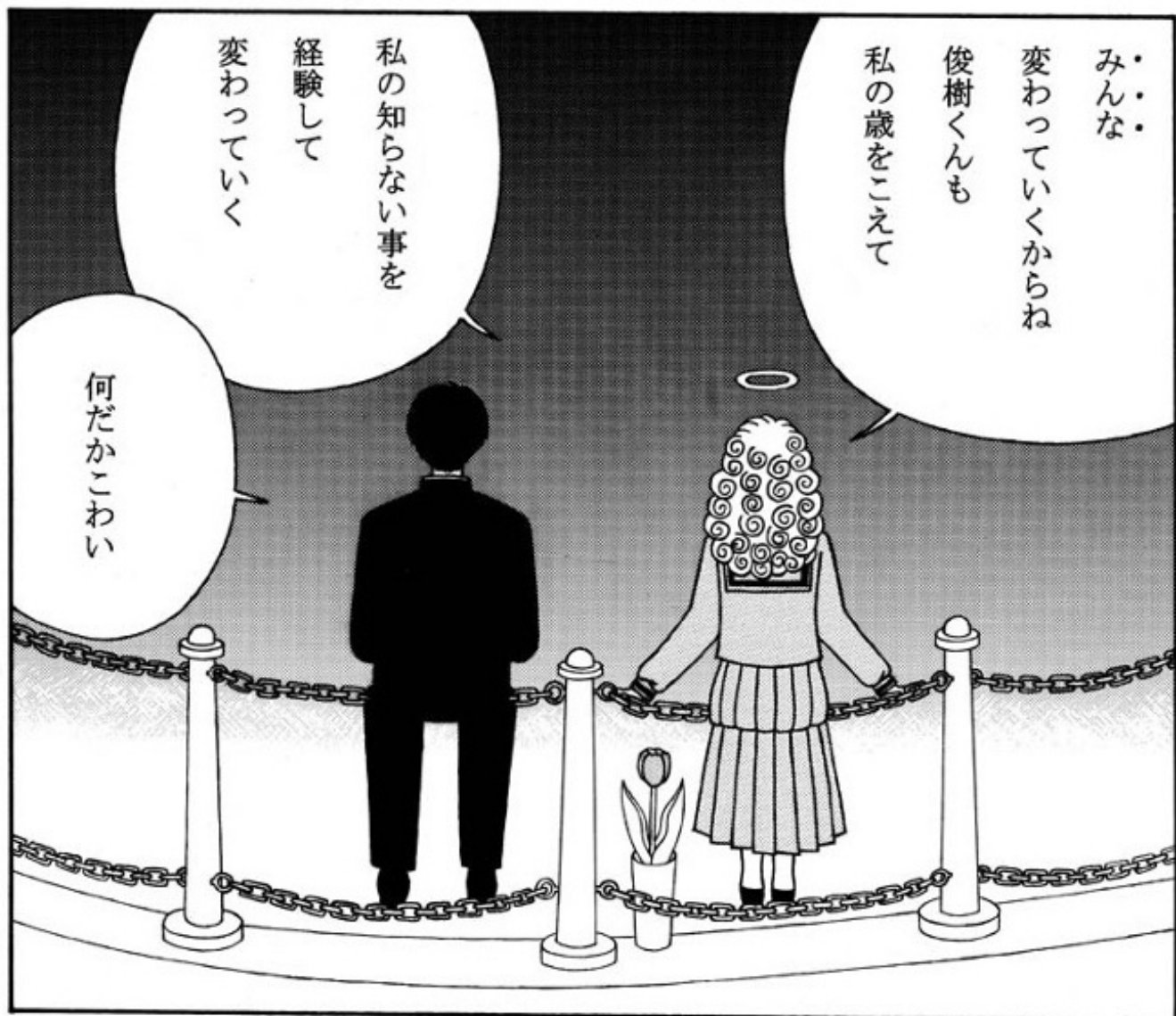
変わっていく

僕 今日で

春菜さんの歳

こえちやった

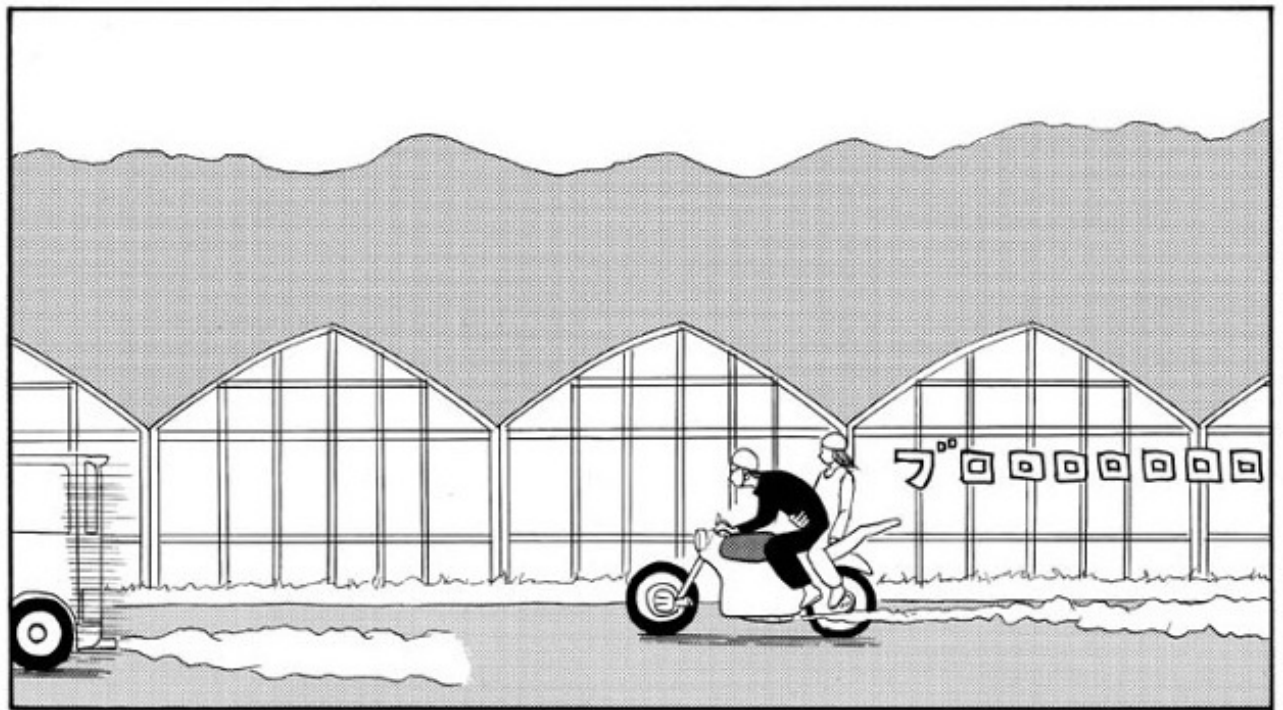
春菜さん…



それが
生きる

ってことじゃ
ないかな





危ないやろ!!

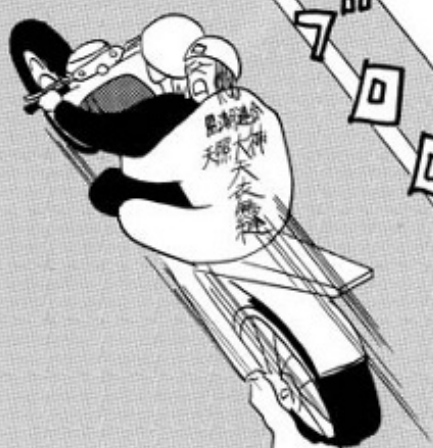


なんでスピード
出さんが!!

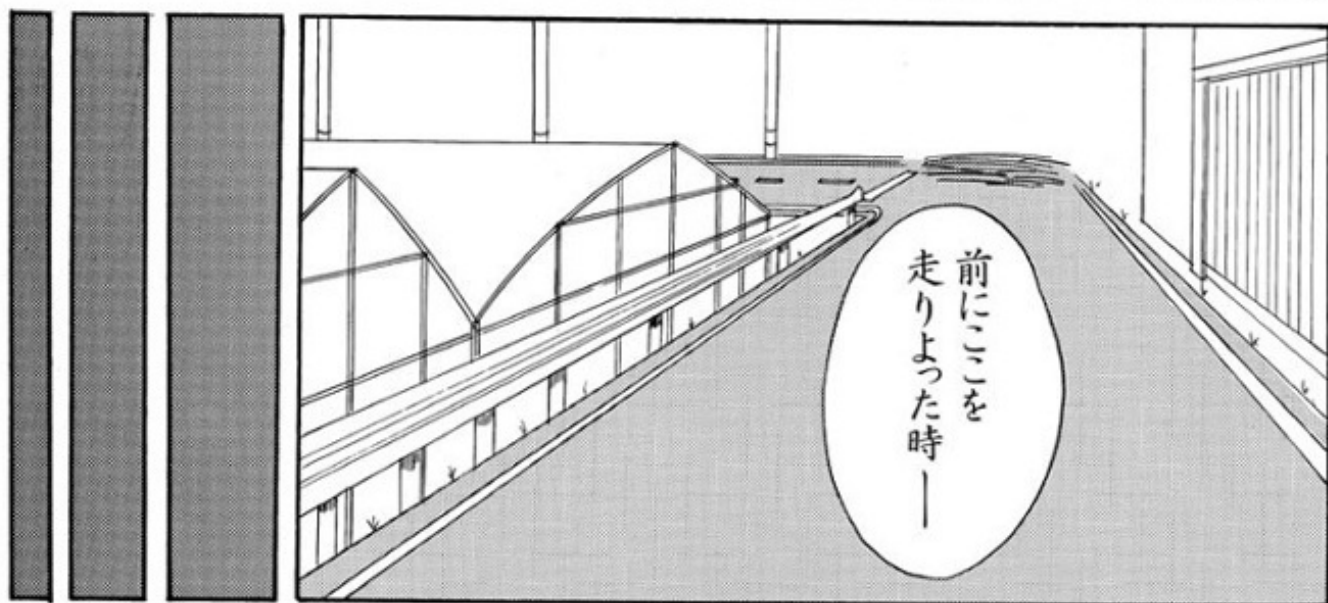
オンビヨウ

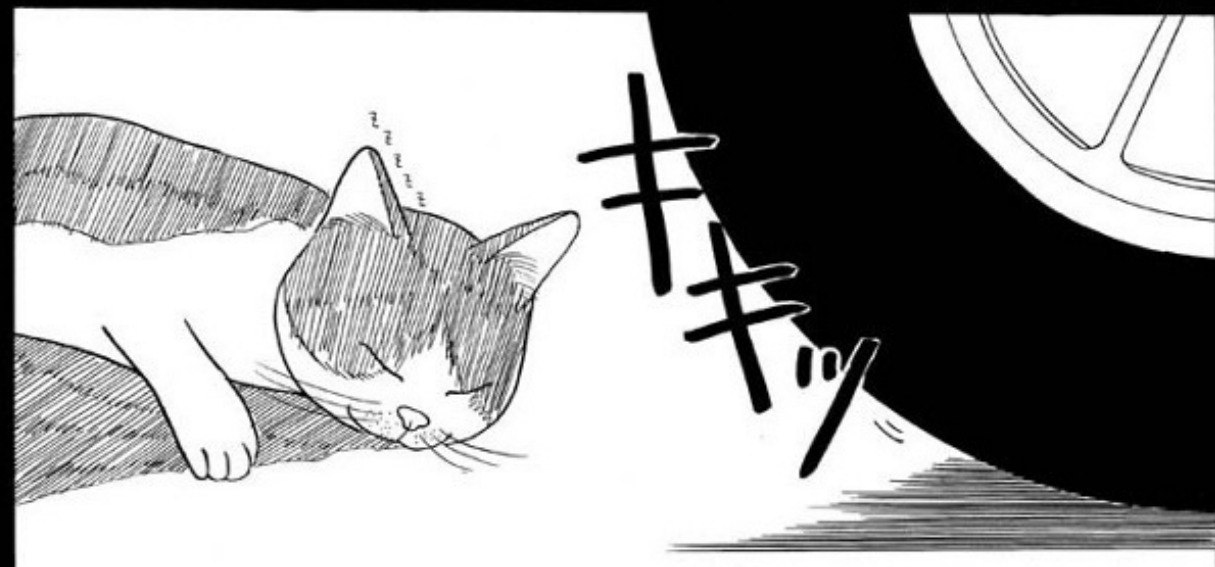
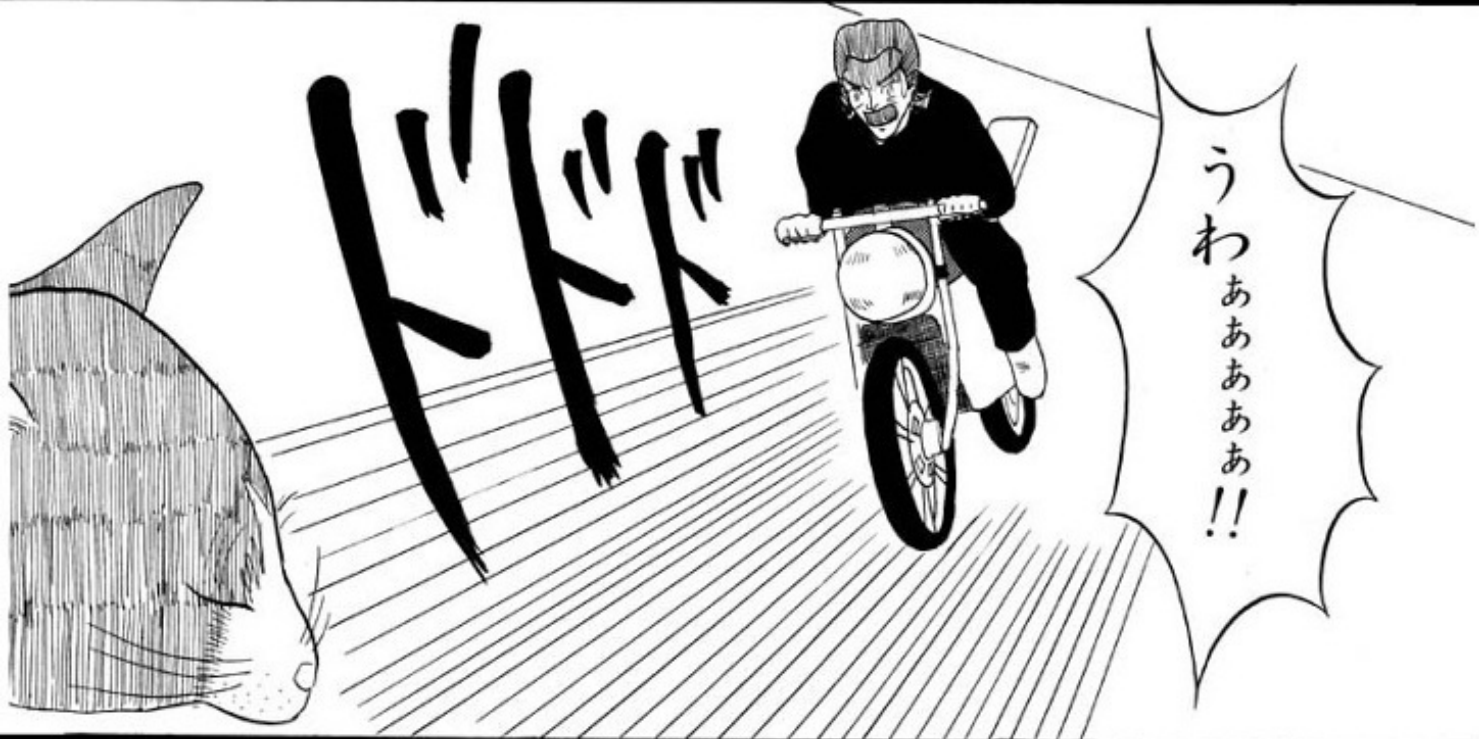
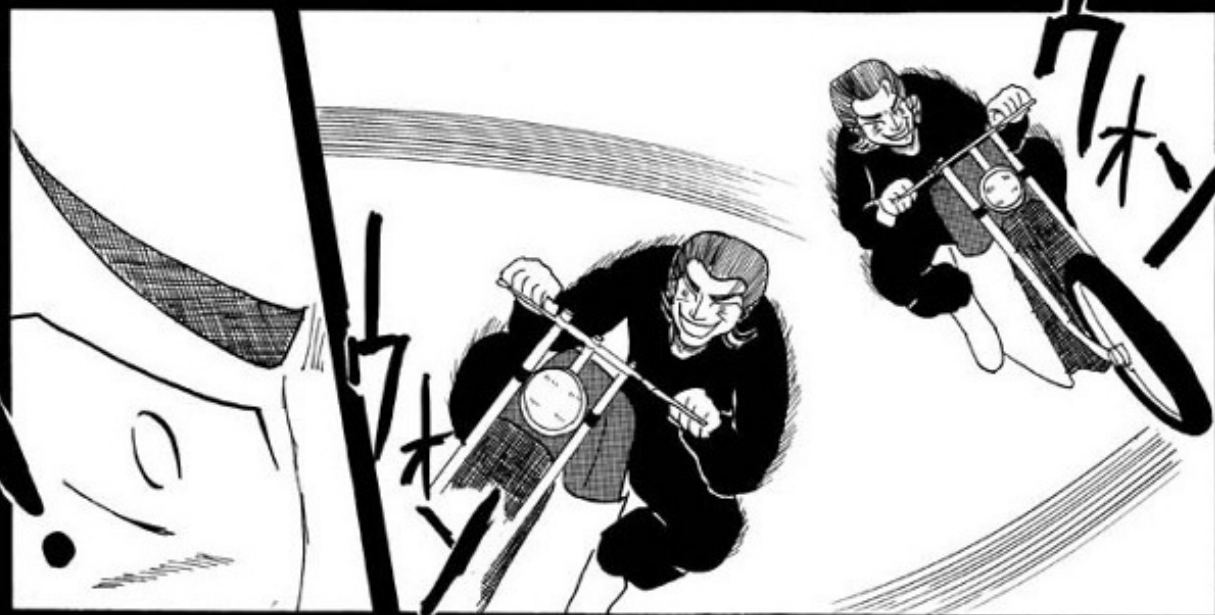
高橋学あらため 高橋マナブ

こんな格好で
安全運転って…

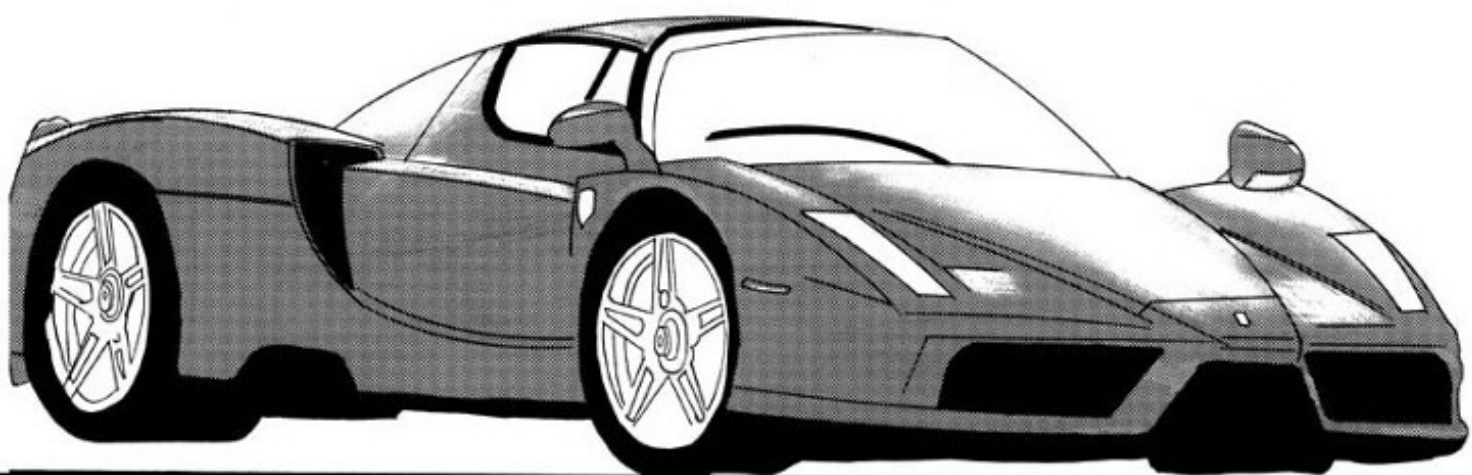
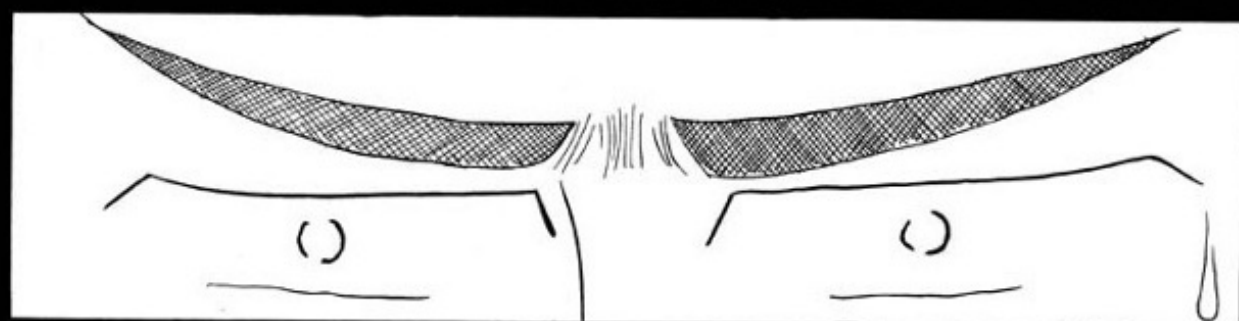


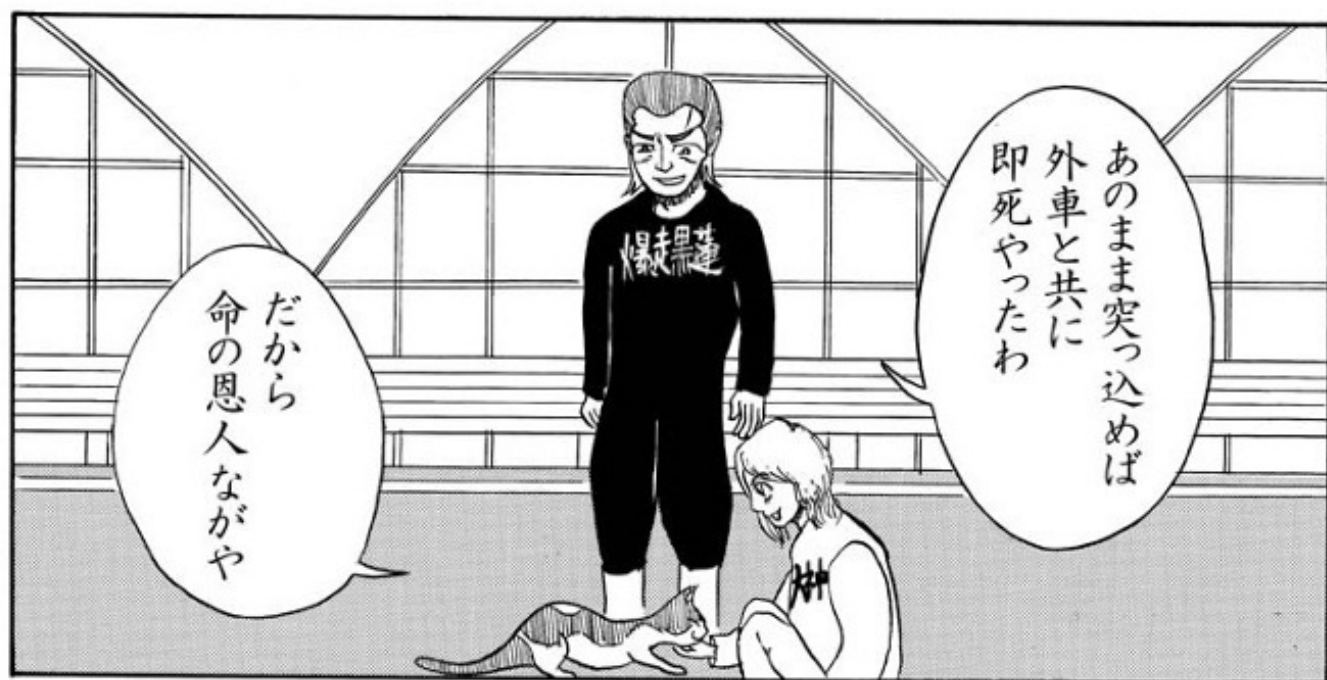
最悪!!





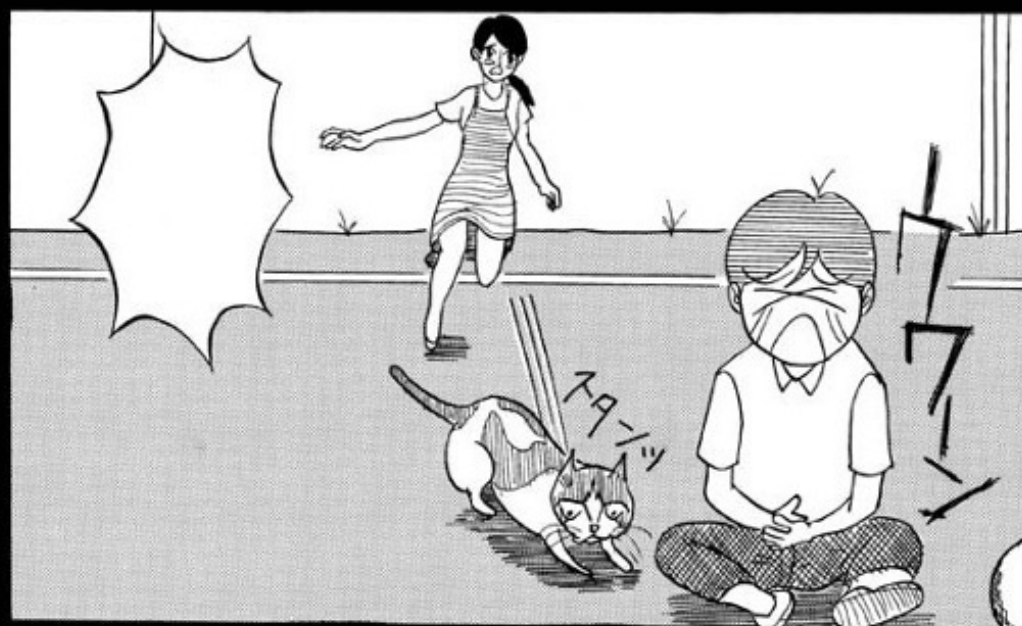
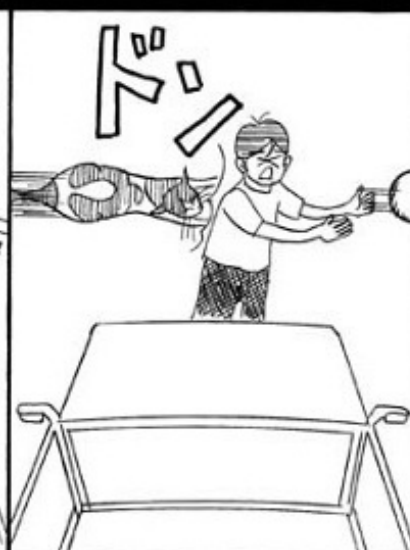
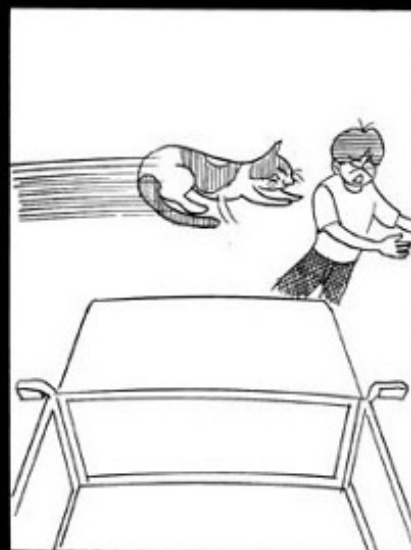
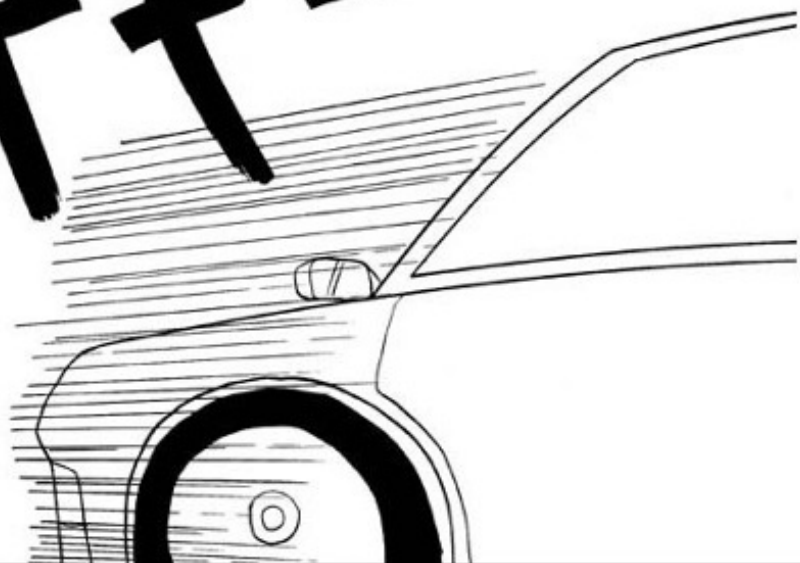




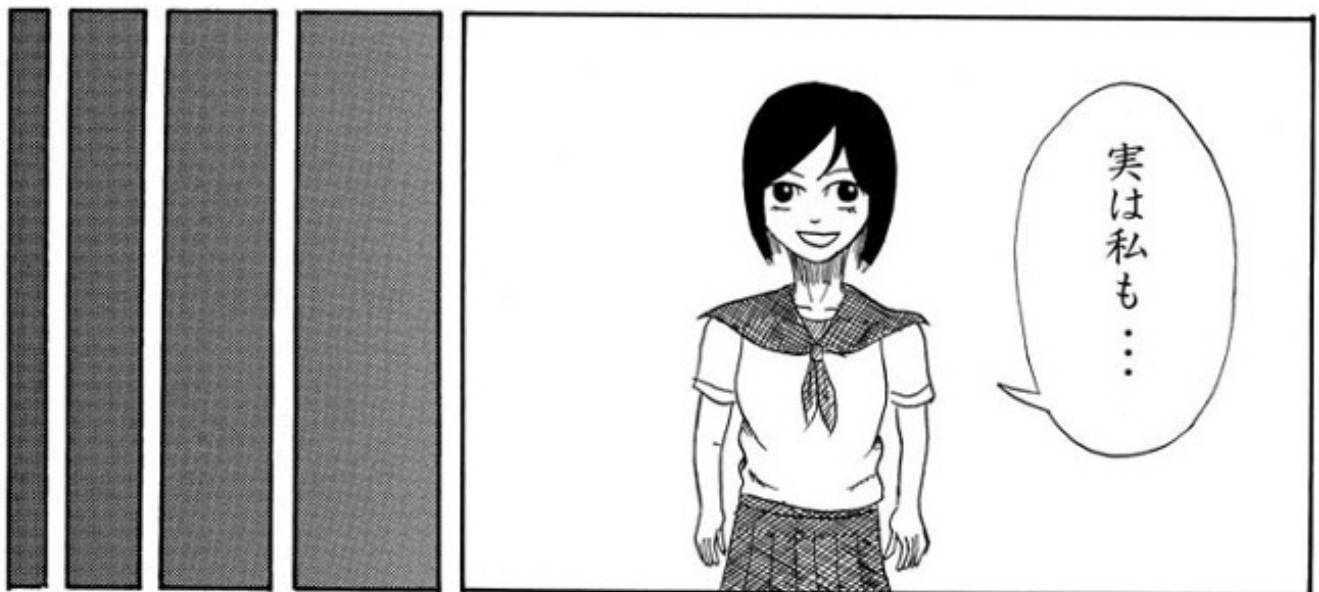


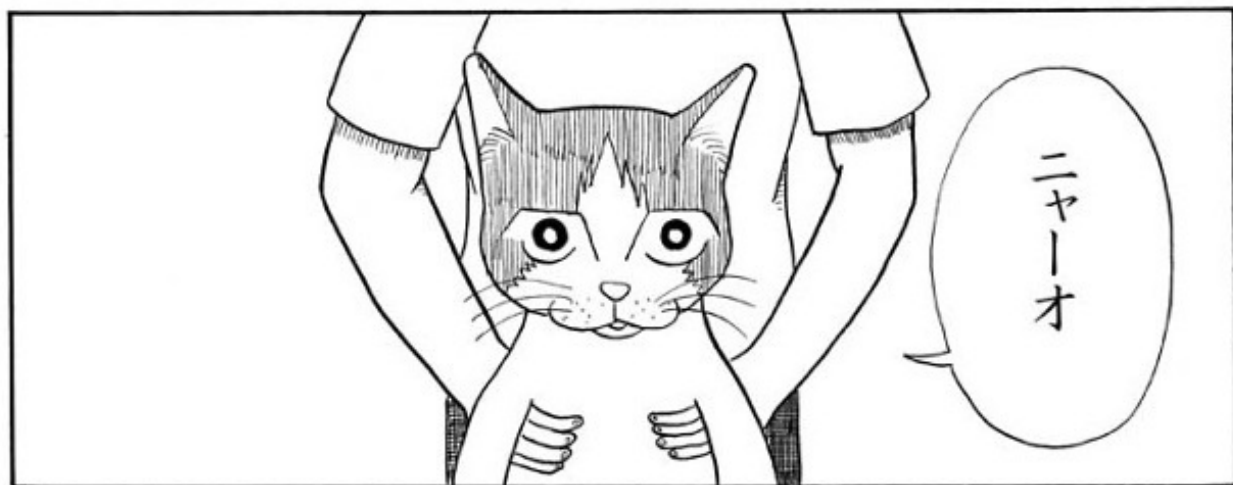


井



かすり傷程度で
すんだんです

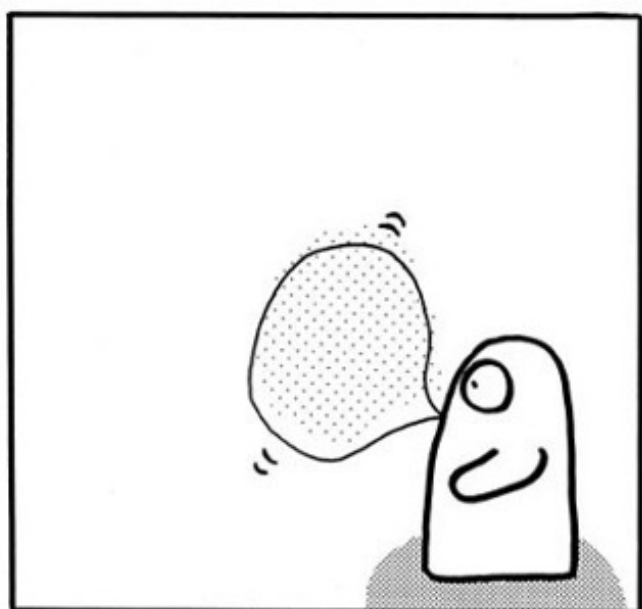
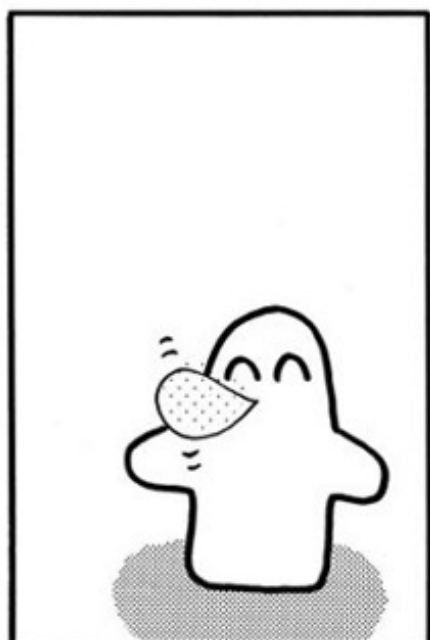
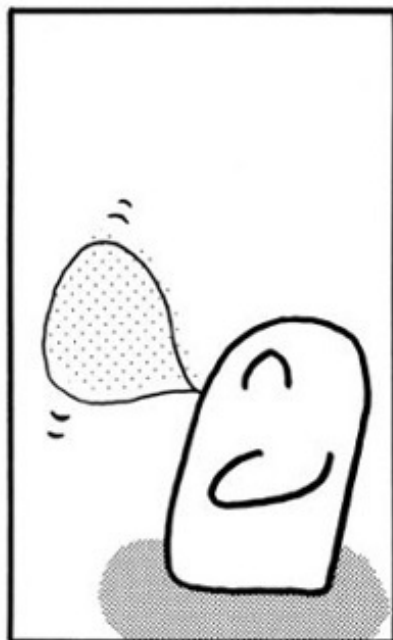


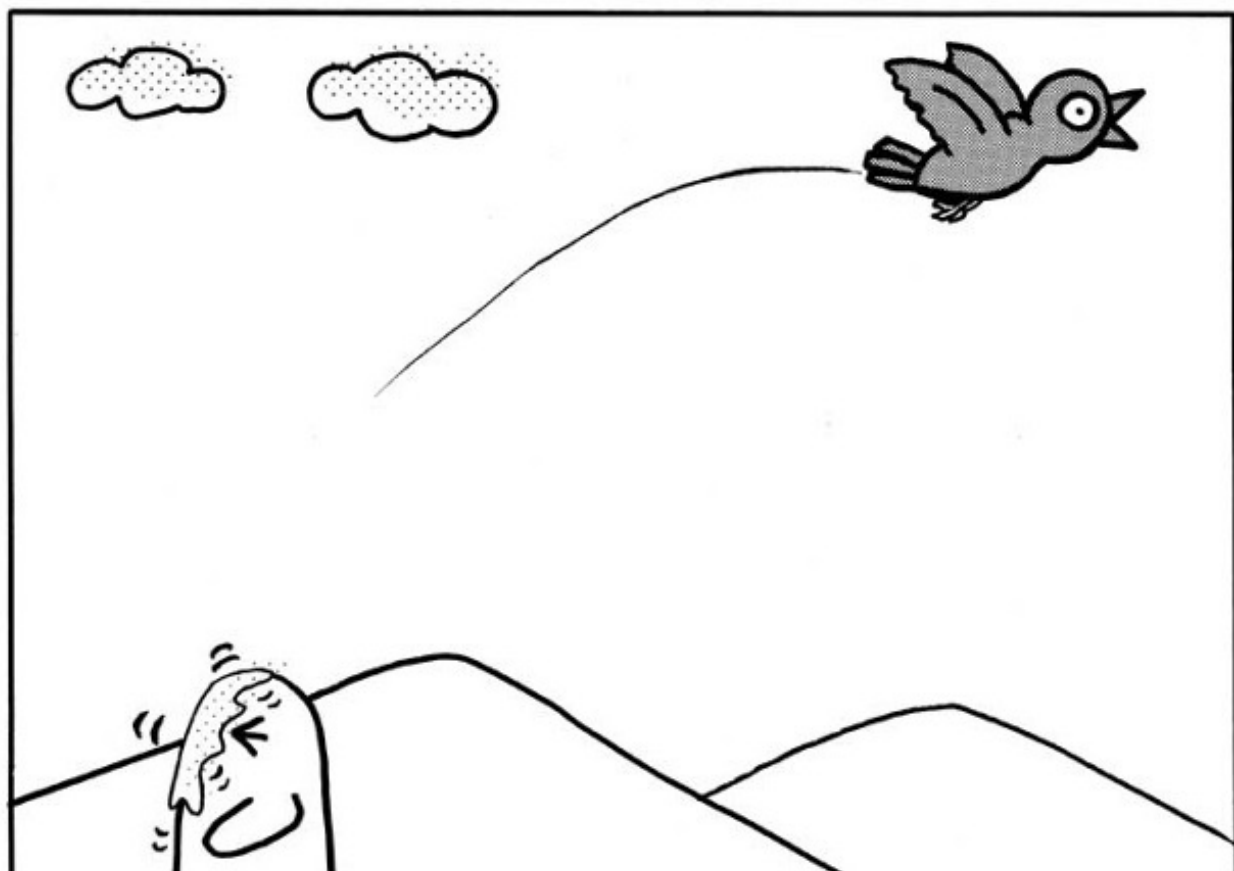
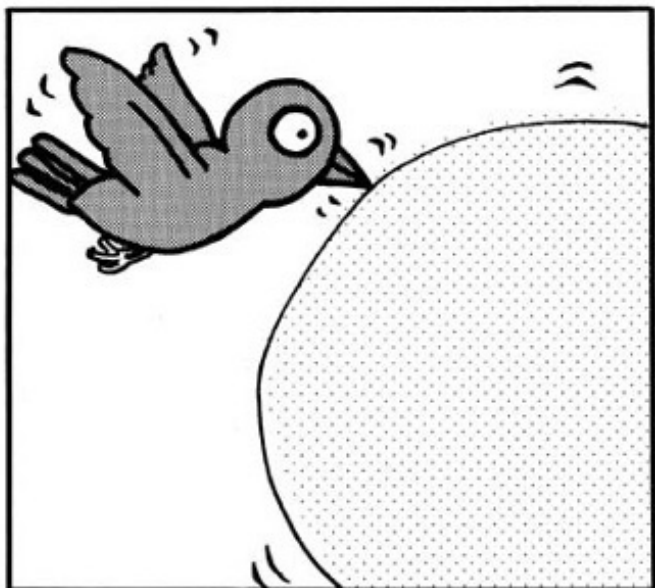
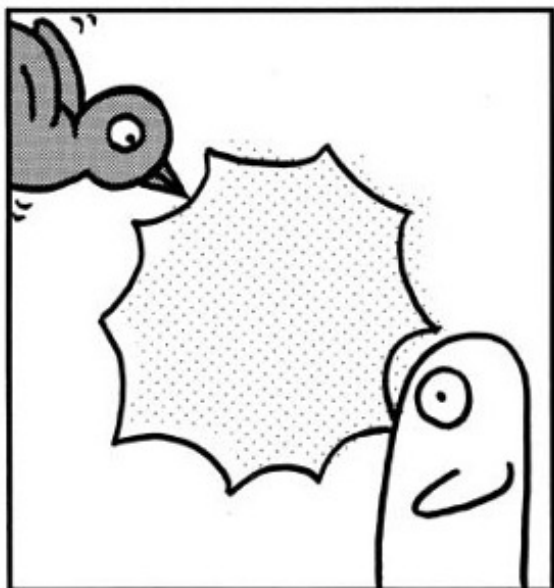


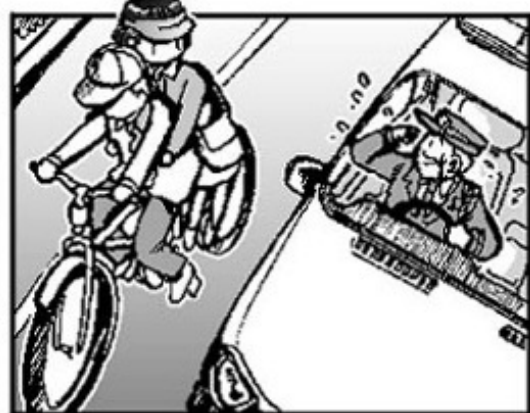
End

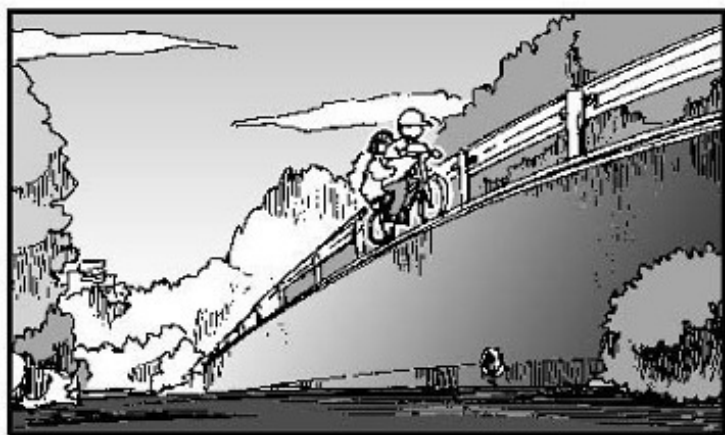
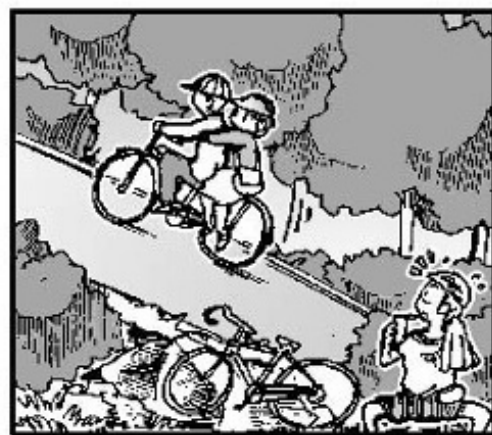
はにわと
ふうせんガム

by ちかこ
2010.2.

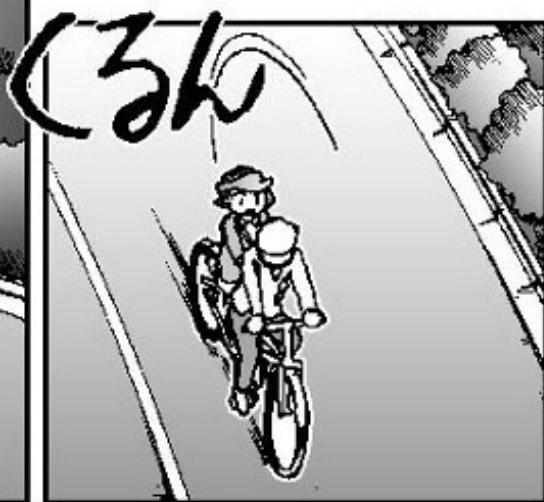








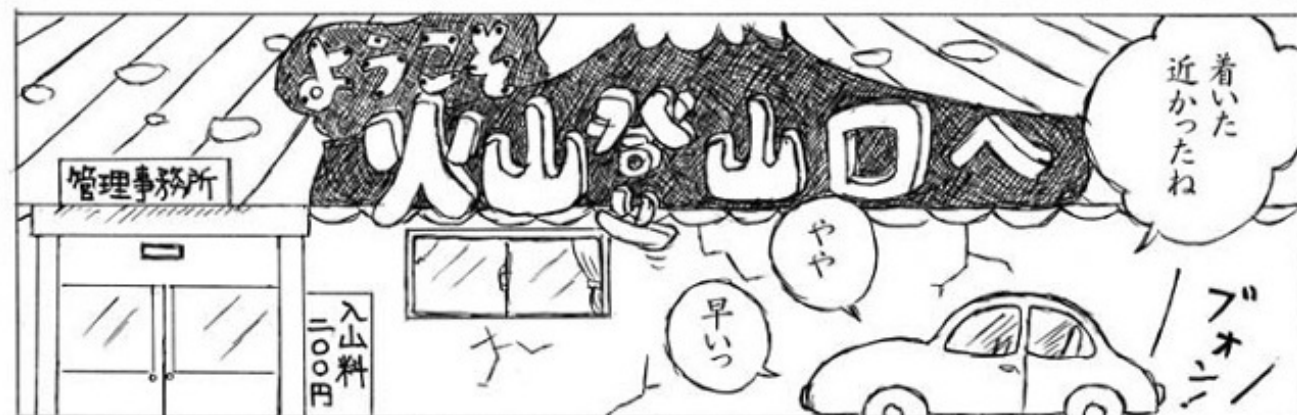




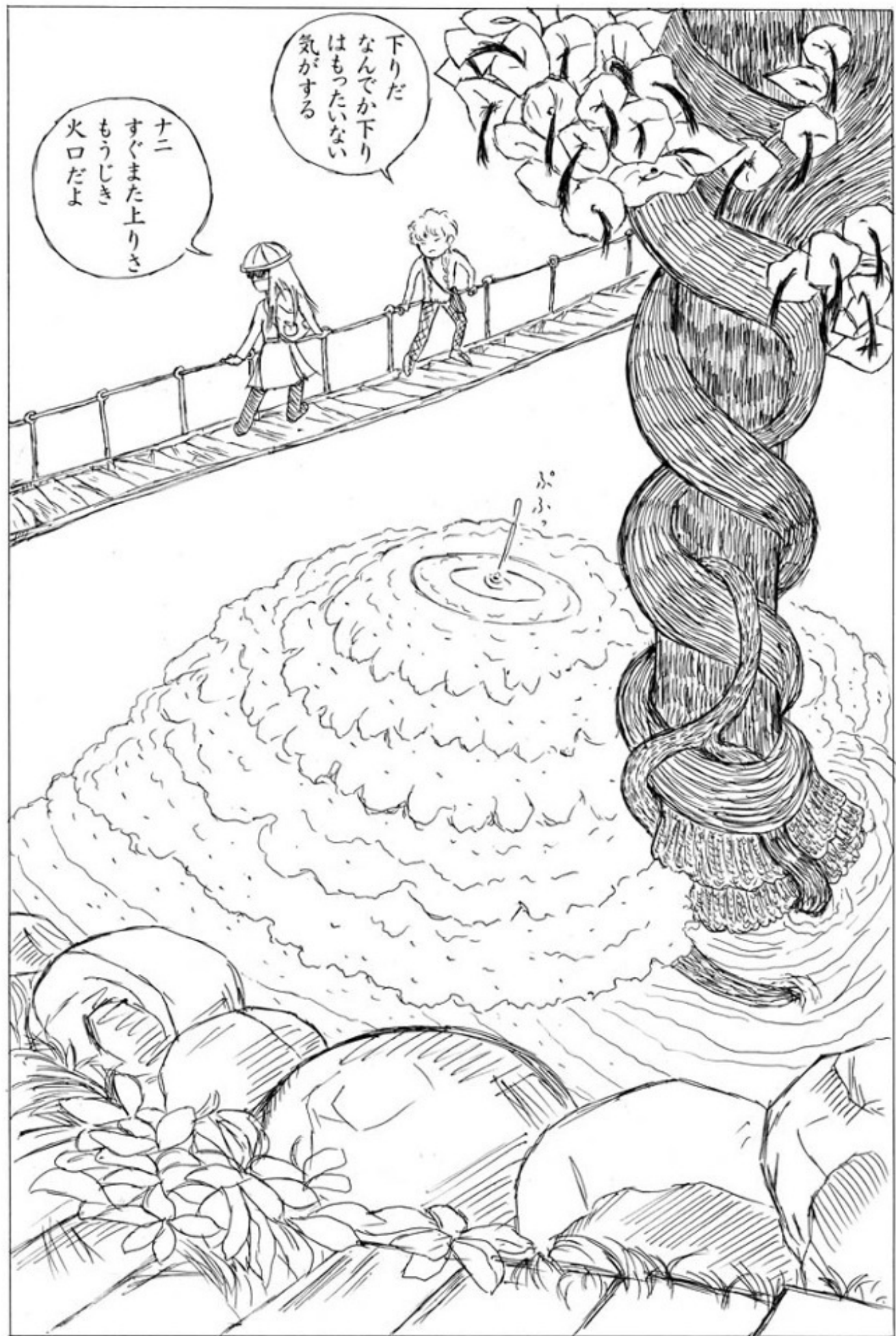
火山登山

田山 峠





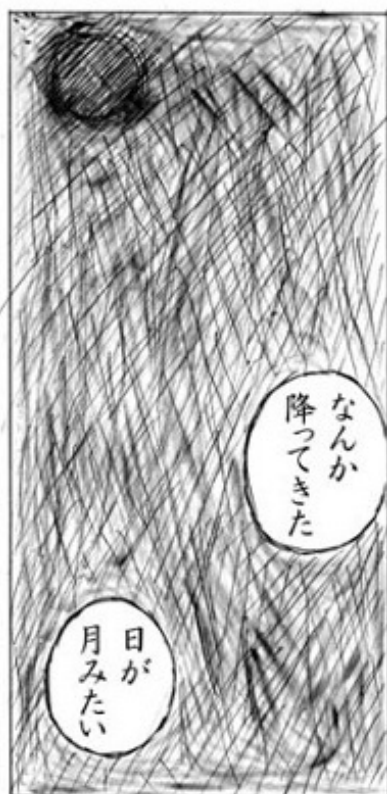




下りだ
なんか下り
はもったいない
気がする

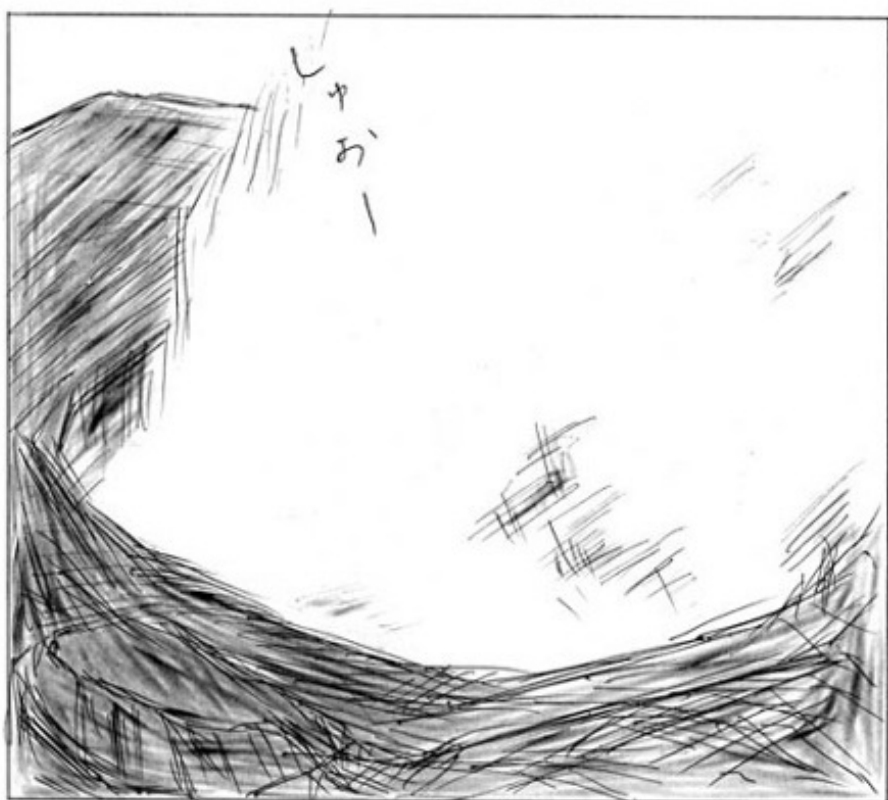
ナニ
すぐまた上りさ
火口だよ

ふふ

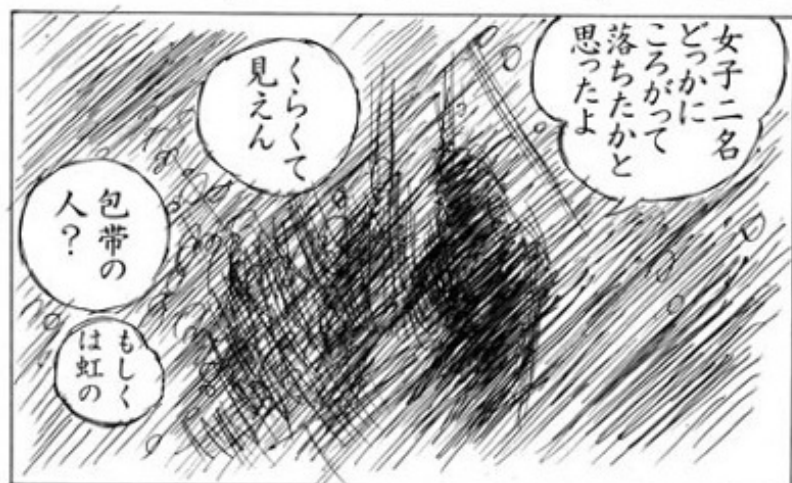


なんか
降ってきた

日が
月みたい



しゃおー



くらくて
見えん

女子二名
どっかに
ころがつて
落ちたかと
思ったよ

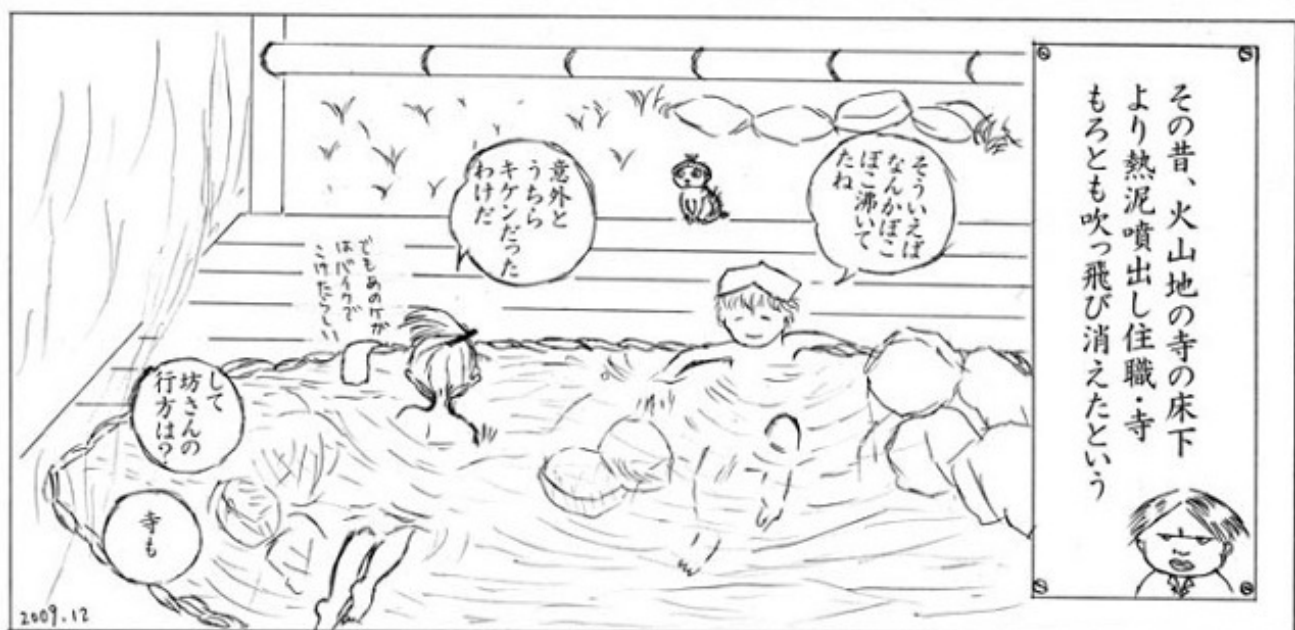
包帯の
人?

もしくは
虹の



おーい

いるのか



その昔、火山地の寺の床下
より熱泥噴出し住職・寺
もろとも吹っ飛び消えたという

意外と
うちら
キケンだった
わけだ

そういえば
なんかぼこ
ぼこ沸いて
たね

して
坊さんの
行方は?

寺も





タラリタ
タラリタ、♪♪
ターン

ご当地
初のお目見得!

本場シカゴより
参りました
ザ・チャールストン・
キング・トリオ!



当店の誇る
東洋の歌姫
ミス・タオ・リー!



BRAVO

TAO-LEE

TAO-LEE!

CHARLIE!

時分の花——
幸せな年頃だ



全く

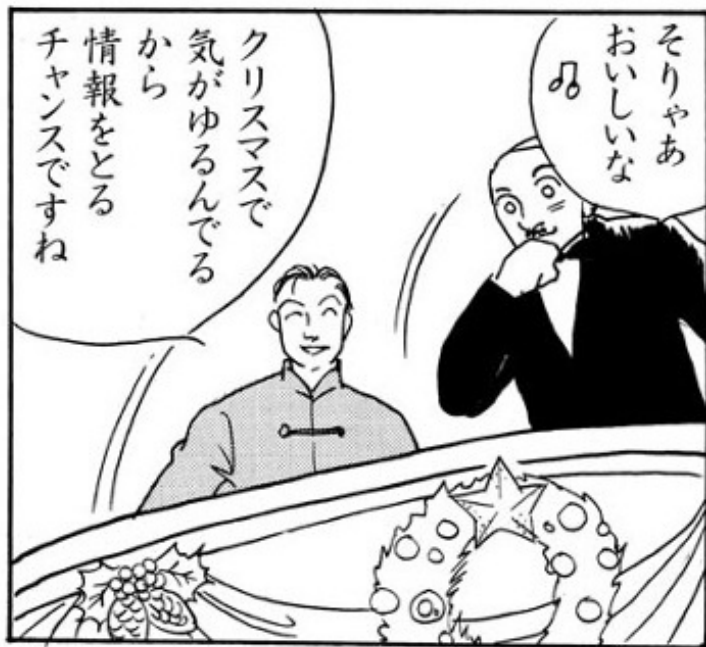
自分のときは
全くそうは
思いませんでしたかね



許されるどころか
ハラを切らされる
ところだった



何をしても 許される





ピンポーな島国どうし
おいら達英国のサルマネを
しようってかい？

なにせ
ピンポーな島国
ですのでね



アンタら
北の方(満州)で
いったい何企んで
るんだ

日本？
いい噂
聞かねエなあ



大英帝国の
名誉にかけて
全力で叩き潰す！



アンタらの上の方はさ
言いがかりをつけて
戦争仕掛ければ
チヨロイとか
思ってるんだろう？

やめとけて
百年早えわ！
第一おいらたちが
許すと思うかい？



おっ



110
710
110
710
7

頭が沢山ある
龍みてあなもんさ
おいらたちだって
アヘンを使ってやつと...

ま、それでなくても
この中国はアンタらの
手には負えねエよ！
店すぎて、バラバラで

こいつあ…

本物の
ジャズシンガーだ！

カノジョ
中国人ではないな
日本人だろ？

カノジョの手足は短い…

お！
どこで手に
入れた？

大事にしてやれ
支配人
ありやあ

サルマネ
どころか



みんな
言ってる
あんたのは
甘ったれた
素人芸だって

だから
あの人も
迎えにこない

上海から船と
鉄道を乗り継いで
モスクワへ行くの

あの人?!

そいつを
探してるのか
毎晩

全く新しい
演劇を学びに

モスクワ芸術座の
演出家
スタニスラフスキイに
会うんだって

上海は世界の入口だから

だからここに
来たのに……

日本には
だめだって
浅草も宝塚も
低俗で古いつて

CHEMIN DE FER DU NOR

ETOLE

PARIS
COMP

PARIS
GRAN
PRI

HOTEL
GRAND
HOTEL

スタニスラフスキイに
会いに
モスクワ芸術座へ?!

ハイッ
ツッ
スグー
フォー
テン
カ
タ
タ
ー
ー



コソコソ

そこのっ

何で遅れるのッ?!

ピアノさん

もう一回!

びくっ



ありがちな
タワゴトね
演劇青年の

大抵は
実力の伴わない
夢よ



低俗で何が悪いの!?!
あの子は才能の塊よ!



しかしお嬢ちゃんは
そいつに惚れとる

そして
自分の芸は
へタクソで
低俗だと









来るべき年が
平和でありますように！



乾杯！

全ての国の民が
自らの幸せに気づき
満たされますように！



うまい米と水に！

うまい
アヒルと豚に！

うまい
ワインとビールと
チーズに！



小さな世界

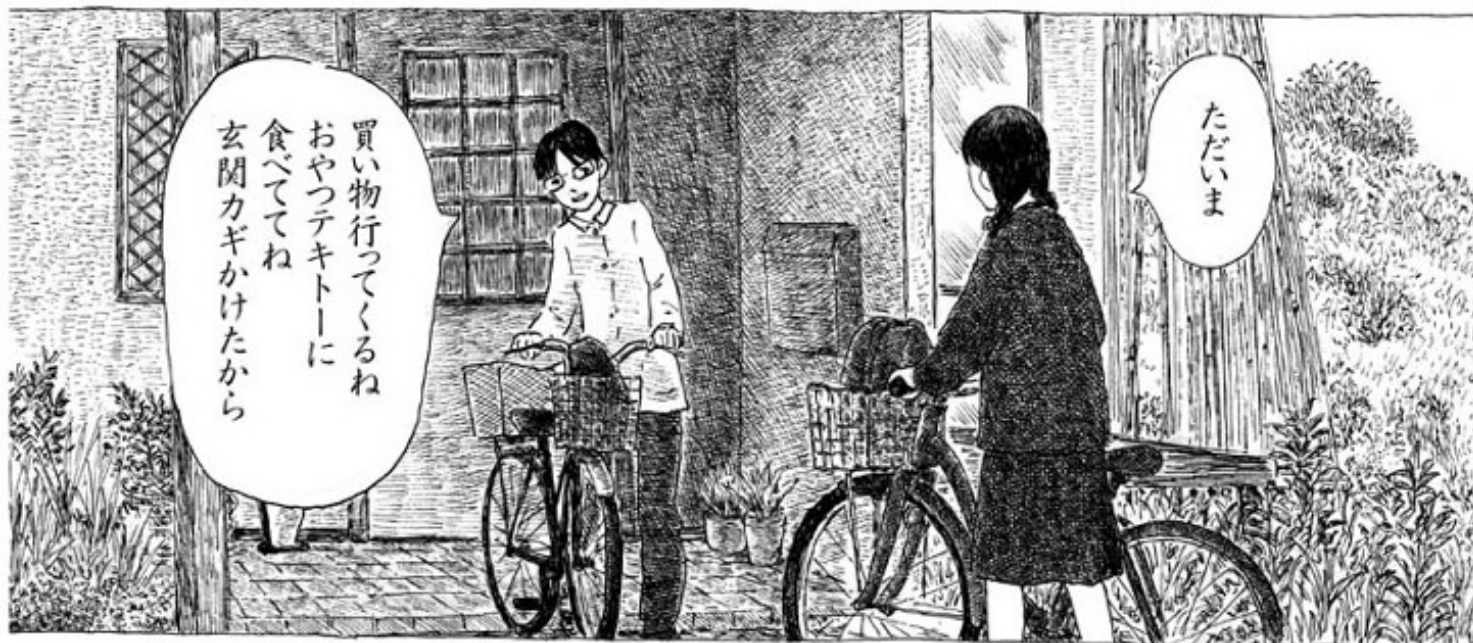
秋元なおと

おかえり

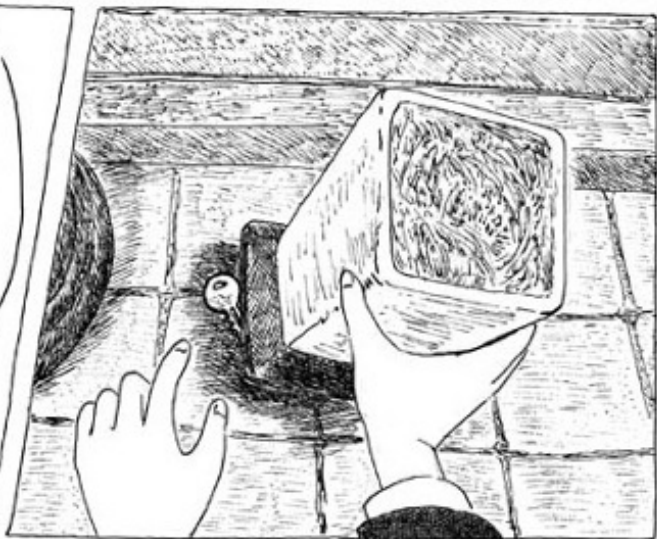


買い物行ってくるね
おやつテキストに
食べててね
玄関カギかけたから

ただいま



あっ
おかあさん



これ最近芽が出てると
見たことないけど
何植えてるの？



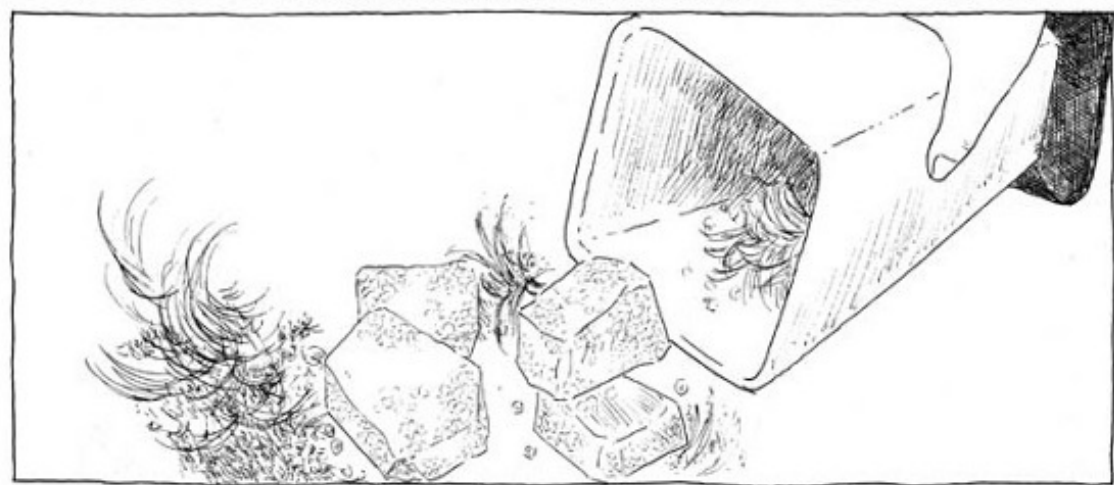
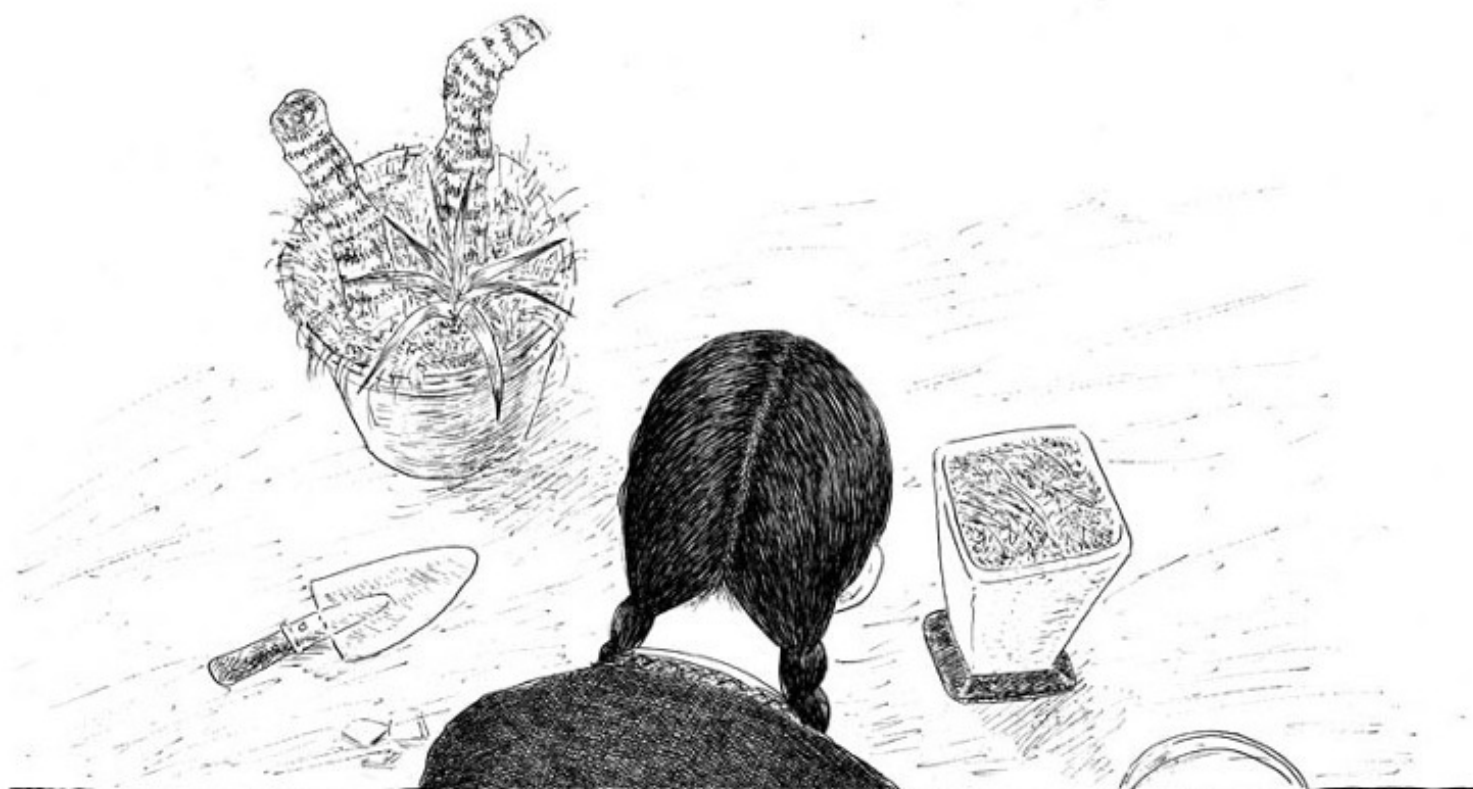
うくん 何だったかな
たしか誕生日か何かの時に
お父さんが買ってきたやつよ
ここ何年も芽が出てないから
だめになったみたいねえ
よかったらその鉢使っていよいよ



裏庭の片隅に
枯れて放置された植木鉢の中で
気になっていた小さな芽

朽ちた幹の下から
顔を出してた





大量の発泡スチロールと
少量の乾いた木くず

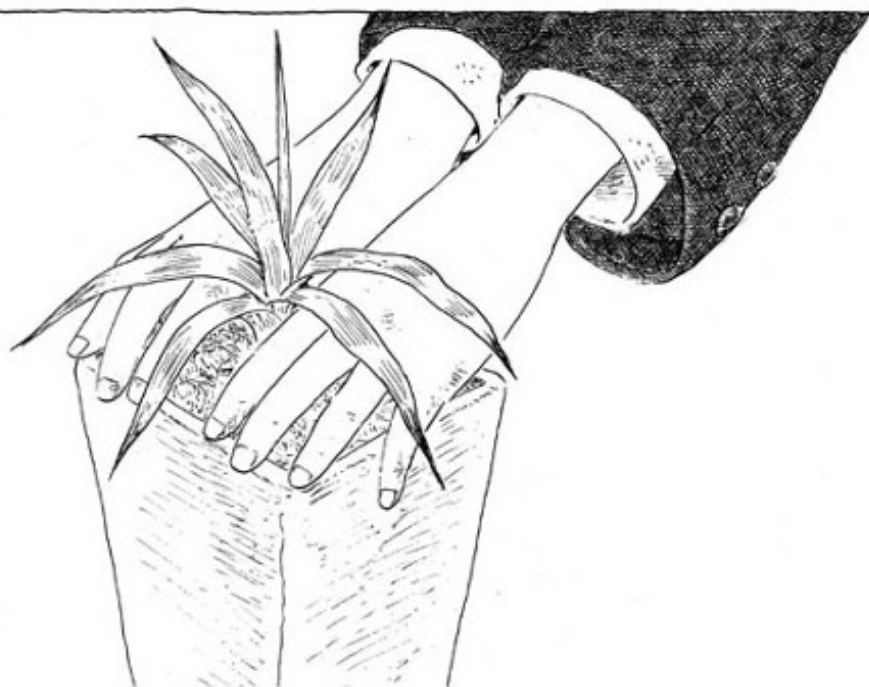
こんなんじゃ
育つわけないよね



なんか
くやしい



育て



育て



その新しい小さな世界で



End

かれら
彼等が空虚だと



たった
七日 なのか
だからって

誰が言える？

レザレクション

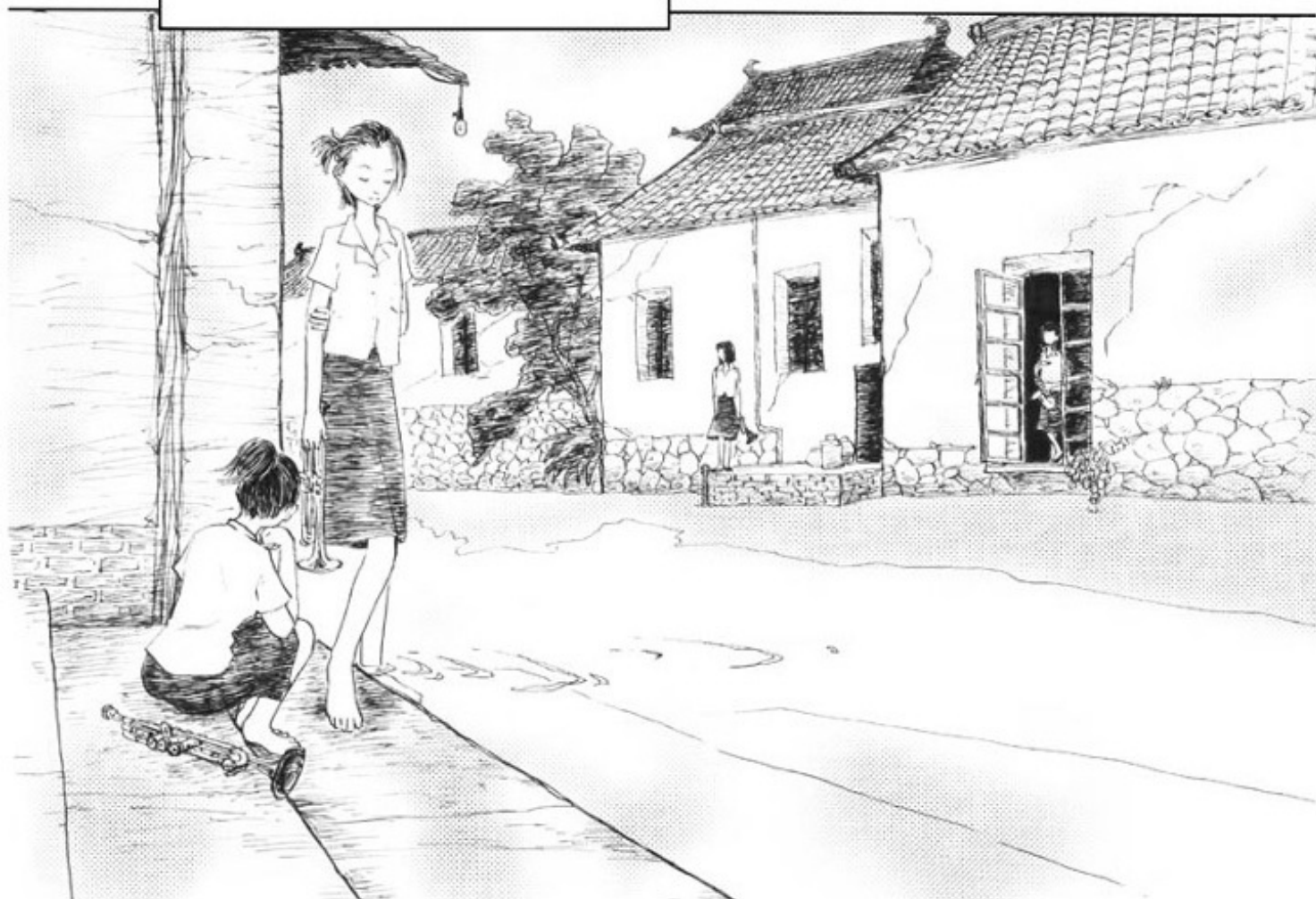
西坂潤

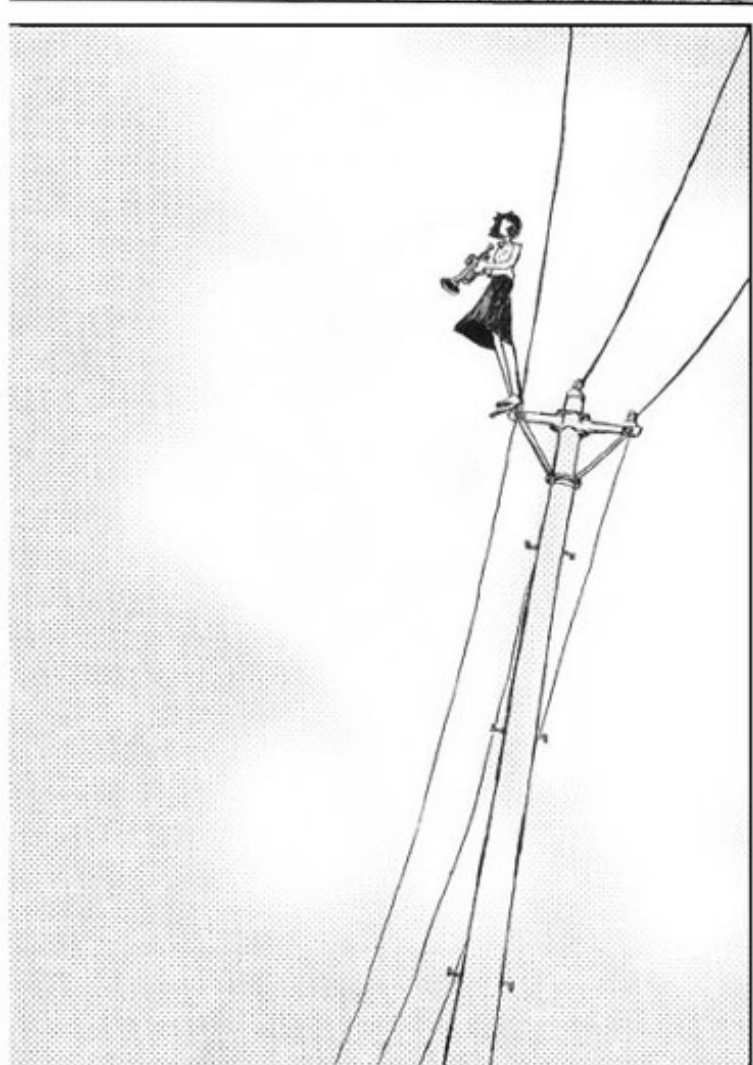




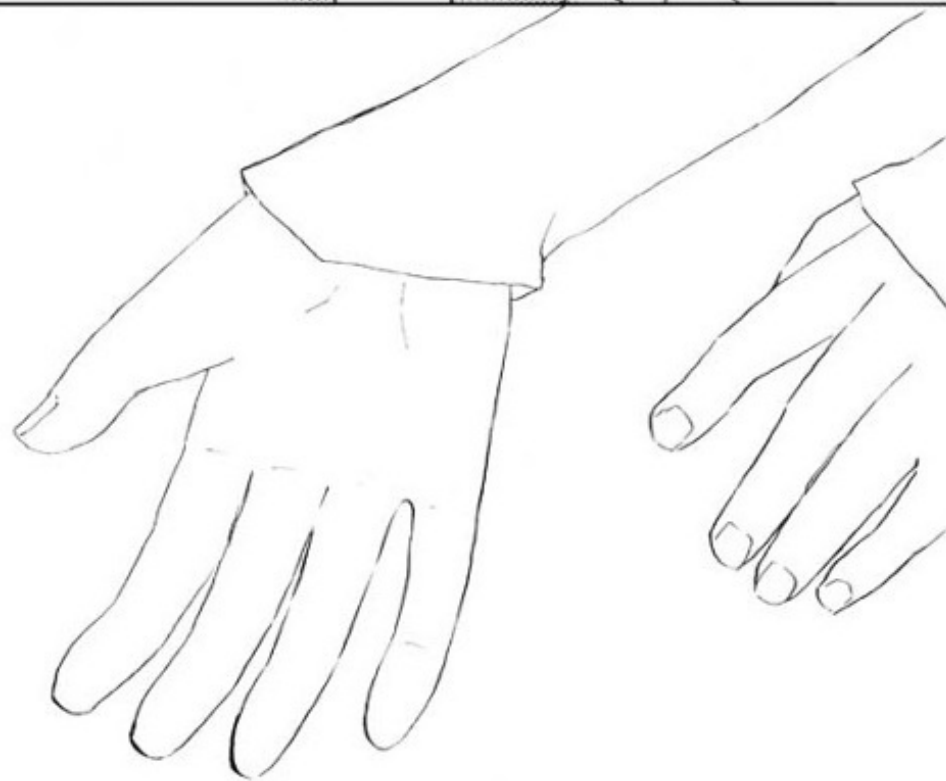
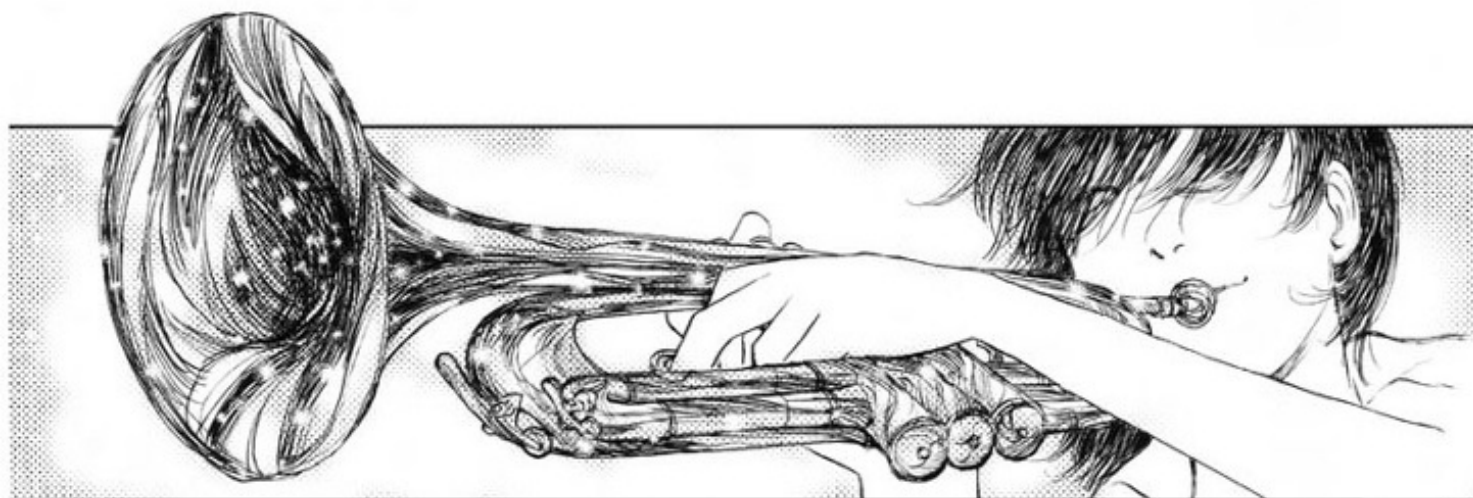
この世界で 同じ夏の暑さに 灼かれても
彼等と私等、 夏の時空は違っている。
彼等の現世は「幼虫と呼んでしまっている季節」にあり、
後の「成虫季」は来世の夏へ、
次の夏に向けて 一歩踏み入っている。

繁種の旅に 嬌声 鳴き響かせて、





いつかの夏、共にあった記憶の声の彼等が
廻り来た 今 という偶々、
この時、ここで 再び耳に響く。
次の彼方の夏、また唄っている声は
今夏の彼等か、 別夏の彼等なのか、
たのしみに思う。



ともあれ さよなら。

ふたたび会える夏を

今の希望として



end.



祈りをこめて
くちつける

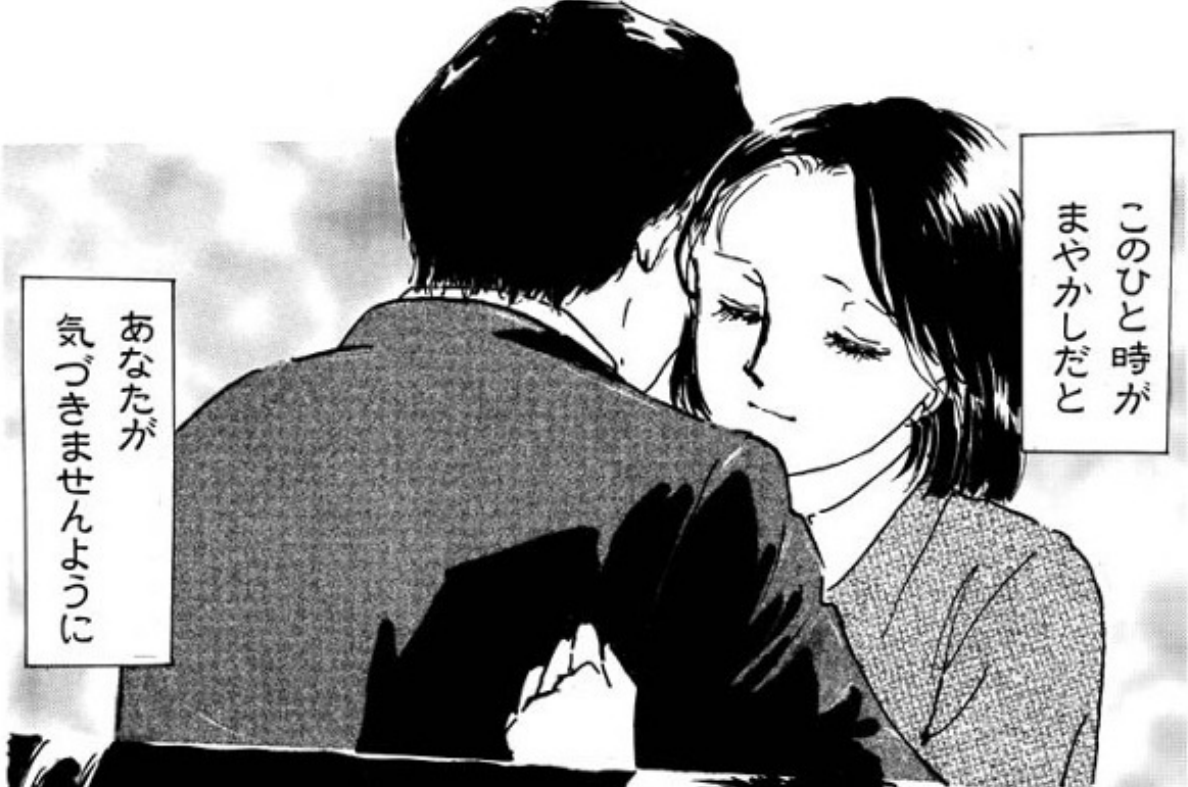
épine

-とげ-

大樹




どうかこのまま
あなたが
気づきませんように



このひと時が
まやかしだと


あなたが
気づきませんように




もし気づいたら
あなたはきっと
行ってしまふ

あなたが本当に
望むところへ

私の居ないところへ



——もし
そうならたら…



私が傷つくこと
あなたが傷つきますように

どんなに小さくてもいい
忘れられない
棘になりますように






うそ

うそです神様

この人の瞳は
たった今も
かけらも私を
映してはいないと



私は知っているから

この人はいつか
私をきれいに
忘れてしまうと

私はちゃんと
知っているから



ただ

どうか私の呪いが
あなたに届きませんように



これが

見えますか



見えますか



日菜さん

小塚
こ びん

いのうえけい



海の底のような夜



あなたがやってきた

あの夜は

新しい魂の中に
コタエはない



追憶の中に



見たような
気もするけど

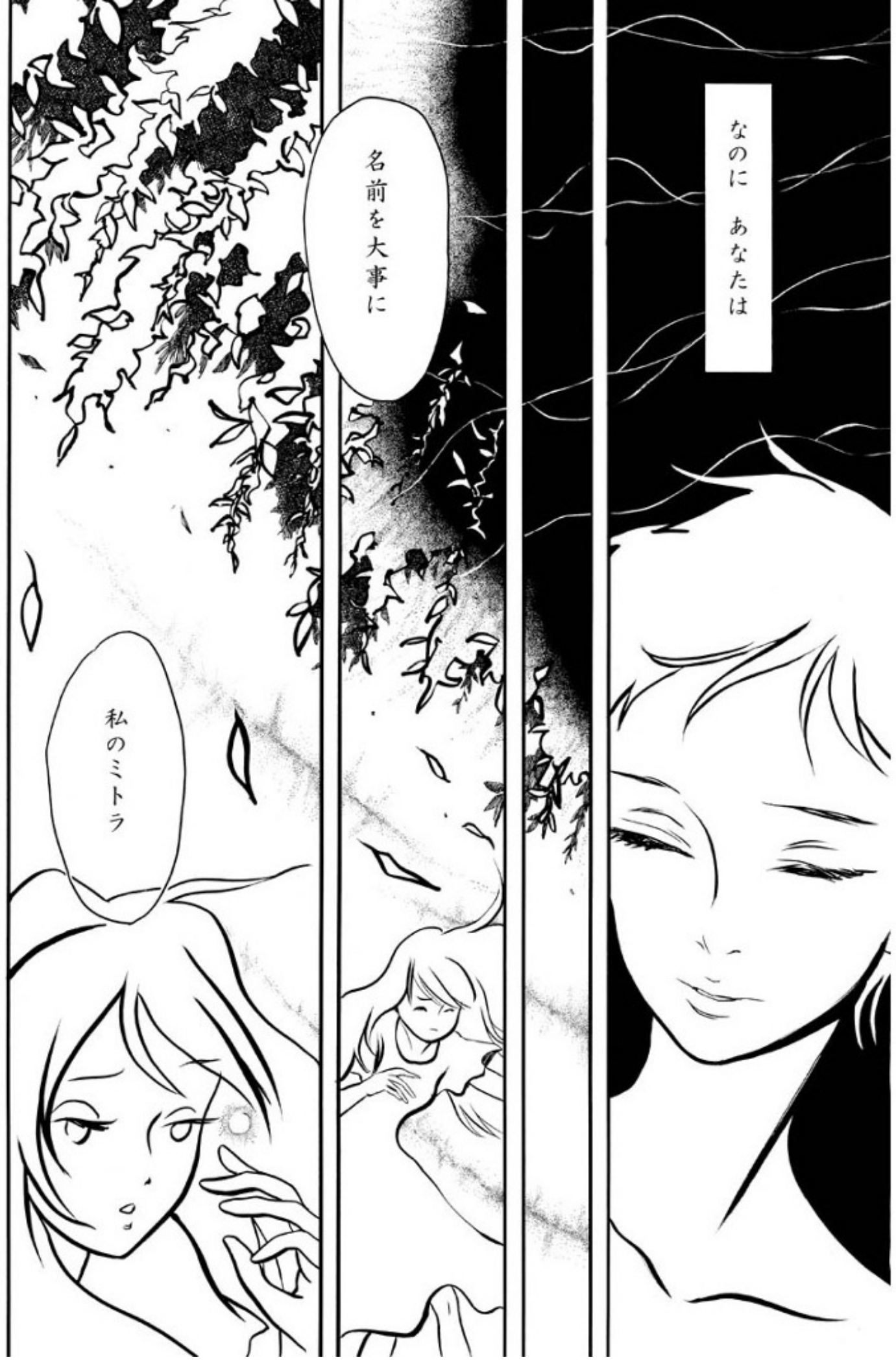


あなたへのコタエ

なのに あなたは

名前を大事に

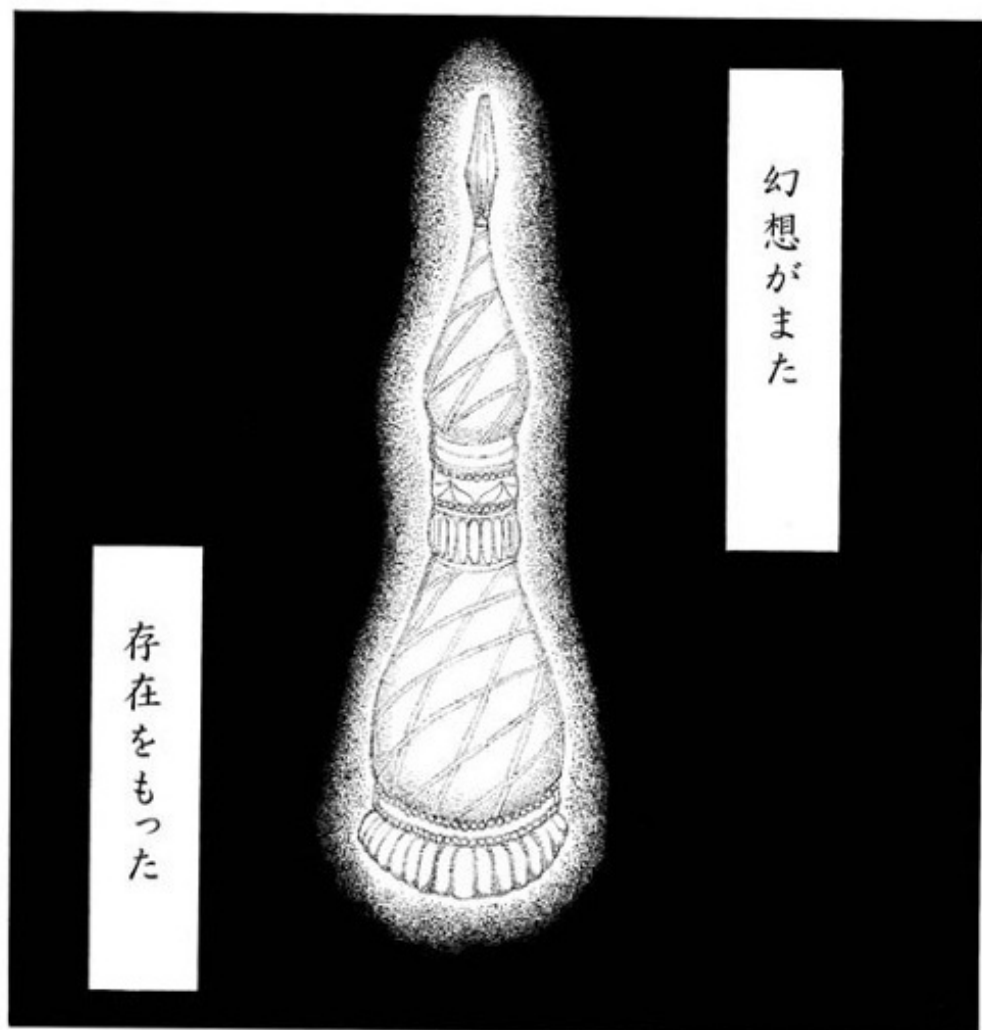
私のミトラ



ほら



私に愛情を
向けたから



幻想がまた

存在をもった

それは



古い魂からの

贈り物

私の心に

確信のようなものが

浮かぶたび



小塚の中身が

増えていく

幻想が

ここに

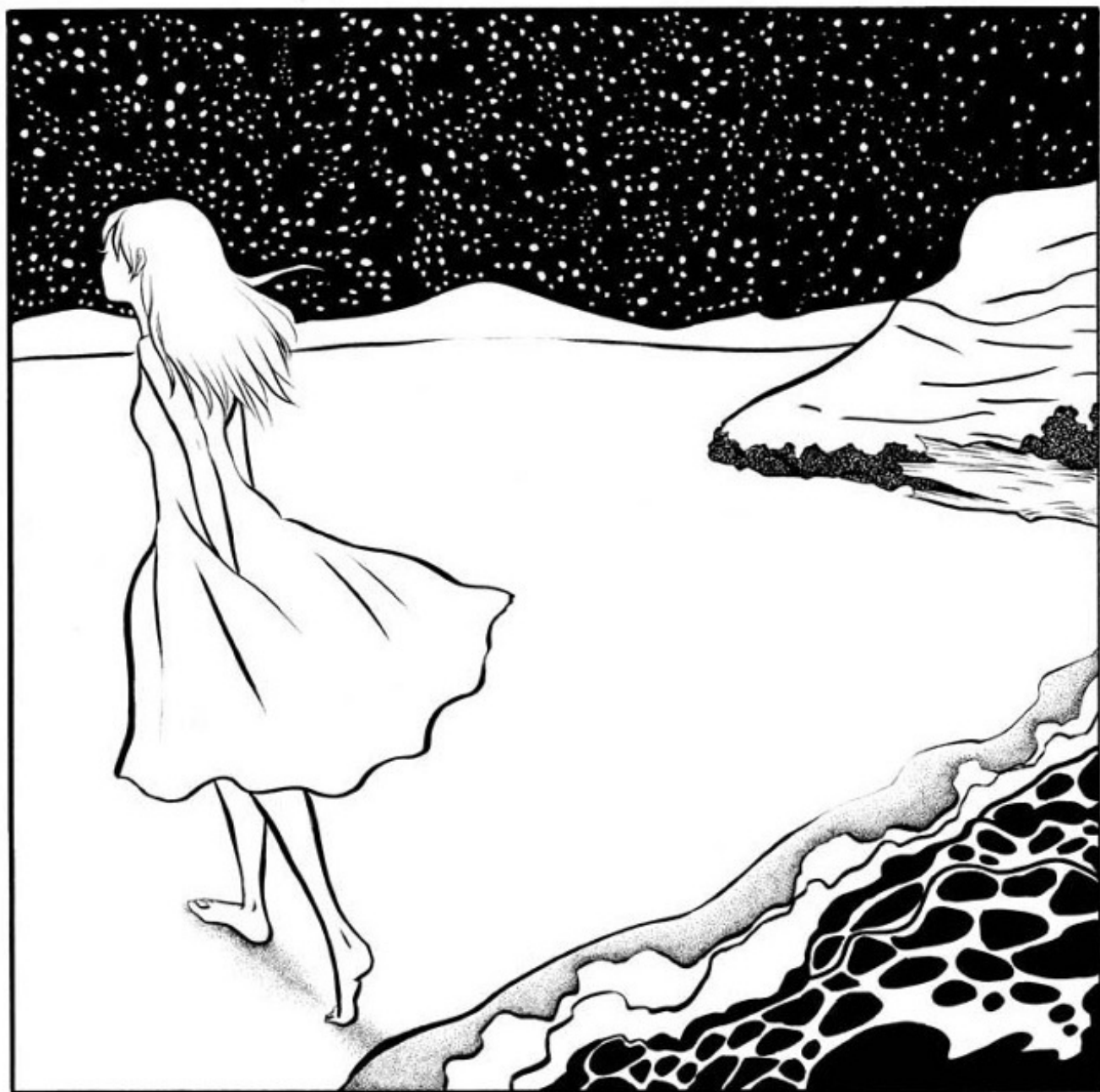
あるなら



ああ

何も恐れることは
ないと知る

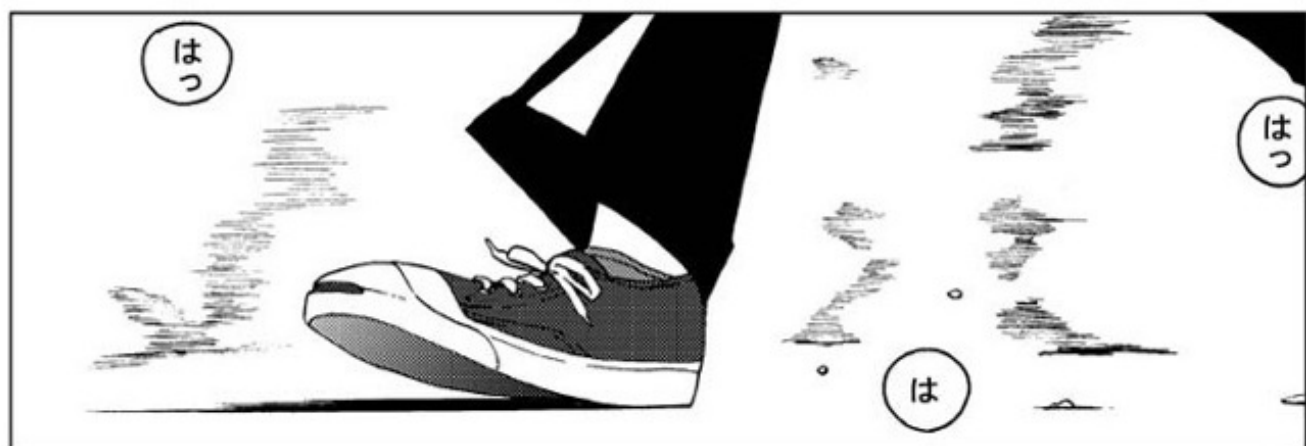
たとえ



あなたを

忘れたとしても

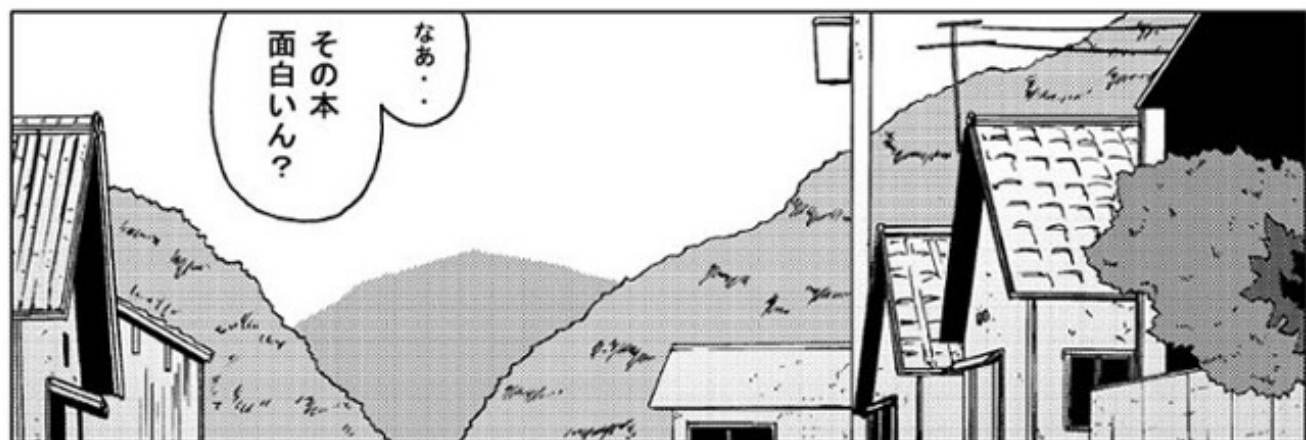
End



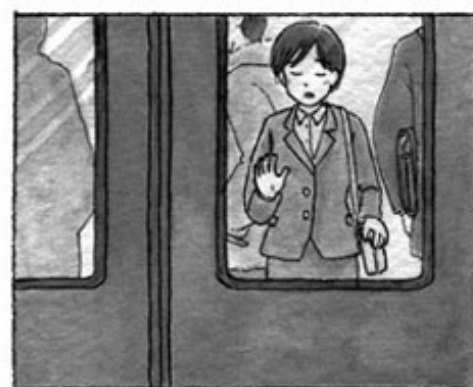




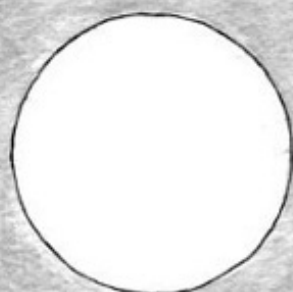




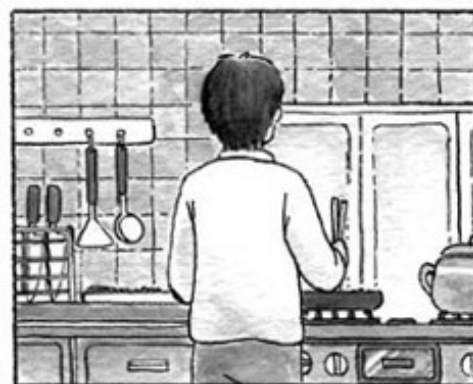


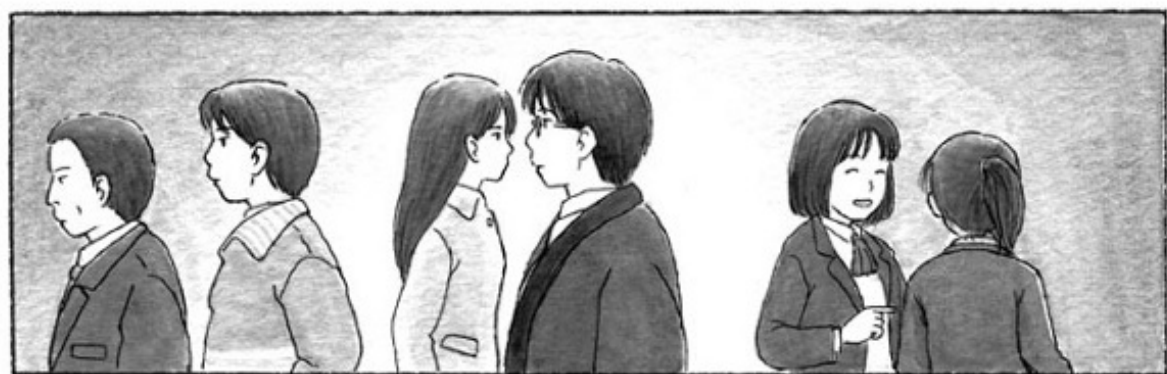


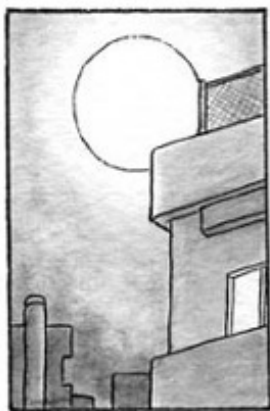
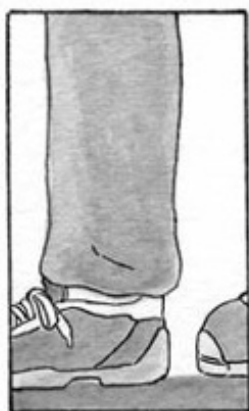
月が見ている



関口拓志

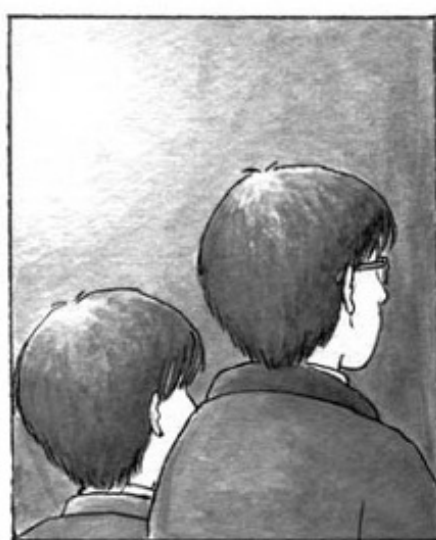
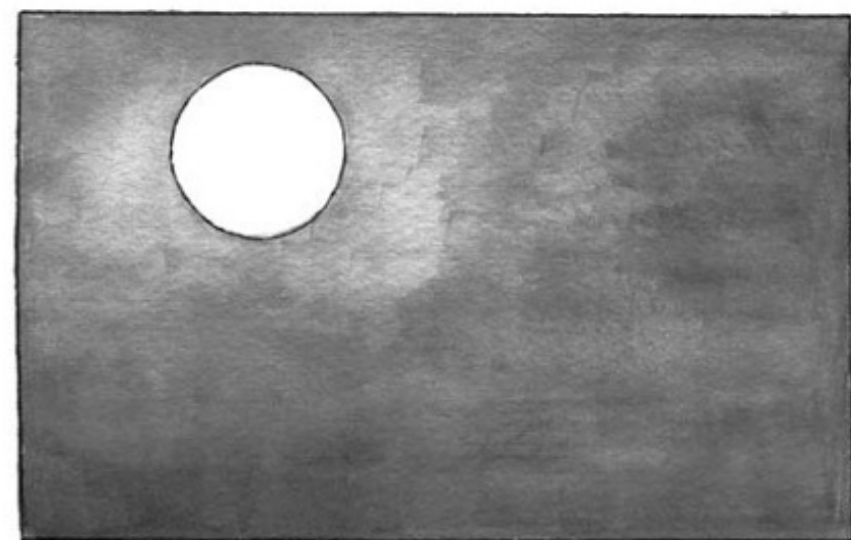


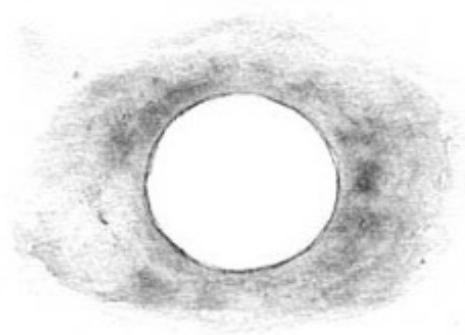












叙情派
ひとつ
2010







「ハートのおくすり」 驢馬



最初に、ドクダミには精神医学的な効能は多分ないと思います。この草はどこでも生えますが、薬なので飲んだのは1回だけで、味はさして印象なかったですが、不味いと感じる人もいます。ただこの作品を産み出したのは効能でしょう。(笑) 現実には心だけではどうしようもないですが、生き抜く事だけは見習いたいと思います。

「おおきなリボンの女の子」ときたけいこ



やりたいことがいっぱい、考えただけでいっぱいになって、なんにもできない！そんな自分をなんとかしたいっ！そんな気持ちで描きました。

「星に願いを」 暁青



星空を作る歯ブラシの相棒の柄つき網が30分探してもみつからなかったのであきらめて台所からざるを持ってきて使いました。丸いので(角度が付いている) あっちゃこっちゃんに飛び散ってあせりました。

この作品は私が書いているファンタジー小説の番外編で、登場キャラの子供時代のお話です。登場キャラは鳥獣に変化する種族なのです。

「春菜さん」 ひすいろうかん



チューリップの花言葉のテーマは「愛」で、色によって違うそうです。作中、彼の持ってきたチューリップは何色だったのでしょうか？ それにしても、常に花言葉を意識していたら、うかつに受け取れないですね…。

「オンピョウ」 高橋マナブ (高橋学 改め)



幼少の頃、飼っていた猫(トラ)に犬に襲われているのを助けてもらった事があります。人間と動物の関係っていいですね。漫画に出てくる猫は現在飼っている甘えん坊のマルです。

「星の記憶5 浄夜:上海1928年」 一色碧



久しぶりの「上海」です。予告したようには進まず、とても時間がかかりました。今回の「ひとつ」の発行が遅くなったのは、全て私のせいです。すみません！いつもなら早々に諦めて次号に描こうと思うのですが

今回はなぜか「今でなくてはダメだー！」と。わがままを許して気長に待って下さった秋元さん読んで下さるあなた、ありがとうございます！

作者さんあとがき

「めぶき」 森谷和花子



最近気付いたのですが、しあわせな絵を描くと、しばらくしてそれに似たしあわせな状態がやってくる。かなしいもの描くと、かなしみは続くか、それ以上になってしまう。

絵や作品ってなんだろう、と思います。私は、すこし昔、木は枯れ枝しか描けませんでした。でも今は違います。これは、しあわせな絵です。

「ハルノトリ」 小野カロン



毎年、近所の桜の木に巣をかけるカラスがいます。そしていつもすぐに撤去されてしまいます。

人に危害を加えたり、ゴミを散乱させたりと、とかく評判の悪いカラスでも彼らにだって言い分はあるんじゃないかと思います。春は鳥たちもどこかうきうきとよい季節を楽しんでいるようにみえます。その姿はつましく、いじらしくさえ見えるのです。

「星」 摘草春菜



はじめまして。素敵な方々がいる中描かせていただきました。ストーリーがあるようなないような意味があるようなないような、漂う感じが好きです。感覚や雰囲気を感じていただけたらと思います。

漫画を描くって大変だけどいいですね！

「命の星」 「たつまき」 くるみやかおり



この2作品は10年以上前にスケッチブックになぐり描きしたものです。懐かしいやらお恥ずかしいやら色々な気持ちです。今回思いがけず載せてもらえることになり、その当時の思いが鮮烈に蘇って来ました。

「翼をあげます」 つばめ・ろまん



会社でイラストボードを捨てていた。デジタル化されたデザインの現場では、使い道がなくなったからだ。私はゴミ袋の中から拾い、家に持ち帰った。そのボードに描いた一枚の絵が、今回の作品のすべてです。

いくつものコマに描くのは、まったく違う愉悦と、苦痛と、快哉がありました。

「épine」大樹



ほんの気の迷いでフランス語会話を始めてしまった私。〇年以上になるというのに、一向に上達しない私
「アナタがフランス語によく似た言語を創造しようというのなら、ワタシは止めません」と先生から言われてしまう始末。悔しいので、タイトルにフランス語を使ってみました。「épine:刺」ですわ先生。覚えました。使う機会は少なそうですが。祈りと呪いは紙一重よね、という訳で、隠しサブタイトルは「裏・祈り」です。

「小塚」いのうえけい



ふいに、言葉が生まれてきました。それは余計なものを一切まっとうしなかったから、あれこれとくっつけては外し、なんとか作品にしたいと考えるのですが、考えるほど、生まれた時の輝きが失われていくようでした。それでも、ひとかけらだけでも、うそじゃないそれをつかめたから、うれしくなってしまうて誰かに届けたいと思いました。
(ミトラ:友愛の神、太陽の神)

「真っ白なページ」しょうじひでまさ



まんがの中の季節は冬なのですが描いている現在はもうすっかり暑くてヘトヘトです。ネームを考えた時はまだ寒い季節だったのでその時に原稿に取り掛かっていたらと思うのですがなんと…。兎も角今回もなんとか「ひとつ」に参加出来そうなので嬉しいのです。

mail appleorchardsb@yahoo.co.jp

「月が見ている」関口拓志



東京から帰る電車の窓から見えた、街のあかりや利根川の土手を見て、そんな一場面を描きたいと思い、このマンガが出来ました。はじめは台詞ありの4ページだったのですが、何だか説明的な台詞ばかりになってしまい、自分で納得のいかない内容になってしまったので、思いきって台詞を全部無くしてみました。そうしたらページ数も6ページになって、コマ数も大変な事に…。ちなみに作中の二人は夫婦です。二人がどんな会話をしているか、想像しながら見ていただけると嬉しいです。

「火山登山」田山峠



ずいぶん前に九州旅行で大分の別府温泉や阿蘇山に行った記憶から作品を描いてみました。物語や自然のありようは創造や捏造や記憶が混ざったものです。でも別府の坊主地獄では大昔本当に坊様や寺が吹き飛んだらしいです。



「はにわとふうせんガム」まのこ魚ものすごくでかくふくらませるつもりが…(悲)

「サイクリング」なかせよしみ



今年も「ひとつ」に参加させていただき、ありがとうございます。毎年、去年の自分に比べてどれくらい変わったのかを確認しながらの参加とさせていただいています。また来年も是非、お寄せさせていただきたいです。

「小さな世界」秋元なおと



ネットで調べると発泡スチロールは植物の固定のためや水はけのために入れる事があるようです。悪意のある事ではないようですが知らずに私が見たときの印象をメインに描かせていただきました(水はけがよすぎますよ～)
植え替えたのはユッカという植物です。

「レザレクション」西坂潤



手がかりとして…「レザレクション」とは「復活、再起」そして宗教的に「生き返り、リスタート復活」等の意味があります。今作は4Pですが細かく仕掛けを重奏させて施しています。それを楽しんで頂けたら、と。

ちなみに冒頭の女性は「ひとつ2008」掲載の「みそら」の冒頭の少女が大きくなった姿としてイメージしてます。



関口拓志

作品募集!

作者の想いが込められた、短いマンガ作品を一般公募しています。
昔描いた作品OK。はじめての方も歓迎します。

◆紙原稿の場合

- ・B4描画域2700×1800ミリ(投稿サイズ)
- ・A4描画域2200×1500ミリ(同人誌サイズ)
- ・どちらでもOK。多少違っていてもいいです。
- ・紙原稿もパソコンに取り込んでデータとしますのでもたえば薄い紙にエンピツや薄墨描きでもOK。色付きでもいいですが白黒印刷です。
- ・白抜き文字などは指示してください。
- ・生原稿は必ず返却、コピー原稿は返却しません
- ・エンピツで書かれた文字はこちらで文字を貼り付けます。

◆パソコンデータの場合

- ・印刷物の原寸+3ミリです。
- ・画像サイズ216×154ミリ
- ・描画域1800×1200ミリ(トンボ不要)
- ・グレースケールまたは2値で600dpi
- ・画像の形式(png, jpg, tiff, bmp)
- ・グレーはトーン化しなくてもOKです。
- ・送り方はCDに焼いて送る、webにアップする、など。データが大きいのでメール添付はできない場合もありますのでご注意ください。
- ・CD-ROMなどデータは返却しません。

◆ページ数 1〜12ページ

作品が12ページ以上になる場合は事前にネームか下書きのコピーなどをお送りください。

◆あとがきや作品解説

あとがきコメントを添えて下さい。主催者に向けてというより読者さんへ一言、みたいにお願います。文字数は150程度で。抽象的な作品や異世界の物語はその解説があると、読む人の助けになります。文字数は問いません。自由に解説おねがいします。編集からお願ひすることもあります。

◆締め切り

毎年4月末
(今回は2011年4月)

◆おねがい

- ・本に自分の連絡先を書く場合は「あとがき」に追記しておいてください。
- ・編集連絡用に電話かメールを教えてください。
- ・参加費及び原稿料はありません。
- ・参加者には出来上がった本をお送りします。
- ・参加された次号もお送りします。
- ・インターネットの「ひとつ」のサイトでの作品公開を望まない場合はその旨お書きください。

作: 大樹さん

とある作家の苦悩〜っ



息抜きページ用の募集

紙面のページ合わせの編集に使いますので使用されない場合もありますがご了承ください。
ハガキ大以下のイラスト・4コママンガ

感想は作品を育てます!

感想は次回の本に掲載します。その作品をいちばん深く理解するのはあなたかもしれない。小さな一言でもいいのです。よろしく!!

感想 ひとつ2009



「遠くにありて」つるはらかおり
■つるはらさんの何か、心理的又は環境の変化があったのでしょうか。いつもと同じ様でしかし何故か何処か違う感触がありました。それは多くの人へ訴えかける、良い風な変化である気がしました。

■つるはらさんの描く空気感はとても透明な感じがして、いいなあと思います。わずかに潮のにおいを含んだ夏のさわやかな風が感じられます。あの峠の向こうには、海原が広がっているのだとさえ思えてくる。

「あどれす二〇〇めとる」つばめ・ろまん



■あやうい少女、少女のあやうさの感覚が伝わってきてそこが好きです
■私のように田舎の人間は、空の広く見える田舎の風景…建物も2、3階建ての昭和～な奴が心地良いですが、反面、地上1kmの建築とかのテクノロジーにも大変興味があります。

「転機」高橋学



■読んでて元気になりました。
■私も「ひとつ」のみなさんがきっかけで、マンガを描いてみた。何か変わると良いな。
■猫の左目の向こう傷がとても気に入りました。

「待人」くるみや かおり



■おばあちゃんになっても、待ち人が持ってきてくれた花束を、大切にしているんですね。一つ一つの花束に、思い出が詰まっているんだろうなあ。

■作者さんのあとがきを読んで、納得しました。
■くるみやさんの絵のタッチは独特ですね。そのやわらかさに最後のページの老婦人の待ち続けた時間のさびしさとあたたかさがあふれています。

「アオゾラ」一色碧



■おかえりなさい！という気分です
■描き続けるのは、難しいこともたくさんあると思いますが、ぜひ次回も、と思っています。

■一色さんの描かれてる「星の記憶」は人間をあらゆる角度から写した写真集の様に思えます。ぜひとも続けていただきたいです。

■今回のひとつの作品の中では、一色碧さんの作品にはっと目を覚まさせられました。夏にふさわしい過去を忘れないための逸品です。ありがとうございました。



「春のはじめ、歩く堇」森谷和花子
■この様なイラストの配し方も編集上有効と考えます。作品の描きこみの深さに視点がよってゆく感じが味わえました。
■朝日をあびて輝く堇の精でしょうか。とても美しく、幻想的です。



「2人の休日」関口拓志

■絵もコマの流れもとても丁寧でとても良い空気感です。
■絵もそうですが、お話もとってもやわらかくて優しくほっとします
「違う二人が同じときを過ごす」
幸せ。池の上で喧嘩してる風な二人も、けんかしながら幸せならいいなあ。



「圏外」しょうじひでまさ

■かなり、とても好きかも。
この二人の姿、また別の作品で見たいと思います。無駄なコマが無く、必要充分のもので作られている感じが、かなり良いです。

■バイパスが通る様になれば、そこは圏外ではなくなるのでしょうか。そんな考えが一瞬頭を横切ったと思われるP15の左上のコマ、ステキです。
■しょうじさんの描く灯りや星のまたたきが、ひとつ・ひとつ胸にじんときます。





「ドッキリ ポックリ」田山 峠

■凄く凄く、とても雰囲気の不思議さが、とても面白かったです。擬音も面白い。夢の中の話…と言う事かな？

■たしかに、うにうにぷよんぷよんする液状のものに閉じ込められて、一体何だったんでしょう？(笑)そしてそこから出られたとたんに次の行動に移ってしまう…女の人は強い。

■不思議な感覚になれて素敵でした。

「はるまどい」Lotus

■タイトルそのものの何かが生まれ出ずる時のまどいが表されていると思いました。が、本当にそれだけなのか？と思わせる線と空間の妙が良かったです。

■女性的な生々しい感覚が男にはキビシーです。古瀬秀美さん(「ひとつ」参加作家さん)の作品の読后感みでした。

■最初に読んだ時にはなんだか意味が分からなかったのですが(すみません)、友人に「女性の身体と心のことを描かれているのでは？」と言われて改めて読んでみると「ああなるほど〜」と。こんな読み方ができるのも「ひとつ」ならではですね。

■自分の感覚や言葉や絵と真剣に誠実に取り組んでいるという感じが伝わってきました。官能的なものとか肉感的なものとかを表現して発表するのは勇気のいることかもしれないと思うのですが、私自身は興味を持っている分野です。季節が春先だったらどんな感じがするのか、また読んでみたいと思います。



「赤い卵」驢馬

■烏瓜の赤い形と似て、どこかエロチックな雰囲気がとても良かったです。毎度植物の様々な話とそこからの発想にとっても感心します。

■毎回、驢馬さんの作品を読むと「植物も生き物なのだ」という当たり前のことを改めて思い出させてくれます。



「ふたりの休日」ひすいろうかん

■ダイアンアークスの写真集にも似て一つ一つのコマの中にある連続する同一の絵(本の連続、チューリップの連続、そしてラストのコマの服!)がとてもコワイです(個人的感覚)。作者の意図なのか好みなのか。ただそこが魅力です。

■久しぶりに、ひすいさんの「アルデンテ」シリーズを読ませていただきました。やっぱり、この描きこみの面白さはすごい!「笑顔のサギ師」19巻は(本の厚みから)、第一部の山場なのだなとか勝手に想像してニヤケてしまいます。



「ゴンドリエーレ」小野カロン

■死の河のイメージは古今共通ながら、その河の渡り方の色々さ。

「この舟を動かしているのは自分」というところに新しさを感じました。

■3年前に亡くなった友人に、私もどこかで会っているのかもしれない。これからどこかで会うのかもしれない。…そう思わせてくれました。



「Fiding Marco」Rita Lee

■兎のマルコの脳内セリフが好きで何回も読んでしまいます。

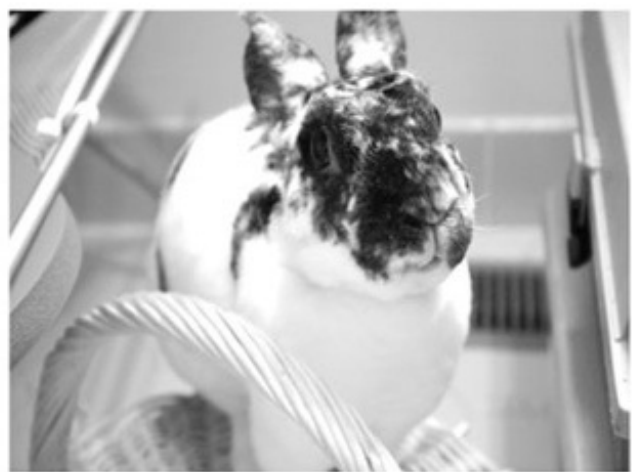
■マルコの「なでてなでて」姿イイですねえ。なんとまんぞくそうな顔

■線と画面が洗練されてきてる感じが凄くしました。描きこなれてきてる感じ。動物マンガでは擬人化するのが多いですが、これは兎と人の関係性が常に一定でそこが面白かった。

■マルコ、もうっ、かわいいですね!! 無敵にかわいい乱暴もの。どんなに悪さしても、やっぱりかわいい。私の家の犬は、かまってほしい事を前足で訴えます。

■最近ウサギが気になっていたのですが、ウサギのお話で意外に自己主張が強い生き物だと判って驚いています。

■マルコにやられました! 何回読んでもおかしくてニヤニヤしてしまいます。登場するご家族もまた味わい深く。マルコのセリフがリズムを刻んでいて、おかしいやら可愛いやらもうムズムズしてきます。



これがリアル「マルコ」です! (Ritaさん提供)



「月夜」秋元なおと

■描きこみにワクワクさせられます
■秋元さんの描かれる少女はいつも何か考えている(想っている)表情していますね。とてもいいです。

■満月の夜のくっきりとした明るい

闇と黒猫。こういうシンとした夜を私も確かに知っている…。

■私も以前、夜中に家の前のアスファルトの上に寝ころがった事があります。そうするとものの裏からお尻から、背中から、頭から、遠くで走る車の音なんか聞こえてくるんですよ。夜の肌寒い空気の中での、月の光のあたたかさが、ほんのりと感じられる作品です。

■昔、学校の国語の時間に俳句か短歌を作ることがあり、夜とか月とか影とか色を題材に一句ひねろうとしたけど、字数は合わないわイメージはぴったりこないわで四苦八苦、うまくいかなかったのを思い出しました(笑)。



「目覚め」大樹

■「夢が物質的に消えていく感じ」が、よく伝わってきます。夜から朝の目覚めの空気感が、とくに強く判り、自分のその近似した体験をも思い返させられました。コマは割っててもコマ割の線の無さが、その夢から現実へ移りゆく感じを的確に表現されていると思いました。

■夢の中の世界の自分が「これは夢の中なのだ」と現実世界の脳が判断し始めて、だんだんと現実世界へと目が覚めて行く、その行程が、とても良く表現されていると思います。



「ECHO」西坂潤

■この本に描かれている作家さんはみんなこの詩と同じ考えだと思います。皆、自分の感情を、心の風景を思いの断片を、表現したくて、形にしたくて、誰かに伝えたくて、作品を描いているのだと思います。

「ひとつ」の最終ページにぴったりの詩ですね。



なかせよしみ



「Ocean Mirage」なかせよしみ

■ここまで大バクハツした蟹気楼は楽しい！もっと続きが見たい！シチュエーションにて色々展開してゆくものを描かれる時、とても魅力を感じます。

■わはは。砂漠の海だ。シュールなのに、ブラックにならないのは、なかせさんならではのですね。砂漠の海に浮き輪だけ投げられて置き去られて、「どないせいつちゅうねん」という青年の表情と、魚を分け与えて去っていくとぼけたおっさんが素敵です。

■なかせさんの作品には毎回画面のすみずみまで楽しませてもらっています。

■現実の世界では「何だよそれ」とツッコミを入れたくなるような事が、普通の事として描かれているなかせさんの不思議な世界が楽しい。

「はにわのつり」まのこ魚

■こ、これは…釣りですか？！いや、綱引きの様子ですね(笑)

■あとがきには魚はみんなリリースしてあげたとあったけど、みんな体半分くらい食べられちゃってますよ！?(笑)

■はにわくんの魚を釣っておどろいている顔、カワイイです。



「とぶ石あるく鳥」ときたけいこ

■か、かわいすぎます。もうその一言につきます♥

■内容的にもですが、後半の言葉のリズムも絵本的で楽しい内容です。



「きさめ庵」きさめゆづは

■何か伝わってくるものがあるのが強くわかりました。

■こういう優しい絵、大好きです。雪国の絵本描いてくれないかななんて、勝手に妄想してます。

■上と下の絵が繋がって一つの作品として見えました。絵の表情もとてもとても良いです。フルカラーで見る絵ですね。

■絵描きという仕事をしている我が身には、とても共感できる詩でした。自分の事ははげましてくれる人が、一人でもいる事がどれだけ幸福な事か…おそらくは、色付きのイラストなのでしょうね。カラーで見たかったです。

(作者さんのホームページはこちらです。機会を見つけてぜひ見てくださいね：編集)

<http://www.kisameyuzuha.com/>

全体感想

■今回の参加作品は、いつもにも増してバラエティ(多様性)感がありました。なんか「お得」な気がとてもします。いつもより何処か熱気が強くある気がしました。

■バラエティにとんで読むのが楽しいです。今晚、またじっくり読み返したいと思います。

■今年の「ひとつ」は色々な作品があってすごく楽しめまし、勉強にもなりました。

■今回もすばらしい作品の数々を拝読することができ、また本の到着が季節の便りのようでもあり誠に嬉しく思います。

■前号の感想を読むと、また前号を読みたくくなりますね。感覚の共有か。

■表紙、裏表紙とても大好きです。手書きの題字もかなり良いですね。

■「自分らしい作品を作る」について

前回の「自分らしい作品を作る」の記事に関して反響のお手紙をいくつかいただきました。その中で西坂潤さんが紹介されてた、よしながふみ作「フラワー・オブ・ライフ」というマンガを先日読みました。全4巻、大阪は梅田のまんだらけで中古購入しました。おもしろいのでみなさんも機会があったら読んでみてください。以下西坂さんの紹介文です。

よしながふみ作「フラワー・オブ・ライフ」は高校一年生の子らの1年間の日々を描いた、かなりすばらしい作品でしたが、主人公たちがマンガを描きはじめて、で、初めて同人誌即売会に行ってみたり、編集者にみてもらったり、と他人事ならぬなつかしいエピソードが出てくるのですが、作品の中で「自分の思ってる考え、表現したい事をただ描く～描き放って後は読者に全てをゆだねる」のではなく「よりどうやったら伝えられるか、伝わるかを強く深く考えて描く」にこだわり描く事が大切だと描かれてました。とてもその当たり前の「商売だから、同人誌だから」という事とは別の「表現をする」という事的基本的姿勢をあらためて教えられた気が凄くしました。

「自分らしい作品を作る」ということと共に「その自分らしさを伝えられる作品を作る」ことへも、もっと意識を向けるべきかもしれません。「伝える」という事は案外なまやさしいものではなく「描いて発表すればそれで表現」というのでもないですね。

たくさんの感想ありがとうございました！
きっと私を含めた作者さんひとりひとりの心に響いていると思います。

次の作品を作る力になっているでしょう。

一言でもいいですから気軽に感想お願いいたします。



4コマ 大樹さん

■これはよく判る！こんな風に各人がどんな風にして叙情マンガに取り組んでるかを絵にしても面白いかも

感想マンガ Oさん



■これは本当にオドロキでした。しかも「ひとつ」のマンガになっているし。「ひとつ」の場合それら全ての作品がどこか有機的につながってひとつの姿を表している気がするので、全体からの印象感想が

書きやすいかも。そして「何か描きたい、という気持ち」から描くそれぞれのマンガそのものも「ひとつ」に対してのすばらしい感想かも知れませんが。

■Oさんの感想漫画。実に共感します。なかなかうまく言葉にならない。何か言葉を送りたいでもそれがいらない影響を与えても、という逡巡。実によくわかります。「ひとつ」の作者さんたちはそれぞれの世界観をしっかりと持っている人が多くて、それを壊すことになりはしないかと心配にもなります。思いはあるんだけど、うまく言葉にならないし。



叙情派「ひとつ」 2001年～



2号 2002/7
川名みずき、くるみやかおり
大樹、つばめ・ろまん、SHIKI
秋元なおと、ヨルベ・ナカヤ
まのこ魚、つるはらかおり
智呂、李慧徳・Rita Lee、驢馬
なかせよしみ、大樹、古瀬秀美、
飛山セツ、白井弓子、ひすいろうかん
蚕牧キオト、下里亜紀子、涼川ねこ



1号 2001/7
つるはらかおり、下里亜紀子
智呂、くるみやかおり、驢馬
ひすいろうかん、まのこ魚
ヨルベ・ナカヤ、大樹、桂木その
なかせよしみ、秋元なおと
白井弓子、飛山セツ、末石千青

ノンストーリーマンガ・詩情編「ひとつ」
1997～2000年



6号 2000/1
なかせよしみ、古瀬秀美、智呂
つばめ・ろまん、暁青、大樹
ひすいろうかん、まのこ魚
ヨルベ・ナカヤ、ピーパー姫、下里亜紀子、
冬野みゆ希、飯田和佳子、菊乃
武田五条、秋元なおと、松崎ユリ
真紀、田井亮子、飛山セツ、SHIKI
mono黒、穂子、桂木その、西坂潤
つるはらかおり、白井弓子、仲村聖裕
川名みずき、驢馬、中井幸生



5号 1999/7 (在庫なし)
なかせよしみ、古瀬秀美
つばめ・ろまん、ひすいろうかん、
まのこ魚、岳奈系香、ヨルベ・ナカヤ
下里亜紀子、武田五条、秋元なおと
松崎ユリ、田井亮子、飛山セツ
SHIKI、穂子、市村陽子、桂木その
西坂潤、白井弓子、川名みずき
あずきなまこ



4号 1998/11
なかせよしみ、古瀬秀美
つばめ・ろまん、冬野みゆ希、大樹
まのこ魚、ヨルベ・ナカヤ、川北真紀
下里亜紀子、岳奈系香、森枝葉
森谷真里絵、田井亮子
つるはらかおり、SHIKI、暁時夢
白井弓子、桂木その、川名みずき



3号 1998/5 (在庫なし)
なかせよしみ、古瀬秀美
つばめ・ろまん、つるはらかおり
涼川ねこ、あずきなまこ、大樹
桂木その、下里亜紀子、K...、穂子
白井弓子、秋元なおと、まのこ魚
仲村聖裕、森谷真里絵、西坂潤



2号 1997/11 (在庫なし)
下里亜紀子、あずきなまこ、仲村聖裕
暁時夢、つるはらかおり、まのこ魚
つばめ・ろまん、森谷真里絵
冬野みゆ希、秋元なおと、古瀬秀美
白井弓子



1号 1997/6 (在庫なし)
菊乃、穂子、仲村聖裕、白井弓子
まのこ魚、つばめ・ろまん、秋元なおと



2009号 2009/7
森谷和花子、きさめゆづは、関口拓志
しょうじひでまさ、つるはらかおり、大樹
つばめ・ろまん、高橋学、くるみやかおり
一色碧、驢馬、ひすいろうかん、小野カロン
田山峠、lotus、なかせよしみ、まのこ魚
ときたけいこ、秋元なおと、西坂潤
李慧徳・Rita Lee



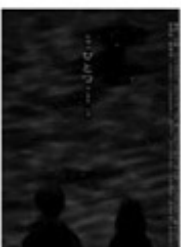
2008号 2008/7
しょうじひでまさ、大樹、驢馬、秋元なおと
ときたけいこ、つばめ・ろまん、白井弓子
なかせよしみ、くるみやかおり、田山峠
暁青、小野カロン、富水陽、森谷和花子
まのこ魚、ひすいろうかん、李慧徳・Rita Lee



7号 2007/7
しょうじひでまさ、大樹、つるはらかおり
ひすいろうかん、まのこ魚、森間ゆり
ときたけいこ、つばめ・ろまん
白井弓子、なかせよしみ、木村育恵
くるみやかおり、秋元なおと、驢馬
CD-R版音楽付き：荒澤文香、sdips



6号 2006/6
西坂潤、しょうじひでまさ、大樹、驢馬
つるはらかおり、ひすいろうかん
まのこ魚、ときたけいこ、松崎ユリ
つばめ・ろまん、白井弓子
李慧敏・Vivian Lee、川名みずき
李慧徳・Rita Lee、なかせよしみ、育
くるみやかおり、秋元なおと



5号 2005/7
羽ワッカ、しょうじひでまさ、大樹
驢馬、よこやまかずえ、ひすいろうかん
まのこ魚、ときたけいこ、秋元なおと
つばめ・ろまん、白井弓子、川名みずき
李慧敏・Vivian Lee、李慧徳・Rita Lee
なかせよしみ、涼川ねこ
くるみやかおり、猫町フミヲ



4号 2004/7
羽ワッカ、つるはらかおり、西坂潤
しょうじひでまさ、秋元なおと、大樹
木はく、驢馬、よこやまかずえ、
ひすいろうかん、まのこ魚、ときたけいこ
つばめ・ろまん、白井弓子
李慧徳・Rita Lee、なかせよしみ



3号 2003/7
驢馬、羽ワッカ、つるはら・かおり
まのこ魚、西坂潤、ひすいろうかん
高木ひとし、くるみやかおり
なかせよしみ、つばめ・ろまん
桂木その、大樹、ヨルベ・ナカヤ、智呂
李慧敏・Vivian Lee、李慧徳・Rita Lee
白井弓子、秋元なおと

編集後記

前号で印刷所を変えましたが読者様からも何通か問題ないよ～との報告いただきましたので今回もこれで行かせていただきます。

「ひとつ」の前に付いている「叙情派」の「叙情」という単語がTVで耳にする「叙情歌謡」というちょっと古いイメージがあるかな、と気になってしまったので変えようか、どうしようかと考えてインターネットで今年はじめ頃に提案させていただきました。

いろいろ案やご意見をいただきました。

「小さなせかい ひとつ」とか「そらとほしと ひとつ」とかとかその中で現状の「叙情派」っていうのもいいですよ、古くないですよ、とのご意見もあり、安心しました。単純なオレ、でしょうか。

というわけで悩んだ結果いったん保留ということにしております。

お騒がせしました、すみません(笑)。

でも、なにか目新しさ、というものは大切かなと思っておりますのでまたいろいろ考えますね。

今回の表紙に関してですが、個人的にちょっと足踏みするようなこともあって、ちょっと自分も含めてみなさんのはげみになるような表現をしたいと思い、ひまわりの力強さを借りて今までと違う雰囲気を出してみました。

森谷和花子さんがあとがきに書かれてますが、幸せな絵が幸せを呼び込みますように、ちょうどそんな感じです。

4Pの「はじめに」で「余裕」という言葉をあえて使ってますが…。作品が生み出されるのはいろんな偶然が重なっていると思います。一色碧さんがあとがきにマンガが生み出される瞬間のコトを書かれてますが、そのきっかけが「ひとつ」であることは幸せなことです。来年の今頃になれば、この時期の数ヶ月ってのはあまり意味をなさなくて、ただ作品がそこに存在する事が大切になってくるものです。一色さんやほかの皆さんの作品が生み出されるその貴重な瞬間に立ち会っていると感じてます。そんなことを考えながら、自分の作品にもより大切に向き合わなければと思ってます。

今回もご参加ありがとうございました！

そしてこの本を読んでいたいている皆さん、ありがとうございます！

今年の7月に相方の白井弓子の単行本が小学館から発行されました。右に紹介します。短編集です。そのほとんどが「ひとつ」に描いていた作品です。うれしいです。よろしくお願いします。

おくづけ

発行月 2010年8月/発行主体 メタ・パラダイム/

電子出版 2012年2月

編集・文責 秋元なおと

印刷・製本 (株)ポプルス 150部

連絡先

〒574-0011大阪府大東市北条6-2-22 秋元なおと

ホームページ <http://www14.big.or.jp/~hitotu/meta/>

Eメール hitotu@mail1.big.or.jp

電話・FAX 072-862-1291

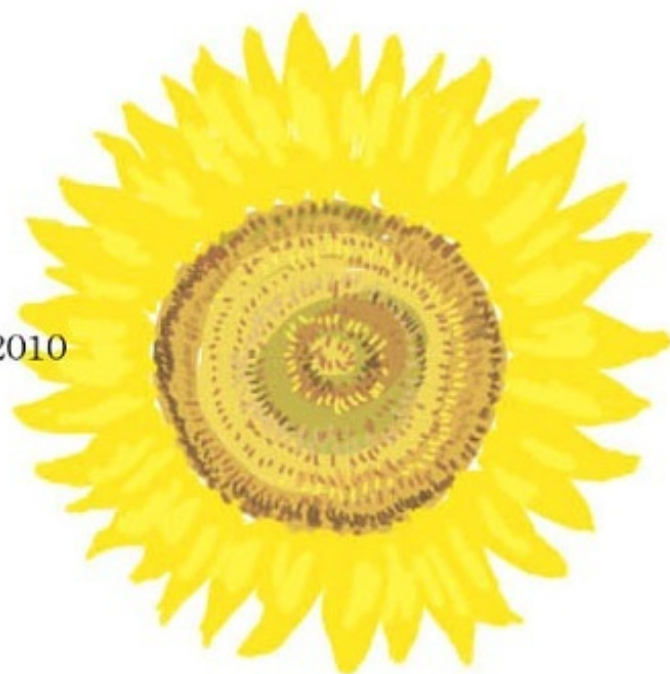


「白井弓子 初期短篇集」

「ひとつ」作品が本にびよる
白井弓子



叙情派 ひとつ 2010



小さいコトだけれど
大切なコトだから
大事に作品にして残してみる
できればほかの誰かに伝えられたら

月のかげらや星のまばたき
夕暮れの影と木の葉の落ちる音
そしてココロの中に吹く風…

自分の気持ちが動く瞬間

あなたと ひびきあえたら